

第2次西東京市農業振興計画中間見直しのための 市民意向調査へのご協力をお願い

市民の皆様には日ごろより、市政に格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

西東京市では、「第2次農業振興計画」を平成25年度に策定し、現在、この計画に基づき、農のある豊かな生活環境の充実を目指したまちづくりを推進しております。

策定から5年が経過することに伴い、現在、本計画の検証作業を進めているところであります。そこで、市民の皆様が市の農業・農地について、どのようにお考えであるかを伺いたく、アンケート調査を実施することといたしました。

今回の調査にあたりましては、市内にお住まいの20歳以上の方々から1,000人を住民基本台帳による無作為抽出によって選ばせていただき、そのおひとりとして、あなた様にもご協力をお願いすることになりました。このアンケートは無記名で、お答えは全て統計的に処理いたしますので、ご協力いただく皆様に対し、ご迷惑をおかけすることはありません。また、調査の回答内容につきましては、「農業振興計画」策定以外の目的に利用することとは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

平成30年7月

西東京市生活文化スポーツ部産業振興課

記入上のお願い

- ・お答えは、必ず宛名のご本人がお答えください。
なお、ご本人が記入できない場合は、ご家族などがご本人のお考えを聞きながらご記入ください。
- ・お答えは、設問に従い、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
- ・お答えのうち、()の中には、その内容を具体的にご記入ください。
- ・ご記入を終えましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月25日（水）までに、ご返送ください。
- ・このアンケートについてのお問い合わせは、下記の担当までお願いします。

【問い合わせ先】

西東京市生活文化スポーツ部産業振興課
〒202-8555 西東京市中町1-5-1
電話：042-438-4044（直通）
担当：北原・永井

【調査委託先】

ランドブレイン株式会社
千代田区平河町1-2-10 第一生命ビル7階
メール：manami_sesoko@landbrains.co.jp
担当：齋藤・瀬底

1 あなたとご家族のことについてお伺いします。

問1 あなたの年齢は、おいくつですか？（1つに○）

- | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|
| (1) 20歳代 | (2) 30歳代 | (3) 40歳代 | (4) 50歳代 |
| (5) 60歳代 | (6) 70歳代 | (7) 80歳以上 | |

問2 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

- | | |
|--------|--------|
| (1) 男性 | (2) 女性 |
|--------|--------|

問3 あなたの職業は何ですか？（1つに○）

- | | |
|------------------|-------------------|
| (1) 自営業者・事業主・農業 | (2) 勤め人（会社や公的機関等） |
| (3) パート・アルバイト等 | (4) 専業主婦・主夫 |
| (5) 学生 | (6) 無職 |
| (7) その他（ _____ ） | |

問4 あなたを含めて同居している家族構成はどれですか？（1つに○）

- | | |
|------------------|---------------------|
| (1) ひとり暮らし（単身世帯） | (2) 夫婦のみの世帯 |
| (3) 親と子ども（2世代家族） | (4) 祖父母と親と子供（3世代家族） |
| (5) その他の家族構成 | |

問5 あなたのお住まいの形態はどれですか？（1つに○）

- | | |
|---------------------|------------------|
| (1) 一戸建ての持家 | (2) 一戸建ての借家 |
| (3) 分譲マンション | (4) 賃貸マンション・アパート |
| (5) 公営住宅（市営・都営・公社等） | (6) 社宅・寮・公務員住宅 |
| (7) その他（ _____ ） | |

問6 あなたのお住まいはどちらですか？（1つに○）

- | | | | | |
|----------|----------|------------|-------------|---------|
| (1) 田無町 | (2) 南町 | (3) 西原町 | (4) 緑町 | (5) 谷戸町 |
| (6) 北原町 | (7) 向台町 | (8) 芝久保町 | (9) 新町 | (10) 柳沢 |
| (11) 東伏見 | (12) 保谷町 | (13) 富士町 | (14) 中町 | (15) 東町 |
| (16) 泉町 | (17) 住吉町 | (18) ひばりが丘 | (19) ひばりが丘北 | |
| (20) 栄町 | (21) 北町 | (22) 下保谷 | | |

問7 西東京市にお住まいになってどれくらいですか？（1つに○）

- | | | | |
|------------|-----------|----------|------------|
| (1) 3年未満 | (2) 3～5年 | (3) 6～9年 | (4) 10～19年 |
| (5) 20～29年 | (6) 30年以上 | | |

2 農畜産物の消費についてお伺いします。

問8 日頃、農畜産物を主にどこで（どのように）買いますか？
（特に多い購入先を3つまで○）

- (1) 市内の青果店や個人商店
- (2) 市内のスーパーマーケット、生協店舗
- (3) 市外の青果店や個人商店、スーパーマーケット、生協店舗
- (4) コンビニエンスストア
- (5) 市内の農産物直売所、庭先販売
- (6) 市外の農産物直売所、庭先販売
- (7) 市内のJAが行っている即売会
- (8) 市外のJAが行っている即売会
- (9) 生協等のグループ購入、宅配
- (10) 生産者からの宅配
- (11) インターネット注文による宅配
- (12) その他（ _____ ）

問9 農畜産物を買う際に気にしている点は何ですか？
（特に重要視するものを3つまで○）

- (1) 国内産であること
- (2) 西東京市内産であること
- (3) 特定の地域産であること（有名な生産地など）
- (4) 品質が良いこと（新鮮であること）
- (5) 価格が安いこと
- (6) 有機農産物^(注) やエコ農産物^(注)（化学合成農薬と化学肥料を削減してつくられる農産物）であること
- (7) 生産履歴（肥料・農薬等の使用記録）が明確であること
- (8) 生産者の顔が見えること（生産者がわかること）
- (9) 特に気にすることはない
- (10) その他（ _____ ）

(注)「有機農産物」：農畜産物についての「有機」の表示は、JAS規格による基準を満たすもののみ、付すことが認められています。

(注)「エコ農産物」：土づくりの技術や化学合成農薬と化学肥料削減の技術を導入し、東京都の慣行使用基準から化学合成農薬と化学肥料を削減して作られる農産物です。化学合成農薬と化学肥料の削減割合は、25%以上、50%以上、不使用の3区分で認証します。

問 10 西東京市内産農産物を購入されている方にお伺いします。

購入される理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

(0) 市内産農産物を購入していない ⇒問 13 にお進みください。

- (1) 生産者が分かって安心だから (2) 地域の農業を守りたいから
 (3) 品質・味が良いから (4) 新鮮だから
 (5) 安いから
 (6) その他 ()

問 11 西東京市内産農産物を購入されている方にお伺いします。

購入先の多い場所はどこですか？（上位3箇所まで記入してください。）

1位		<選択肢> (1) 市内の青果店・個人商店 (2) 市内のスーパーマーケット、生協店舗 (3) 市外の青果店・個人商店、スーパーマーケット、生協店舗
2位		(4) 市内の農産物直売所、庭先販売 (5) JAが行っている即売会 (ex. 保谷直売所、田無直売所)
3位		(6) 市が行っている即売会 (ex. 保谷駅や田無駅のペDESTリアンデッキ等で行われる「めぐみちゃんマルシェ」) (7) 農家や農家グループからの宅配 (8) その他 ()

問 12 市内の農産物直売所を利用する方にお聞きします。

農産物直売所を利用する理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- (1) 新鮮であるから (2) 安いから
 (3) 農家の顔が見えるから (4) 安全だと思うから
 (5) 近くにあるから (6) 品数がたくさんあるから
 (7) その他 ()

問 13 市内農産物を購入していない方にお聞きします。

購入しない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

- (1) 直売所の存在・場所を知らないから (2) 直売所などが自宅の近くにないから
 (3) 近くのスーパーマーケット等には地場産コーナーがないから
 (4) 価格が高いから (5) 欲しい品がないから
 (6) 購入できる日や時間が限られるから (7) 生産者をよく知らないから
 (8) 特に理由はなし
 (9) その他 ()

3 西東京市の農業・農地の役割についてお伺いします。

問 14 あなたは、西東京市内の農業や農地についてどのように感じていますか？
(近いと感じるもの3つまで○)

- (1) 新鮮な農産物を供給している。
- (2) まちの緑を豊かにしている。
- (3) 季節を感じるができる。
- (4) 緑地やオープンスペースとして役立っている。
- (5) 自然や生態系の保全の場として役立っている。
- (6) 子どもの教育や農業体験の場として役立っている。
- (7) 災害時の避難場所として役立っている。
- (8) 季節によっては土埃などが気になることがある。
- (9) 農作業の音や臭いなどが気になることがある。
- (10) 耕作放棄地など荒れている農地が気になることがある。
- (11) その他 (_____)
- (12) あまり関心がない。

問 15 西東京市の農業について知っていたことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)
※平成 28 年度 東京都の地域・区市町村別農業データブック(一般社団法人 東京都農業
会議) データより参照

- (1) 「キャベツ」の生産量が都内で第2位、26市の中で第1位である。
- (2) 市内で1番産出額が多い野菜は「トマト」である。
- (3) 果樹で産出額がもっとも多いのは「梨」である。
- (4) 野菜では、小松菜がキャベツの次に作付面積が多い。
- (5) 植木の農地面積は、都内で第5位である。
- (6) 市内の農地面積は、市全体の面積の約1割を占めている。
- (7) 農地面積は、この10年間毎年2～3ヘクタールずつ減少している。
- (8) 「めぐみちゃん」は、西東京市の農産物キャラクターの名前である。

問 16 農業や農地には、地域の生活と関係する機能が多くあります。

あなたは、農業・農地が持つ役割について、今後どのようなことに期待されますか？

(特に重要と感じるもの3つまで○)

- (1) 市民の日常生活への新鮮で安全な農産物の供給
- (2) 学校給食等での、新鮮で安全な農産物の供給
- (3) まちなかに農地がある景観風景
- (4) 有機農産物、エコ農産物（化学合成農薬と化学肥料を削減してつくられる農産物）の推進
- (5) うるおいのある環境（農地の緑での蒸発・蒸散による農地周辺の気温低下など）
- (6) 昆虫などの生物が生息する生態系の維持・保全
- (7) 災害発生時の避難先としてのオープンスペース
- (8) 市民農園・農業体験農園により農業にふれる機会の創出
- (9) 子どもたちが学校教育や情操教育の中で、農業にふれる機会の創出
- (10) 地域の特産物開発（ブランド商品の開発）
- (11) 農産物を活用した料理やイベント等の文化の伝承
- (12) まちの「ブランド力」の向上
- (13) その他 (_____)
- (14) 特に重要性は感じない

4 農とのふれあいについてお伺いします。

問 17 農業体験など、農とのふれあいについて、どのようなご経験がありますか？

(あてはまるものすべてに○)

- (1) 市民農園^(注)を利用している、又は利用したことがある。
- (2) 市内の農業体験農園^(注)を利用している、又は利用したことがある。
- (3) 市外の農業体験農園を利用している、又は利用したことがある。
- (4) 西東京市の農業体験イベントなどに参加したことがある。
- (5) 市外での農業関連イベントに参加したことがある。
- (6) 自宅で野菜づくりや園芸を行っている。
- (7) 市内の農家のところで、収穫や農作業を行ったことがある。
- (8) 農業とのふれあいは特にない。
- (9) その他 (_____)

(注)「市民農園」：市が借用した農地に、市民が自らの作付け等により農業体験を行う場所

(農家が管理運営する農地に、市民が自らの作付け等により農業体験を行う場所を含む。)

「農業体験農園」：農業者が開設し、市民の方に利用してもらう農園で、利用者の方が農園主のきめ細かい指導とサポートのもとで、農業体験を行う場所

問 18 今後、市民農園や農業体験農園などの農園を利用したいですか？（1つに○）

- (1) 市民農園を利用したい。
- (2) 農業者からの指導を受けられる農業体験農園を利用したい。
- (3) 市外の農業体験農園などの施設を利用したい。
- (4) 農園の利用はしたいとは思わない。
- (5) その他 (_____)

問 19 西東京市では、農業とのふれあいを目的にした以下のようなイベントを行っています。ご存知のイベントがあれば教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- (1) 親子で野菜づくりにチャレンジ
⇒市内の畑で市民（親子）が作付け・収穫を体験するイベント
- (2) 農業景観散策会
⇒「花摘みの丘」での花をテーマにしたイベント
- (3) 市内産農産物料理教室
⇒市内産の農産物を活用した料理を体験するイベント
- (4) 「農のアカデミー体験実習農園」運営事業
⇒市が市内に整備した畑における、援農ボランティアの育成や、広く農業を知る機会を提供する事業
- (5) 「緑のアカデミー」事業
⇒市内産の苗木のアレンジメントなど、市民が緑にふれ合うイベント
- (6) 各種農産物即売イベント
- (7) 知っているものはない。
- (8) その他 (_____)

問 20 農作業や、アルバイトやボランティアでの農業の手伝いに興味がありますか？（1つに○）

- (1) 職業として農業を行いたい。
- (2) アルバイト（有償）として、農業をやってみたい。
- (3) ボランティア（無償）でも農業をやってみたい。
- (4) 農業技術習得のため、金銭を支払ってでも農業の手伝いをしたい。
- (5) 興味はない。
- (6) その他 (_____)

3 過去5年間の農業施策についてお伺いします。

問 21 西東京市の農業振興に向けて、以下のような施策を実施してきました。

これらの事業について、内容を知っているか、重要だと思うかについてお答えください。

評価 施策	施策毎の認知度					施策毎の重要度				
	よく知っている	少し知っている	あまり知らない	全く知らない	興味・関心がない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
例) 事業1 直売所の利用の促進	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5

満足度と重要度 それぞれ1つずつ○印をつけてください。

【食と暮らしを支える多様な農業】

事業内容・実績	施策毎の認知度					施策毎の重要度				
事業1 直売所の利用の促進 ・市ホームページ、ガイド冊子「おでかけ図鑑」にて直売所を紹介	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業2 めぐみちゃんメニューの推進 ・食べ歩きイベントの実施 ・市民交流イベント「マルシェ」の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業3 学校給食との連携 ・学校栄養士と農業者の連絡会を開催、共通メニューを市内小中学校・保育園で提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業4 地域や商店街との連携 ・即売会の実施 ・ファームカーを活用した農産物の直売・農業者のPR	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営】

事業内容・実績	施策毎の認知度					施策毎の重要度				
事業5 農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ ・「東京の青空塾」修了者と農業者のマッチング ・「広域援農ボランティア」の周知・広報 ・講習会の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【農地の保全と活用】

事業内容・実績	施策毎の認知度					施策毎の重要度				
事業6 市内農業関係施設の活用推進 ・景観散策会や、寄せ植え体験を実施 ・農業学習や防災訓練を実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業7 災害協力農地の拡大 ・JAと市が協定を締結中 ・農業者への情報提供などの支援を実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業8 イベント等の実施 ・「親子で野菜づくりにチャレンジ」イベントを実施 ・緑のアカデミー事業として植木生産の広報・交流実施 ・イベントでの農の情報発信の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業9 農業普及啓発プロジェクトの活用 ・市内農業関係施設を利用したイベントの実施 ・直売の支援にファームカーを活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業10 めぐみちゃんマーケットの開催 ・マルシェの開催 ・農業者主体のマルシェ開催に向けた検討、協力	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【農業を通じた交流】

事業内容・実績	施策毎の認知度					施策毎の重要度				
事業11 市民農園の新しい展開 ・使用料の見直し ・「肥培管理マニュアル」の作成 ・マナー遵守の活動の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業12 農業体験農園の推進 ・ホームページ等を活用した情報発信 ・市報や市民まつりでの広報の実施、支援 ・開設時に支援（補助金）の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 最後に

問 22 西東京市の農業施策全般に対して、考えやアイデアがありましたら、ご自由にお答えください。

以上です。ありがとうございました。

第2次西東京市農業振興計画中間見直しのための 農業者意向調査へのご協力をお願い

農業者の皆様には、日ごろより、農業行政に格別のご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

西東京市では、「第2次農業振興計画」を平成25年度に策定し、現在、この計画に基づき、農業振興の各施策を推進しております。

策定から5年が経過することに伴い、現在、本計画の検証作業を進めているところであります。そこで、農業者の皆様が農業・農地について、どのようなお考えをお持ちであるかを伺いたく、アンケート調査を実施することといたしました。このアンケート調査の結果は、今後の中間見直しの参考として十分に活用させていただき、「今後5年間の西東京市の農業」を考える指標にするものです。

今回の調査は、市内の全農業者様を対象にお願いするものです。このアンケートは無記名で、お答えは全て統計的に処理いたしますので、ご協力いただく皆様に対し、ご迷惑をおかけすることはありません。また、調査の回答内容につきましては、「農業振興計画」中間見直し以外の目的に利用することは一切ございません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、このアンケート調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしく願いいたします。

平成30年7月

西東京市生活文化スポーツ部産業振興課

記入上のお願い

- ・このアンケートは、主に農業に従事されている方がご回答願います。
- ・お答えは、設問に従い、あてはまる回答の番号に○をつけてください。
- ・お答えのうち、()の中には、その内容を具体的にご記入ください。
- ・ご記入を済ませましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、7月25日（水）までに、ご返送ください。
- ・このアンケートについてのお問い合わせは、下記の担当までお願いいたします。

【問い合わせ先】

西東京市生活文化スポーツ部産業振興課
〒202-8555 西東京市中町1-5-1
電話：042-438-4044（直通）
担当：北原・永井

【調査委託先】

ランドブレイン株式会社
千代田区平河町1-2-10 第一生命ビル7階
メール：manami_sesoko@landbrains.co.jp
担当：齋藤・瀬底

1 主に農業に従事されている方とご家族のことについてお伺いします。

問1 あなた（主に農業に従事されている方）の年齢を教えてください。（1つに○）

- (1) 20歳代 (2) 30歳代 (3) 40歳代 (4) 50歳代
(5) 60歳代 (6) 70歳代 (7) 80歳以上

問2 あなたの性別を教えてください。（1つに○）

- (1) 男性 (2) 女性

問3 あなたの家族（同居されている方）の構成について教えてください。（1つに○）

- (1) ひとり暮らし（単身世帯） (2) 夫婦のみの世帯
(3) 親と子ども（2世代家族） (4) 祖父母と親と子ども（3世代家族）
(5) その他の家族構成

問4 後継者の状況について教えてください。（1つに○）

- (1) 後継者がすでに農業に従事している。 (2) 後継してもらえる見込みがある。
(3) 農業を継がせるつもりはない。 (4) わからない。
(5) 後継者はいない。
(6) その他（ _____ ）

問5 あなたのお住まいを教えてください。（1つに○）

- (1) 田無町 (2) 南町 (3) 西原町 (4) 緑町 (5) 谷戸町
(6) 北原町 (7) 向台町 (8) 芝久保町 (9) 新町 (10) 柳沢
(11) 東伏見 (12) 保谷町 (13) 富士町 (14) 中町 (15) 東町
(16) 泉町 (17) 住吉町 (18) ひばりが丘 (19) ひばりが丘北
(20) 栄町 (21) 北町 (22) 下保谷

2 農業経営の現状についてお伺いします。

問6 あなたの営農種類について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- (1) 露地野菜 (2) 施設野菜 (3) 果樹
(4) 花卉 (5) 植木 (6) 体験農園等経営（農業体験農園、観光農園等）
(7) その他（ _____ ）

問7 あなたの経営形態を教えてください。（1つに○）

- (1) 専業農家 (2) 第1種兼業農家^(注) (3) 第2種兼業農家^(注)
(4) 自家消費程度 (5) わからない (6) その他（ _____ ）

(注) 第1種兼業農家：家計収入のうち、農業収入の方が農業以外の収入よりも多い兼業農家
第2種兼業農家：家計収入のうち、農業以外の収入の方が農業収入よりも多い兼業農家

問8 あなたの家の年間（直近の）の農業所得と農業所得以外の所得を、教えてください。
 （※所得は、収入から必要経費（家族労働費を除く）を除いたもの。）

【農業所得について】（1つに○）		
(1) なし（自家用のみ）	(2) 50万円未満	(3) 50～100万円未満
(4) 100～300万円未満	(5) 300～500万円未満	(6) 500～1,000万円未満
(7) 1,000～2,000万円未満	(8) 2,000万円以上	

【農業所得以外の所得】（1つに○）		
(1) なし	(2) 50万円未満	(3) 50～100万円未満
(4) 100～300万円未満	(5) 300～500万円未満	(6) 500～1,000万円未満
(7) 1,000～2,000万円未満	(8) 2,000万円以上	

問9 あなたの家の年間の農業所得（収入から必要経費（家族労働費を除く）を除いたもの）について、過去5年間での変化を教えてください。（1つに○）

(1) 増加した	(2) 減少した	(3) 変わらない	(4) その他
----------	----------	-----------	---------

問10 あなたの今後の農業について、お考えを教えてください。（1つに○）

(1) 将来も継続し、後継者に引き継ぎたい。	(2) 自分の代は継続したい。
(3) 自分の代でも継続は難しい。	(4) わからない。
(5) その他（具体的に）	
{ }	

問11 農業収入を安定させるために、今後取り組んでいきたいことを教えてください。
 （あてはまるものすべてに○）

(1) 出荷先の多様化（市場だけでなく直売所への出荷や直販、契約栽培の実施）	
(2) 農産物の高付加価値化・ブランド化	
(3) 露地から施設栽培への転換	
(4) 新たな資材・作業機械等の導入による生産力向上	
(5) 生産技術の向上に向けた技術習得	
(6) 肥料や農薬の適正量の使用によるコスト管理・安全管理	
(7) エコ農産物認証取得等により安心安全な農産物の生産	
(8) GAP※認証の取得	
※GAP（農業生産工程管理）：食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための取組	
(9) 生産する農産物を活用した加工品開発	
(10) 農家レストランの開業	
(11) 周辺農家から農地を借りて生産規模を拡大	
(12) 法人化や生産者組織化による生産力・販売力強化	
(13) 市民農園、観光農園、農業体験農園の経営	
(14) 特に何も検討していない	
(15) その他（具体的に）	
{ }	

3 過去5年間の農業施策についてお伺いします。

問 12 西東京市の農業振興に向けて、以下のような施策を実施してきました。これらの事業について、実施内容・状況に満足できるか、重要だと思うかについて、以下お答えください。

評価 施策	施策毎の満足度					施策毎の重要度				
	満足している	多少満足している	多少不満である	不満である	わからない	重要である	やや重要である	あまり重要でない	重要でない	わからない
例) 事業1 直売所の利用の促進	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5

満足度と重要度 それぞれ1つずつ○印をつけてください。

【食と暮らしを支える多様な農業】

事業内容・実績	施策毎の満足度					施策毎の重要度				
事業1 直売所の利用の促進 ・市ホームページ、ガイド冊子「おでかけ図鑑」にて直売所を紹介	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業2 めぐみちゃんメニューの推進 ・食べ歩きイベントの実施 ・市民交流イベント「マルシェ」の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業3 学校給食との連携 ・学校栄養士と農業者の連絡会を開催、共通メニューを市内小中学校・保育園で提供	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業4 めぐみちゃんブランドの普及啓発 ・めぐみちゃんののぼり旗、着ぐるみ、ベスト等を作成 ・商工業者も補助金の対象とし、さらなる活用を促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業5 地域や商店街との連携 ・即売会の実施 ・ファームカーを活用した農産物の直売・農業者のPR	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

【多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営】

事業内容・実績	施策毎の満足度					施策毎の重要度				
事業6 地元と連携した後継者育成、若い担い手（新規就農者含む）の育成の検討 ・「農業後継者顕彰」事業実施 ・東京都 F&U セミナー活用、指導農業者制度と連携 ・ステップアップセミナーの実施検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業7 女性農業者の育成の検討 ・農業委員会に女性農業者が参加 ・女性農業者を対象とした勉強会の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
事業8 農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ ・「東京の青空塾」修了者と農業者のマッチング ・「広域援農ボランティア」の周知・広報 ・講習会の開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

事業内容・実績	施策毎の満足度					施策毎の重要度				
事業9 認定農業者への支援の拡充の検討	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・「認定農業者経営改善支援補助金」を実施、経営改善計画作成への支援 ・現行の補助金の内容検討 ・直売所への支援策を検討										
事業10 営農支援事業の適正運営	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・JA 東京みらいにおいて、「営農支援事業」実施										

【農地の保全と活用】

事業内容・実績	施策毎の満足度					施策毎の重要度				
事業11 生産緑地地区制度への意見の具申	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・再指定や下限面積要件の見直しについて市に提言 ・都市計画課との連携										
事業12 農地の適正な肥培管理	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・農業委員会と市が協力し、農地パトロールを実施 ・実情に応じた指導を協議、検討										
事業13 市内農業関係施設の活用推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・景観散策会や、寄せ植え体験を実施 ・農業学習や防災訓練を実施										
事業14 災害協力農地の拡大	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・JA と市が協定を締結中 ・農業者への情報提供などの支援を実施										
事業15 イベント等の実施	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・「親子で野菜づくりにチャレンジ」イベントを実施 ・緑のアカデミー事業として植木生産の広報・交流実施 ・イベントでの農の情報発信の充実										
事業16 農業普及啓発プロジェクトの活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・市内農業関係施設を利用したイベントの実施 ・直売の支援にファームカーを活用										
事業17 めぐみちゃんマーケットの開催	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・プチマルシェの開催 ・農業者主体のマルシェ開催に向けた検討、協力										

【農業を通じた交流】

事業内容・実績	施策毎の満足度					施策毎の重要度				
事業18 東大生態調和農学機構との連携	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・東大敷地内にある「野菜工場」の情報を収集 ・収集した情報を農業者に提供										
事業19 市民農園の新しい展開	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・使用料の見直し ・肥培管理マニュアルの作成 ・マナー遵守の活動の実施										
事業20 農業体験農園の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
・ホームページ等を活用した情報発信 ・市報や市民まつりでの広報の実施、支援 ・開設時に支援（補助金）の実施										

4 農業者への支援策についてお伺いします。

問 13 市内産農産物キャラクター（めぐみちゃん）の活用について教えてください。
（あてはまるものすべてに○）

- (1) 市内産農産物キャラクター（めぐみちゃん）を知らない。
- (2) 市内産農産物キャラクター（めぐみちゃん）は知っているが、自らの販売等において、特に活用する意向はない。
- (3) 市内産農産物キャラクター（めぐみちゃん）を活用した資材（ダンボール箱・防雲袋等）を購入（市の補助事業を利用）している。
- (4) 直売所（庭先販売）に、市内産農産物キャラクター（めぐみちゃん）の「のぼり旗」を設置している。
- (5) その他（活用に関してのご意見等）



西東京市農産物
キャラクター
「めぐみちゃん」

問 14 農業者への支援の対象についてあなたのお考えを教えてください。（1つに○）

- (1) 経営規模（作付面積、販売金額）の大きな農業者には特に支援を充実すべき。
- (2) 経営規模（作付面積、販売金額）の小さな農業者が農業を持続できるような支援を行うべき。
- (3) 経営規模（作付面積、販売金額）の大小にかかわらず、意欲のある農業者（認定農業者等）への支援を行うべき。
- (4) その他（支援対象の具体的な考えなど）

問 15 今後、農業者に係る支援について、どのような内容が重要か、お考えを教えてください。
（特に重要と考えるもの2つまでに○）

- (1) 資金的支援（助成金、融資等）

【その内容：

】

- (2) 情動的支援（農産物 PR、農業イベント等情報発信、生産技術情報提供等）

【その内容：

】

- (3) 人的支援（技術支援、経営支援、農作業支援など）

【その内容：

】

- (4) その他（具体的に）

【

】

5 農産物の販売（庭先販売、マルシェ出店等）についてお伺いします。

問 16 今後の直売所（庭先販売等）やマルシェ（朝市・青空市など）への出店等についてのお考えを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- (1) 自身の経営する直売所での販売を継続・拡大したい。
- (2) 近隣の農業者と共同で直売所経営を考えたい。
- (3) JAの農産物直売所を利用したい。
- (4) 市内など近隣で開催されているマルシェ（朝市・夕市、青空市など）には出店したい。
- (5) 都心部で開催されているマルシェ（朝市・夕市、青空市など）にも出店したい。
- (6) 直売所の経営やマルシェに出店をしているが、課題や問題点がある。

【具体的に： _____】

(7) その他

【具体的に： _____】

6 学校給食についてお伺いします。

問 17 学校給食での地元農産物利用についてのお考えを教えてください。（1つに○）

- (1) 現状のとおり、各農家と学校との個別契約で進めるのが良い。
- (2) JA等がとりまとめ、組織化等の仕組みづくりに取り組むのが良い。
- (3) その他（必要とお考えの事項等）

[_____]

7 量販店や小売店への販売、契約販売等についてお伺いします。

問 18 量販店や小売店への販売、契約販売等について状況を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

- (1) 現在スーパーマーケット等小売店舗との取引がある。
- (2) 現在、飲食店との取引がある。
- (3) その他店舗等への直接出荷、販売（場所借り）をしている。
- (4) 消費者への宅配を実施している。
- (5) 店舗等との取引、宅配は実施していない。
- (6) その他

[_____]

8 農業の担い手についてお伺いします。

問 19 認定農業者制度についてお伺いします。(1つに○)

- (1) 認定農業者の制度内容を理解し、既に認定を受けている。
- (2) 制度内容は理解し、認定を受けたいが「認定基準」を満たすことが難しい。
- (3) 過去に認定を受けていたが、再認定を受けなかった。
【その理由： _____】
- (4) 認定を受けたいと思わない。
【その理由： _____】
- (5) その他(具体的に： _____)

問 20 農作業の繁忙期等の人員確保について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- (1) アルバイトを雇用している。
- (2) 家族を動員している。
- (3) 家族・アルバイトとも動員している。
- (4) 援農ボランティアを受け入れている。
- (5) 人員確保の必要はない。
- (6) 人員の確保が必要だができていない。
- (7) 特に何もしていない。
- (8) その他(具体的に： _____)

問 21 援農ボランティアとして、農作業の手伝いをしてくれる方を受け入れることについて、どのような人材であれば受け入れたいですか?お考えを教えてください。(1つに○)

- (1) 中長期的(数ヶ月程度)の手伝いが可能である方なら受け入れたい。
- (2) 繁忙期(1週間程度)など、必要な際だけでも手伝いが可能である方なら受け入れたい。
- (3) 農業への意向や一定以上の技術を確認できる方なら受け入れたい。
- (4) 受け入れは希望しない。
- (5) その他(具体的に： _____)

9 農地の状況についてお伺いします。

問 22 あなたが所有(市内・市外)及び貸借して営農する農地の合計面積を教えてください。

- (1) 5a未満
- (2) 5a~30a
- (3) 30a~50a
- (4) 50a~100a
- (5) 100a~150a
- (6) 150a~200a
- (7) 200a~300a
- (8) 300a~500a
- (9) 500a以上

問 23 今後の農地利用の意向を教えてください。(1つに○)

- (1) 現状のまま自身及び家族での耕作を続けたい。
- (2) 規模拡大して経営の効率化を進めたい。
- (3) 一部を農地転用した上で駐車場等の用地として利用したい。
- (4) 近隣の農家等に貸し付けて耕作してもらいたい。
- (5) 近隣の農家等に農地として売却したい。
- (6) 宅地として売却したい。
- (7) その他(具体的に) { _____ }

問 24 あなたの農地保全・活用の課題について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- (1) 相続時の税負担が課題。
- (2) 固定資産税などの税負担が課題。
- (3) 営農環境の悪化(周辺宅地住民との関係、農業資材価格の高騰など)。
- (4) 規模拡大が難しく、農業収入の拡大が見込めない。
- (5) 後継者の確保が課題。
- (6) 農作業の人員不足により、農地の積極的な活用ができないことが課題。
- (7) 施設整備への投資が難しい。
- (8) 農地・施設維持のための経費が課題。
- (9) その他(具体的に)

10 生産緑地についてお伺いします。

問 25 生産緑地の所有の有無について教えてください。(1つに○)

- (1) 所有している
- (2) 所有していない

上記で「(1) 所有している」とお答えの方にお尋ねします。

問 25-1 相続税納税猶予の適用を受けていますか。(1つに○)

- (1) 全て、又はほぼ全て(8割以上)で適用を受けている。
- (2) 一部(8割未満)で適用を受けている。
- (3) 適用を受けていない。

問 26 2022年度以降、多くの生産緑地地区で買取申出要件である指定後30年を経過しますが、あなたの所有する生産緑地の利用意向についてお教えてください。(1つに○)

- (1) 特定生産緑地制度を利用したい。
※特定生産緑地地区の指定を受けると、買取申出できる時期が10年先送りになります。
- (2) 買取申出をした上で生産緑地地区指定を解除し、土地の有効活用を行いたい。
- (3) 特定生産緑地の指定を受けずに、いつでも買取申出できる生産緑地として維持したい。
※特定生産緑地地区に指定した場合と比べ、税制上の優遇措置に差がつかます。
- (4) まだ定まっていない、わからない。

問 27 生産緑地法の改正により、生産緑地地区内に農産物直売所や農家レストラン等の設置ができるようになりました。これらについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

※相続税猶予制度の適用は認められていません。

- (1) 生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい。
- (2) 生産緑地でとれた農産物を用いたレストランを整備したい。
- (3) 施設の整備は考えていない。
- (4) わからない。
- (5) その他

問 28 宅地化農地等を生産緑地に指定することについて、お考えをお聞かせください。
(あてはまるもの全てに○)

生産緑地法の改正により、生産緑地地区の指定面積要件が「500㎡」から「300㎡」に引き下げられた他、離れた農地でも一回で面積要件を満たすことができるようになりました。また、コンクリート張にハウスを建てる場合にも農地として認められるなど、農地を残す、農地に戻すための制度変更が進められています。

- (1) 買取申出をしたが転用せずに、農地として使用している土地の再指定を考えたい。
- (2) 農地転用した土地を、再度農地に戻すことを考えたい。
- (3) 面積要件により、生産緑地にできなかった農地の指定を考えたい。
- (4) わからない。
- (5) その他 []

問 29 都市農地に関する制度の改正により、

- ①相続税納税猶予制度適用農地でも貸借が可能になり、
- ②貸借中に生産緑地の相続が発生した場合も相続税納税猶予制度の適用を受けることができることとなります。

これを受けて、生産緑地の貸借について、あなたのお考えをお聞かせください。
(あてはまるもの全てに○)

- (1) 自身が所有する生産緑地を貸したい・貸しても良い。

貸したい、貸しても良いとお考えの場合には、どのような活用を望みますか。
(あてはまるものすべてに○)

- ① 地域の担い手に貸して営農を続けてもらいたい。
- ② 新規就農者に貸して、営農を続けてもらいたい。
- ③ JA や行政に貸して市民農園を開設してほしい。
- ④ 企業や NPO 等の法人に貸して市民農園を開設してほしい。
- ⑤ その他

- (2) 生産緑地を借りたい、借りても良い。
- (3) わからない
- (4) その他 []

11 農業を通じた市民等との交流についてお伺いします。

問 30 今後、農業を通じた市民等との交流にあたっては、どのような取り組みが効果的か、お考えを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

- (1) 体験型のイベントの実施
- (2) 農業に関する講座等の実施
- (3) 即売会等の販売イベントの実施
- (4) 市民農園の開設及び運営
- (5) 農業体験農園の開設及び運営
- (6) 観光農園の開設及び運営
- (7) 朝市や直売の実施による市民との交流
- (8) その他(具体的に)

[]

問 31 農業・農地には市民にとって食の安全安心の確保や防災など、暮らしを守る機能が期待されています。あなたが農業を営む上で、これからの農業や農地が持つ役割についてどのようなことが重要か、お考えを教えてください。(3つまで○)

- (1) 新鮮で安全な農産物の供給
- (2) まちなかに農地がある景観・風景の形成
- (3) 環境に配慮した農業(有機農業、減農薬・減化学肥料栽培、エコファーマー等)の推進
- (4) 良好な環境(農地周辺の気温低下など)の形成
- (5) 昆虫などの生物が生息する生態系の維持・保全
- (6) 災害発生時の避難先としてのオープンスペースの確保
- (7) 市民農園・農業体験農園により農業に触れる機会の創出
- (8) 子ども達が学校教育や情操教育の中で、農業に触れる機会の創出
- (9) 地域の特産物開発(ブランド商品の開発)
- (10) 農産物を活用した料理やイベント等の文化の伝承
- (11) まちの「ブランド力」の向上
- (12) その他 [

12 最後に

問 32 営農、農業経営に関する課題や農地保全に関する課題、第2次農業振興計画策定からの5年間の農業施策の評価、今後の農業施策に対する期待など、ご意見がありましたらご自由にご記入ください。

以上です。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

農業者アンケート 結果速報値

現在までの回収済アンケートについての集計結果速報です。今後、追加回収分を加えて再集計・分析を行います。

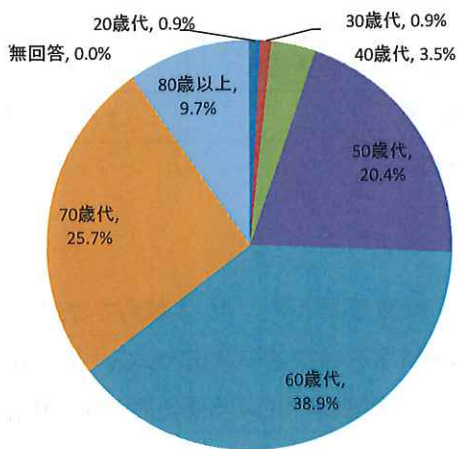
1 主に農業に従事されている方と家族のことについてお伺いします。

問1 あなた(主に農業に従事されている方)の年齢を教えてください。(1つに○)

○回答者の年齢として、「60 歳代」が最も多く(38.9%)、次いで「70 歳代」(25.7%)、「50 歳代」(20.4%)と続く。

項目	件数	割合
20 歳代	1	0.9%
30 歳代	1	0.9%
40 歳代	4	3.5%
50 歳代	23	20.4%
60 歳代	44	38.9%
70 歳代	29	25.7%
80 歳以上	11	9.7%
無回答		0.0%

N=113

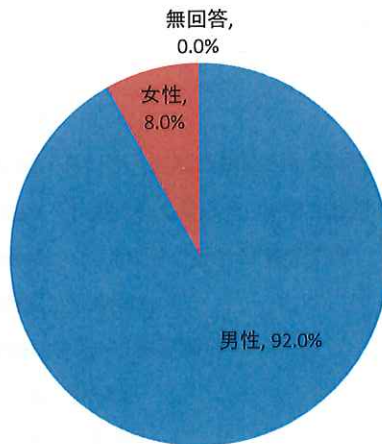


問2 あなたの性別を教えてください。(1つに○)

○回答者の性別は、「男性」が 92.0%、「女性」が 8.0%である。

項目	件数	割合
男性	104	92.0%
女性	9	8.0%
無回答		0.0%

N=113

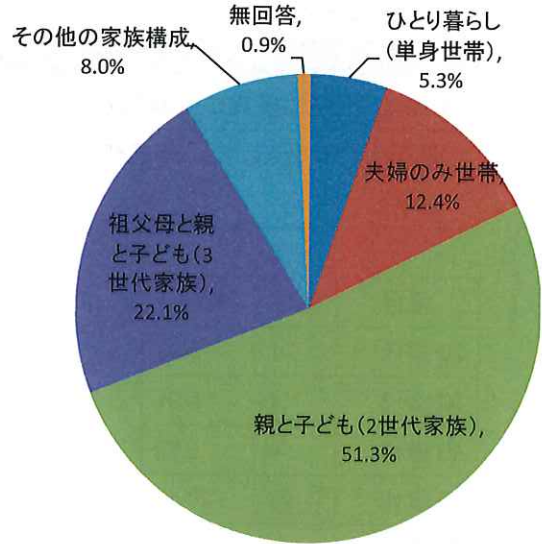


問3 あなたの家族(同居されている方)の構成について教えてください。(1つに○)

○回答者の家族構成として、「親と子ども(2世代家族)」が最も多く(51.3%)、次いで「祖父母と親と子ども(3世代家族)」(22.1%)となっている。

項目	件数	割合
夫婦のみ世帯	14	12.4%
親と子ども(2世代家族)	58	51.3%
祖父母と親と子ども(3世代家族)	25	22.1%
その他の家族構成	9	8.0%
無回答	1	0.9%

N=113

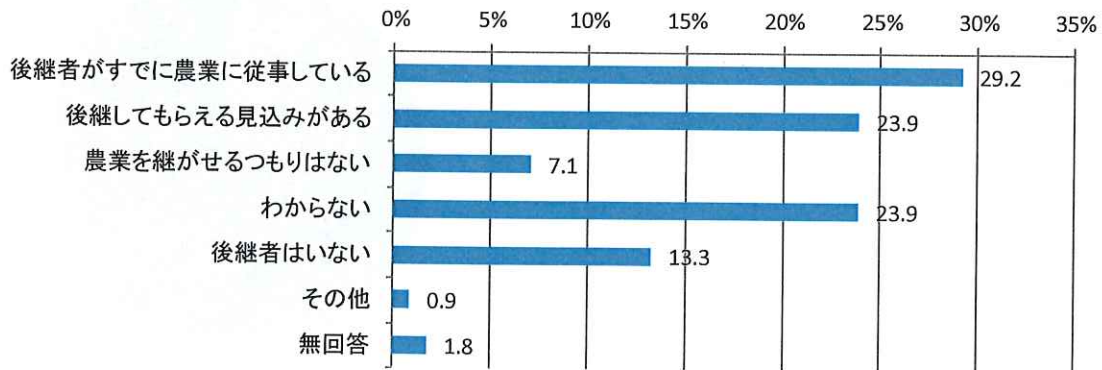


問4 後継者の状況について教えてください。(1つに○)

○回答者の後継者の状況として、「後継者がすでに農業に従事している」が最も多く(29.3%)、次いで、「後継してもらえる見込みがある」「わからない」が同じく 23.9%となっている。

項目	件数	割合
後継者がすでに農業に従事している	33	29.2%
後継してもらえる見込みがある	27	23.9%
農業を継がせるつもりはない	8	7.1%
わからない	27	23.9%
後継者はいない	15	13.3%
その他	1	0.9%
無回答	2	1.8%

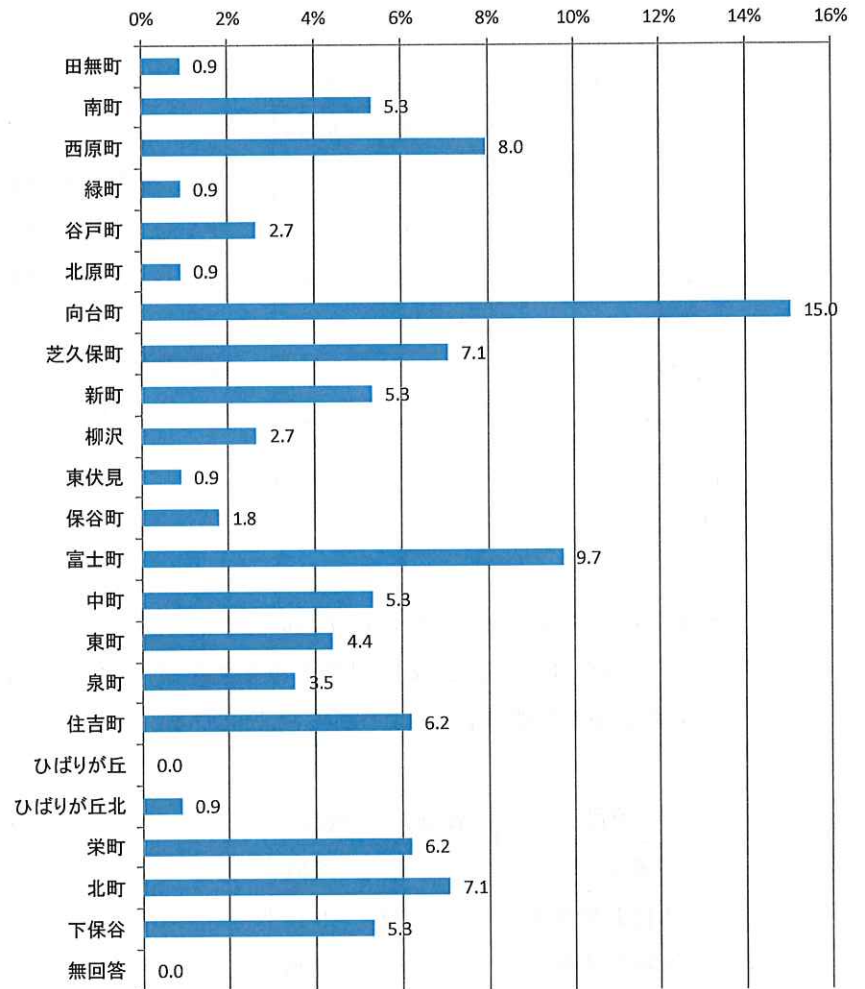
N=113



問5 あなたのお住まいを教えてください。(1つに○)

○回答者の居住地としては、「向台町」が最も多く(15.0%)、次いで、「富士町」(9.7%)、「西原町」(8.0%)と続いている。

項目	件数	割合
田無町	1	0.9%
南町	6	5.3%
西原町	9	8.0%
緑町	1	0.9%
谷戸町	3	2.7%
北原町	1	0.9%
向台町	17	15.0%
芝久保町	8	7.1%
新町	6	5.3%
柳沢	3	2.7%
東伏見	1	0.9%
保谷町	2	1.8%
富士町	11	9.7%
中町	6	5.3%
東町	5	4.4%
泉町	4	3.5%
住吉町	7	6.2%
ひばりが丘		0.0%
ひばりが丘北	1	0.9%
栄町	7	6.2%
北町	8	7.1%
下保谷	6	5.3%
無回答		0.0%



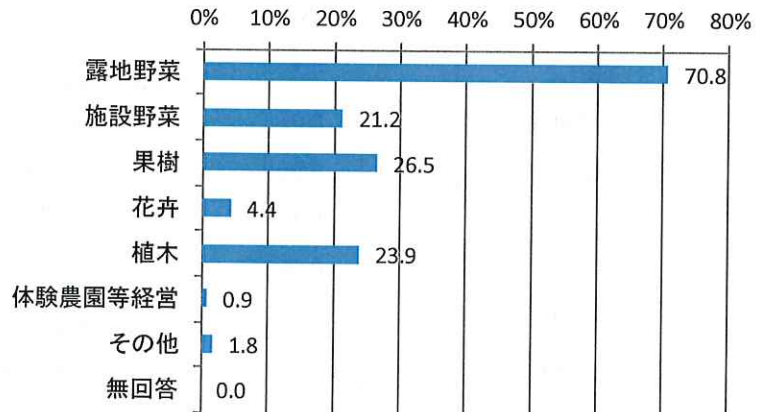
N=113

2 農業経営の現状についてお伺いします。

問6 あなたの営農種類について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○回答者の営農種類としては、「露地野菜」が最も多く(80件)、次いで「果樹」(30件)、「植木」(27件)、「施設野菜」(24件)と続いている。

項目	件数	割合
露地野菜	80	70.8%
施設野菜	24	21.2%
果樹	30	26.5%
花卉	5	4.4%
植木	27	23.9%
体験農園等経営	1	0.9%
その他	2	1.8%
無回答		0.0%

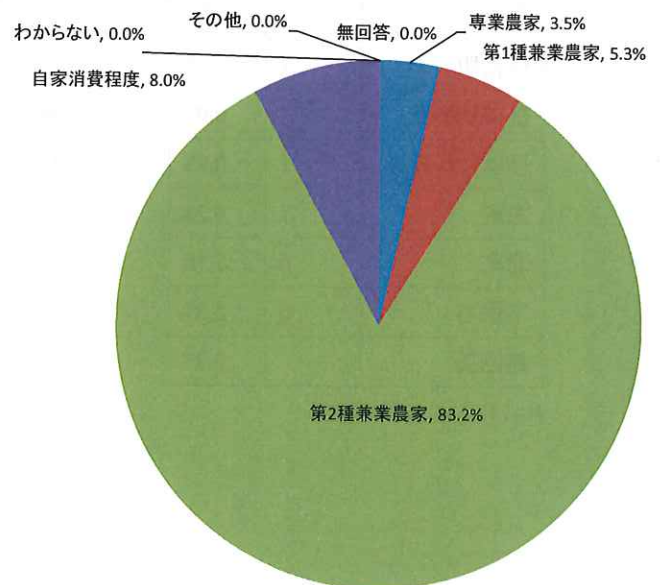


N=113

問7 あなたの経営形態を教えてください。(1つに○)

○回答者の経営形態としては、「第2種兼業農家」が83.2%を占め、最多である。
○「第2種兼業農家」以外は1割を下回っている。

項目	件数	割合
専業農家	4	3.5%
第1種兼業農家	6	5.3%
第2種兼業農家	94	83.2%
自家消費程度	9	8.0%
わからない		0.0%
その他		0.0%
無回答		0.0%



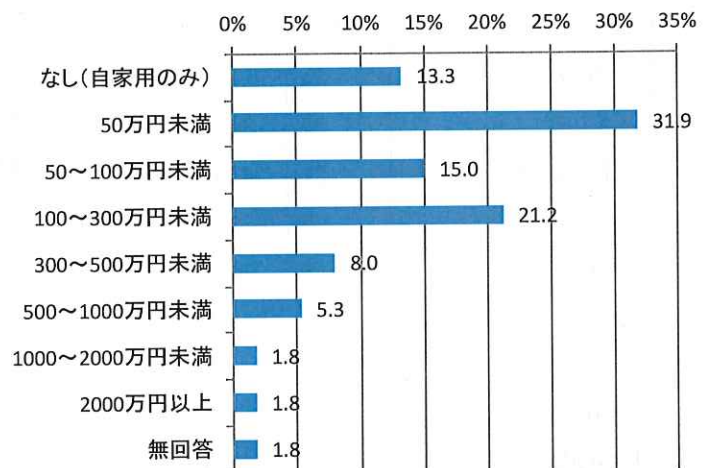
N=113

問8 あなたの家の年間(直近の)農業取得と農業所得以外の所得を、教えてください。

【農業所得】(1つに○)

○回答者の農業所得については、「50万円未満」が最も多く(31.9%)、次いで、「100～300万円未満」(21.2%)、「50～100万円未満」(15.0%)、「なし」(13.3%)と続いている。

項目	件数	割合
なし(自家用のみ)	15	13.3%
50万円未満	36	31.9%
50～100万円未満	17	15.0%
100～300万円未満	24	21.2%
300～500万円未満	9	8.0%
500～1000万円未満	6	5.3%
1000～2000万円未満	2	1.8%
2000万円以上	2	1.8%
無回答	2	1.8%

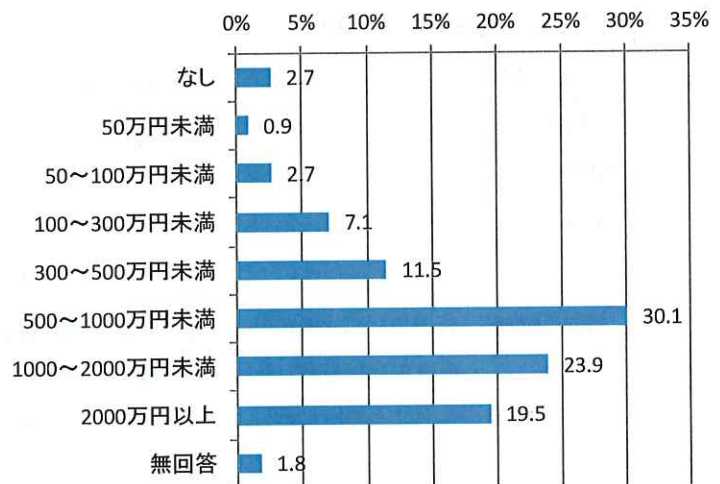


N=113

【農業所得以外の所得】(1つに○)

○回答者の農業所得以外の所得では、「500～1000万円未満」が最も多く(30.1%)、次いで、「1000～2000万円未満」(23.9%)、「2000万円以上」(19.5%)と続いている。

項目	件数	割合
なし	3	2.7%
50万円未満	1	0.9%
50～100万円未満	3	2.7%
100～300万円未満	8	7.1%
300～500万円未満	13	11.5%
500～1000万円未満	34	30.1%
1000～2000万円未満	27	23.9%
2000万円以上	22	19.5%
無回答	2	1.8%

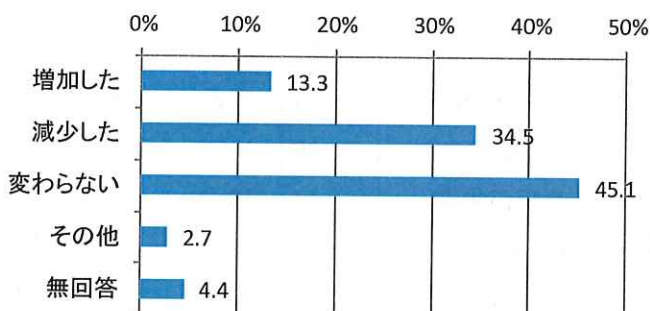


N=113

問9 あなたの家の年間の農業所得(収入から必要経費(家族労働費を除く)を除いたもの)について、過去5年間での変化を教えてください。(1つに○)

○回答者の過去5年間の農業所得の変化としては、「変わらない」が最も多く(45.1%)、次いで、「減少した」(34.5%)、「増加した」(13.3%)となっている。

項目	件数	割合
増加した	15	13.3%
減少した	39	34.5%
変わらない	51	45.1%
その他	3	2.7%
無回答	5	4.4%



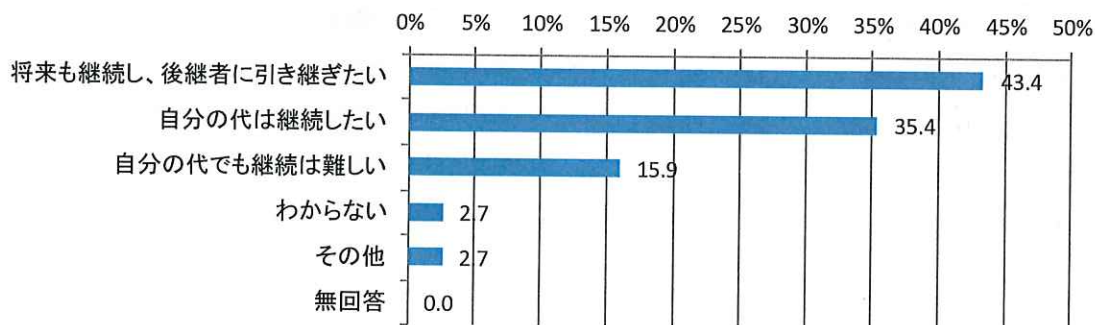
N=113

問10 あなたの今後の農業について、お考えを教えてください。(1つに○)

○回答者の今後の農業については、「将来も継続し、後継者に引き継ぎたい」が最も多く、43.4%を占めた。次いで、「自分の代は継続したい」が35.4%であった。一方で、「自分の代でも継続は難しい」という回答が15.9%となっている。

項目	件数	割合
将来も継続し、後継者に引き継ぎたい	49	43.4%
自分の代は継続したい	40	35.4%
自分の代でも継続は難しい	18	15.9%
わからない	3	2.7%
その他	3	2.7%
無回答		0.0%

N=113



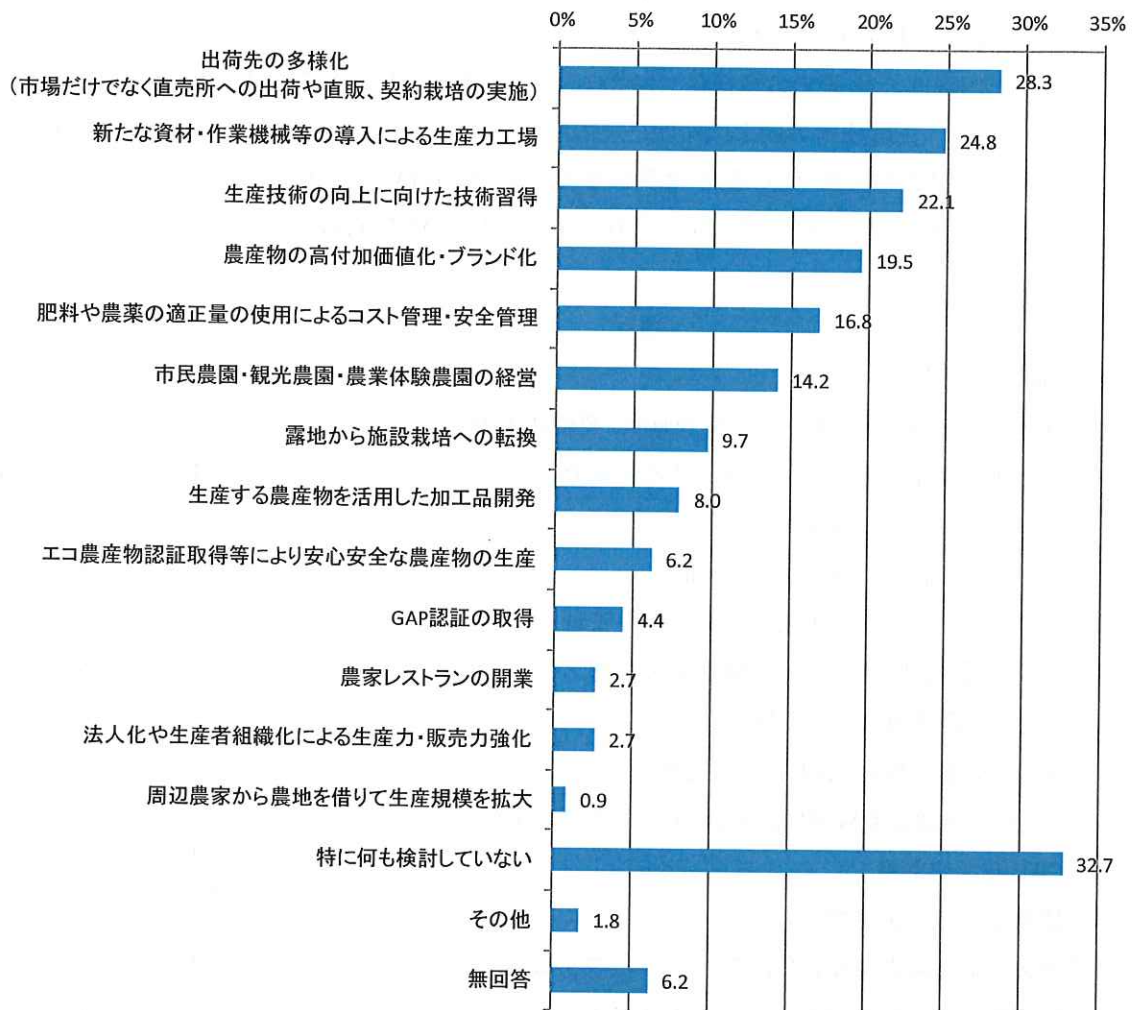
問 11 農業収入を安定させるために、今後取り組んでいきたいことを教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

○検討内容は、「出荷先の多様化」(28.3%)、「新たな資材・作業機械等の導入による生産力向上」(24.8%)、「生産技術の向上に向けた技術習得」(22.1%)、「農産物の高付加価値化・ブランド化」(19.5%)、「市民農園・観光農園・農業体験農園の経営」(14.2%)の順となった。
○しかし、回答で最多を占めたのは、「特に何も検討していない」(37件)であった。

項目	件数	割合
出荷先の多様化 (市場だけでなく直売所への出荷や直販、契約栽培の実施)	32	28.3%
新たな資材・作業機械等の導入による生産力向上	28	24.8%
生産技術の向上に向けた技術習得	25	22.1%
農産物の高付加価値化・ブランド化	22	19.5%
肥料や農薬の適正量の使用によるコスト管理・安全管理	19	16.8%
市民農園・観光農園・農業体験農園の経営	16	14.2%
露地から施設栽培への転換	11	9.7%
生産する農産物を活用した加工品開発	9	8.0%
エコ農産物認証取得等により安心安全な農産物の生産	7	6.2%
GAP 認証の取得	5	4.4%
農家レストランの開業	3	2.7%
法人化や生産者組織化による生産力・販売力強化	3	2.7%
周辺農家から農地を借りて生産規模を拡大	1	0.9%
特に何も検討していない	37	32.7%
その他	2	1.8%
無回答	7	6.2%

N=113



3 過去5年間の農業施策についてお伺いします。

問 12 西東京市の農業振興に向けて、以下のような施策を実施してきました。これらの事業について、実施内容・状況に満足できるか、重要だと思うかについて、以下お答えください。

(各事業に対する認知度及び重要度について、それぞれ1つに○)

事業1 直売所の利用の促進

満足度

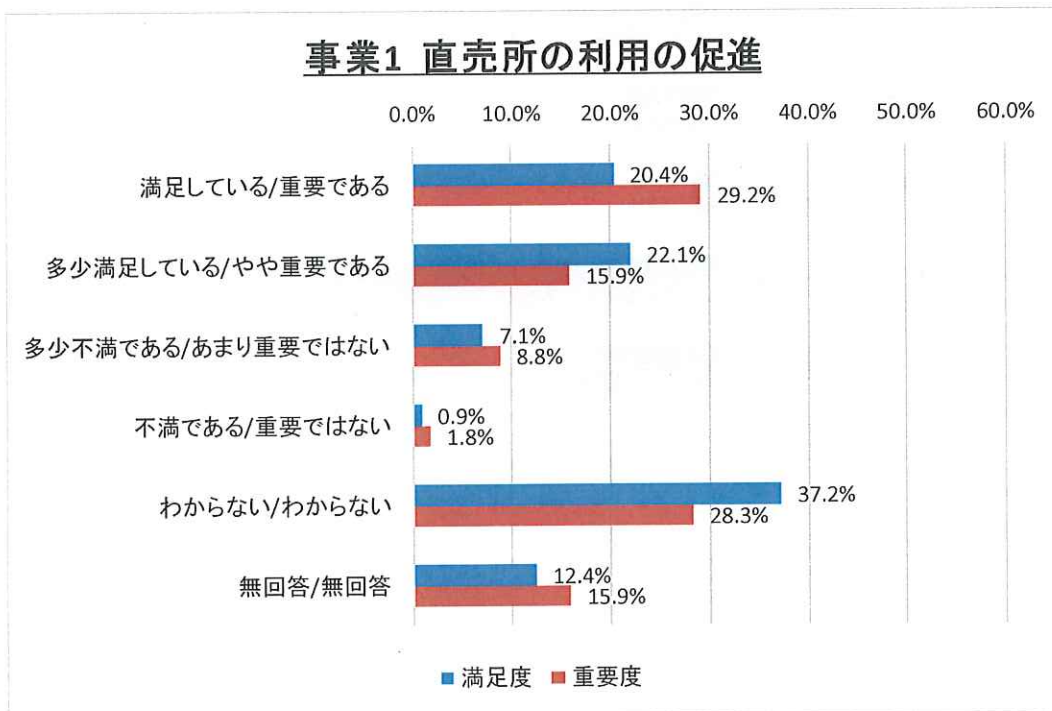
項目	件数	割合
満足している	23	20.4%
多少満足している	25	22.1%
多少不満である	8	7.1%
不満である	1	0.9%
わからない	42	37.2%
無回答	14	12.4%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	33	29.2%
やや重要である	18	15.9%
あまり重要でない	10	8.8%
重要でない	2	1.8%
わからない	32	28.3%
無回答	18	15.9%

N=113



事業2 めぐみちゃんメニューの推進

満足度

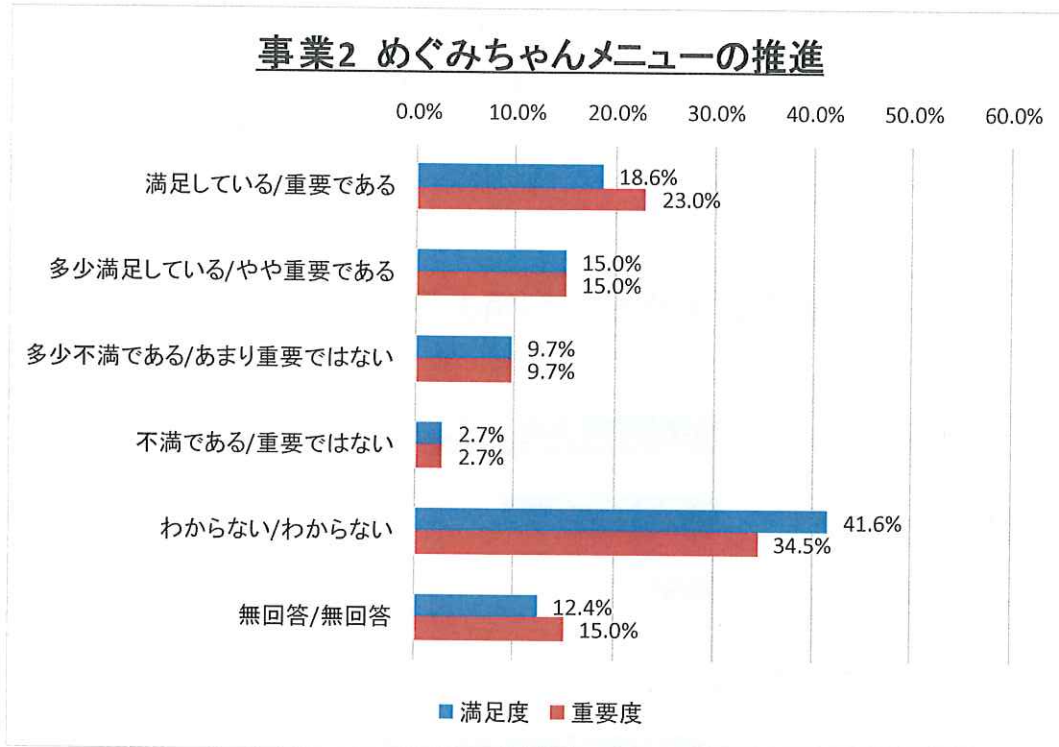
項目	件数	割合
満足している	21	18.6%
多少満足している	17	15.0%
多少不満である	11	9.7%
不満である	3	2.7%
わからない	47	41.6%
無回答	14	12.4%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	26	23.0%
やや重要である	17	15.0%
あまり重要でない	11	9.7%
重要でない	3	2.7%
わからない	39	34.5%
無回答	17	15.0%

N=113



事業3 学校給食との連携

満足度

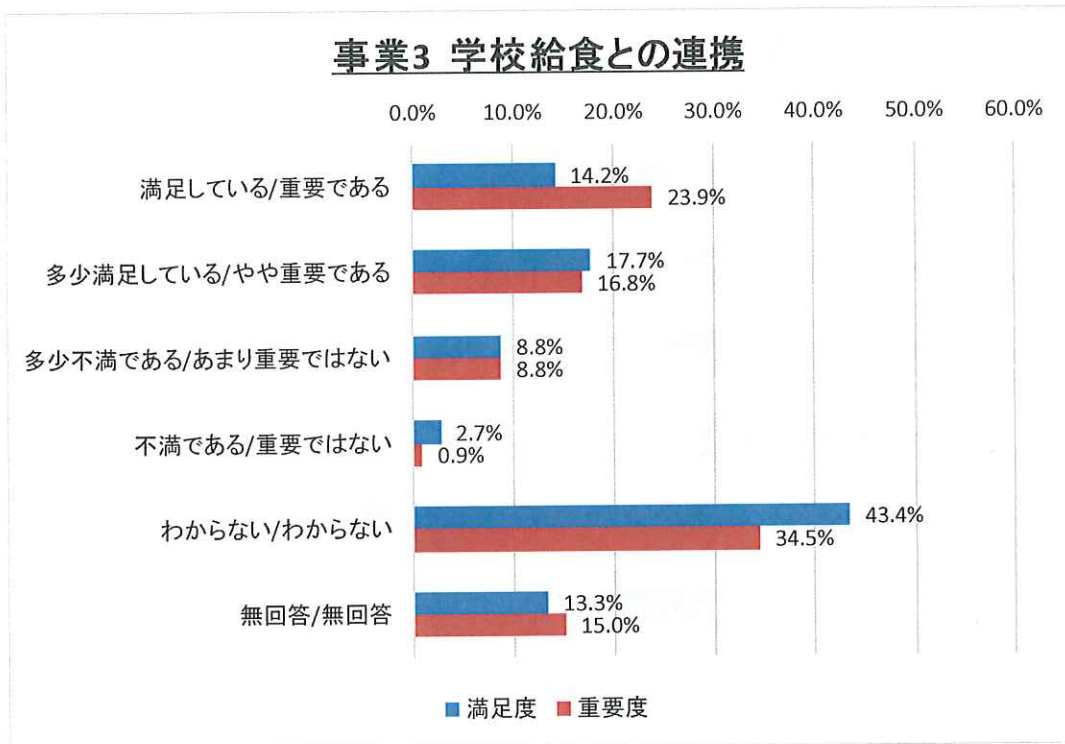
項目	件数	割合
満足している	16	14.2%
多少満足している	20	17.7%
多少不満である	10	8.8%
不満である	3	2.7%
わからない	49	43.4%
無回答	15	13.3%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	27	23.9%
やや重要である	19	16.8%
あまり重要でない	10	8.8%
重要でない	1	0.9%
わからない	39	34.5%
無回答	17	15.0%

N=113



事業4 めぐみちゃんブランドの普及啓発

満足度

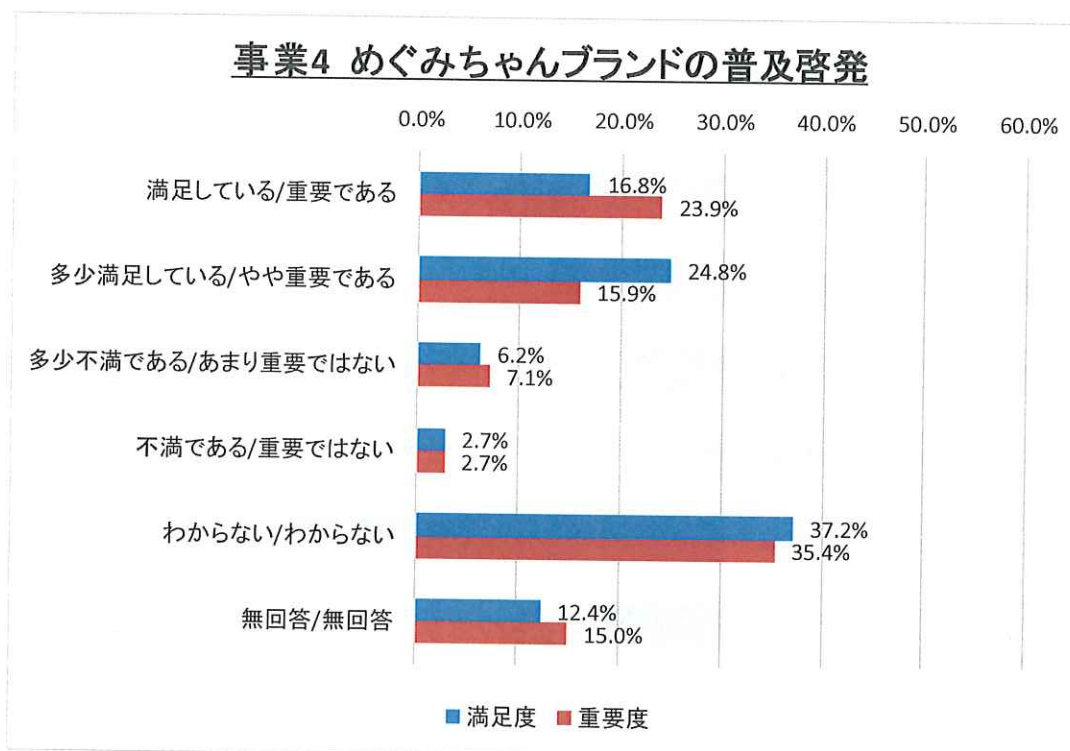
項目	件数	割合
満足している	19	16.8%
多少満足している	28	24.8%
多少不満である	7	6.2%
不満である	3	2.7%
わからない	42	37.2%
無回答	14	12.4%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	27	23.9%
やや重要である	18	15.9%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	3	2.7%
わからない	40	35.4%
無回答	17	15.0%

N=113



事業5 地域や商店街との連携

満足度

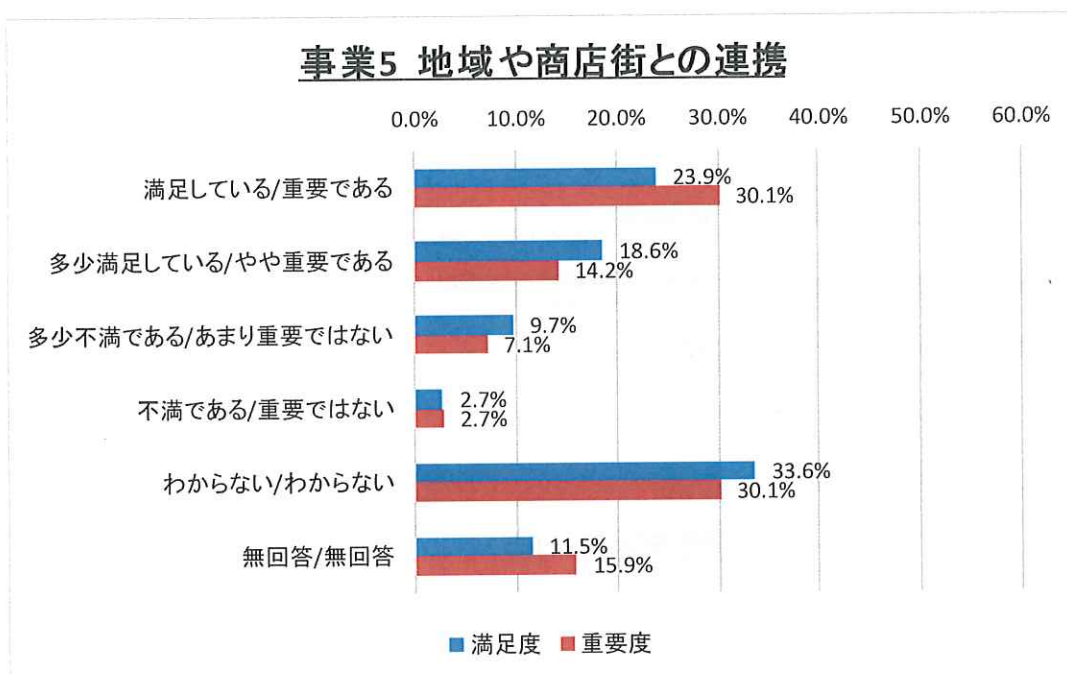
項目	件数	割合
満足している	27	23.9%
多少満足している	21	18.6%
多少不満である	11	9.7%
不満である	3	2.7%
わからない	38	33.6%
無回答	13	11.5%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	34	30.1%
やや重要である	16	14.2%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	3	2.7%
わからない	34	30.1%
無回答	18	15.9%

N=113



事業6 地元と連携した後継者育成、若い担い手(新規就農者含む)の育成検討

満足度

項目	件数	割合
満足している	12	10.6%
多少満足している	31	27.4%
多少不満である	7	6.2%
不満である	2	1.8%
わからない	45	39.8%
無回答	16	14.2%

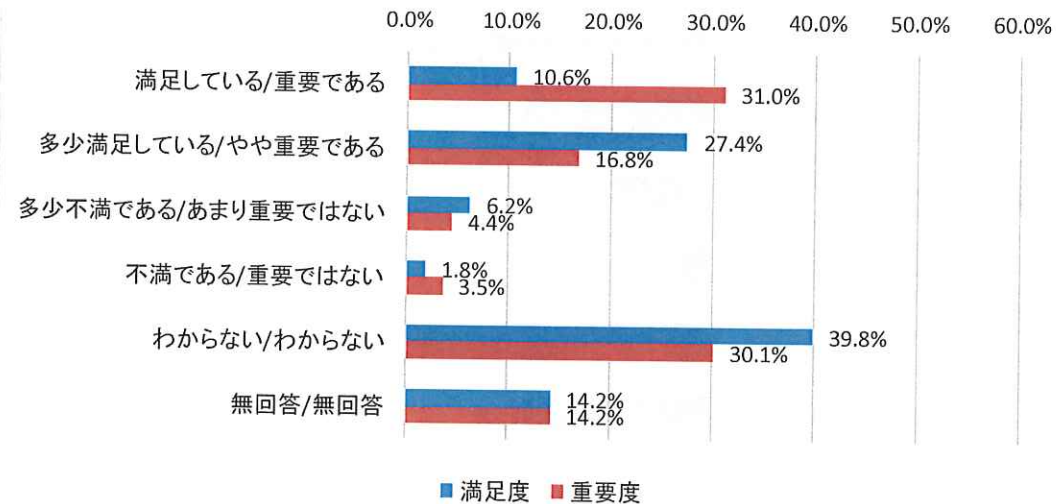
N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	35	31.0%
やや重要である	19	16.8%
あまり重要でない	5	4.4%
重要でない	4	3.5%
わからない	34	30.1%
無回答	16	14.2%

N=113

事業6 地元と連携した後継者育成、
若い担い手(新規就農者含む)の育成検討



事業7 女性農業者の育成の検討

満足度

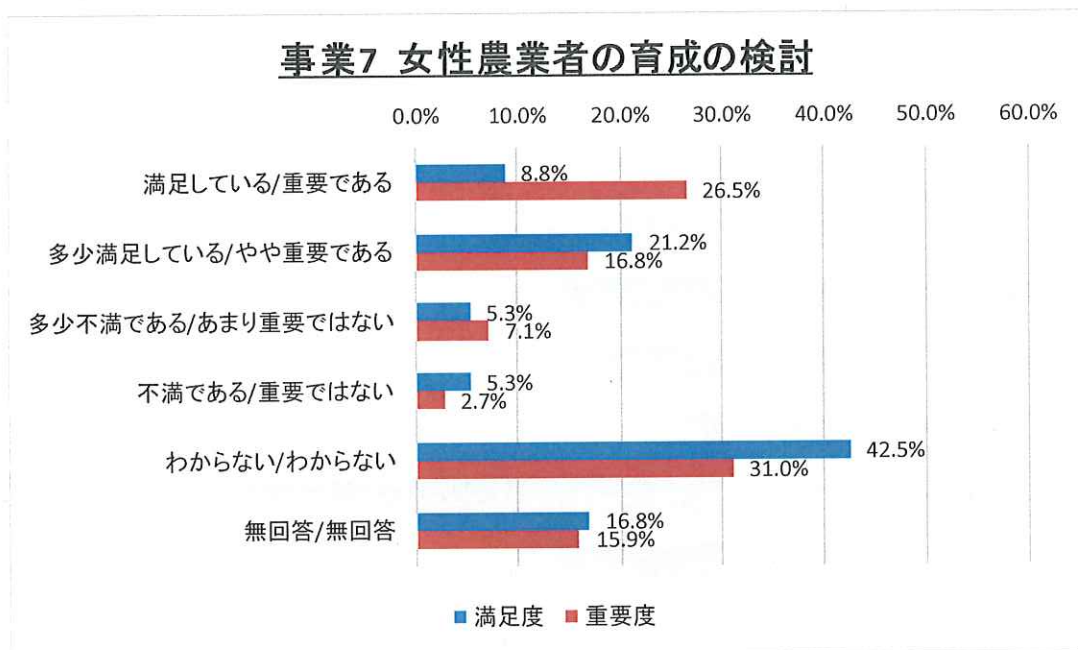
項目	件数	割合
満足している	10	8.8%
多少満足している	24	21.2%
多少不満である	6	5.3%
不満である	6	5.3%
わからない	48	42.5%
無回答	19	16.8%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	30	26.5%
やや重要である	19	16.8%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	3	2.7%
わからない	35	31.0%
無回答	18	15.9%

N=113



事業8 農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ

満足度

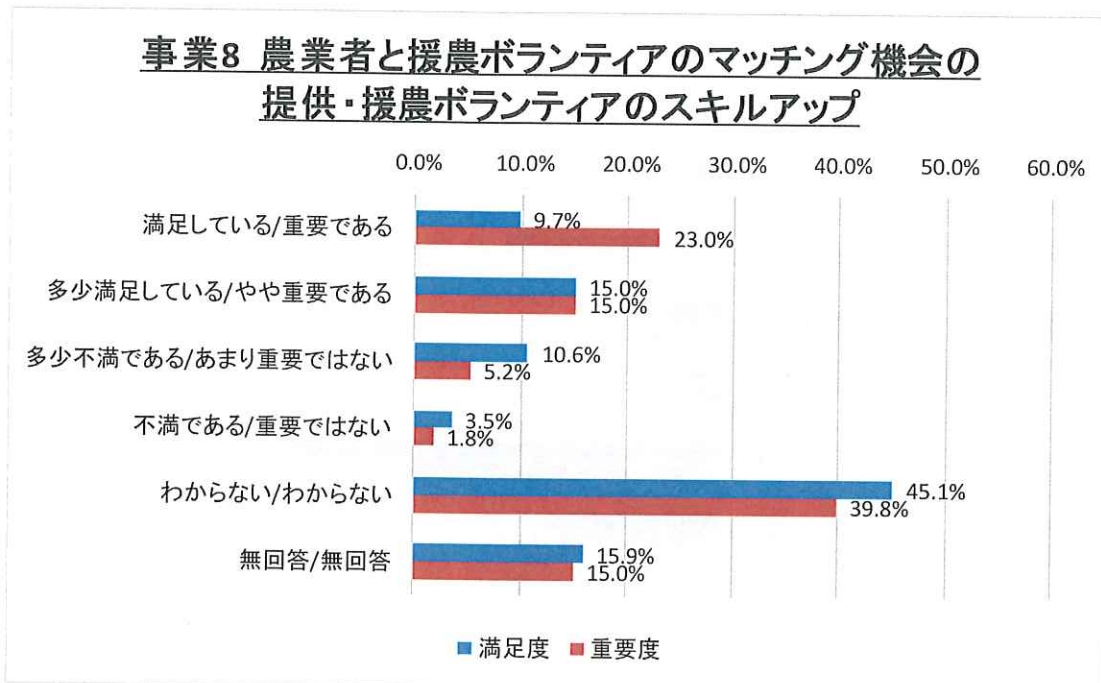
項目	件数	割合
満足している	11	9.7%
多少満足している	17	15.0%
多少不満である	12	10.6%
不満である	4	3.5%
わからない	51	45.1%
無回答	18	15.9%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	26	23.0%
やや重要である	17	15.0%
あまり重要でない	6	5.3%
重要でない	2	1.8%
わからない	45	39.8%
無回答	17	15.0%

N=113



事業9 認定農業者への支援の拡充の検討

満足度

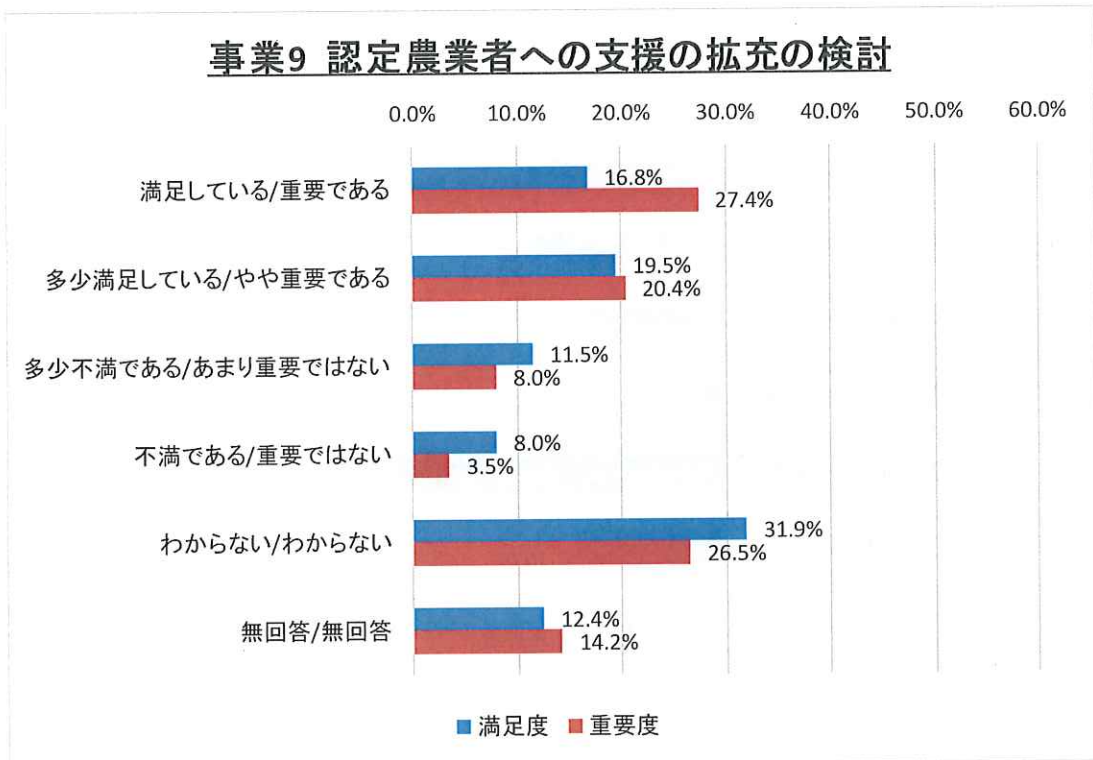
項目	件数	割合
満足している	19	16.8%
多少満足している	22	19.5%
多少不満である	13	11.5%
不満である	9	8.0%
わからない	36	31.9%
無回答	14	12.4%

M=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	31	27.4%
やや重要である	23	20.4%
あまり重要でない	9	8.0%
重要でない	4	3.5%
わからない	30	26.5%
無回答	16	14.2%

N=113



事業10 営農支援事業の適正運営

満足度

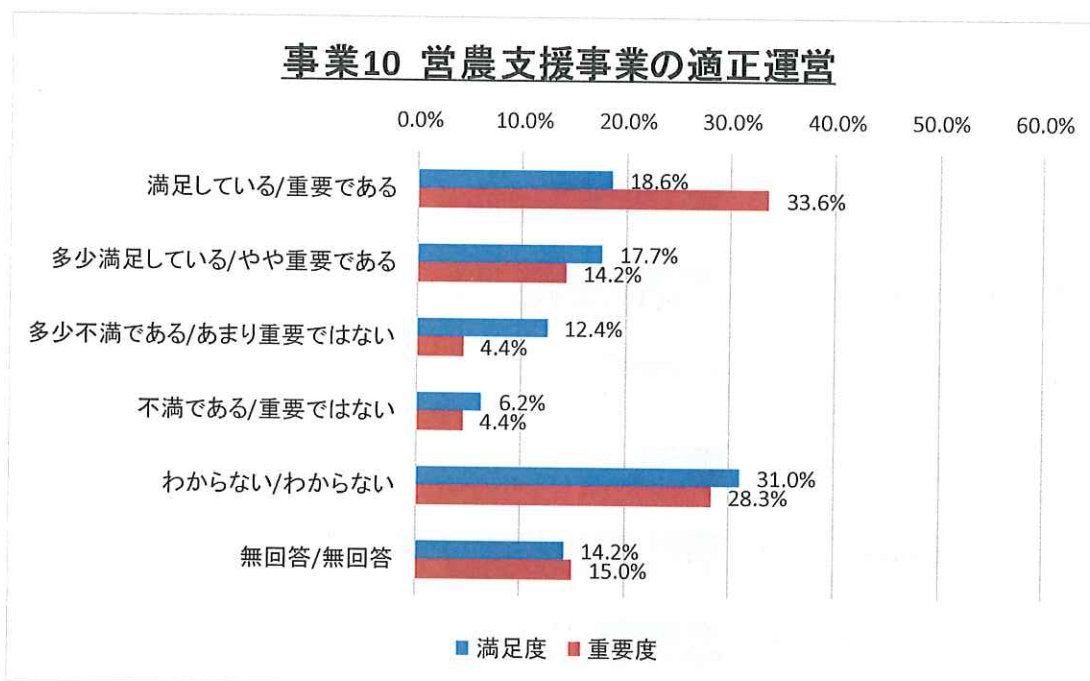
項目	件数	割合
満足している	21	18.6%
多少満足している	20	17.7%
多少不満である	14	12.4%
不満である	7	6.2%
わからない	35	31.0%
無回答	16	14.2%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	38	33.6%
やや重要である	16	14.2%
あまり重要でない	5	4.4%
重要でない	5	4.4%
わからない	32	28.3%
無回答	17	15.0%

N=113



事業 11 生産緑地地区への意見の具申

満足度

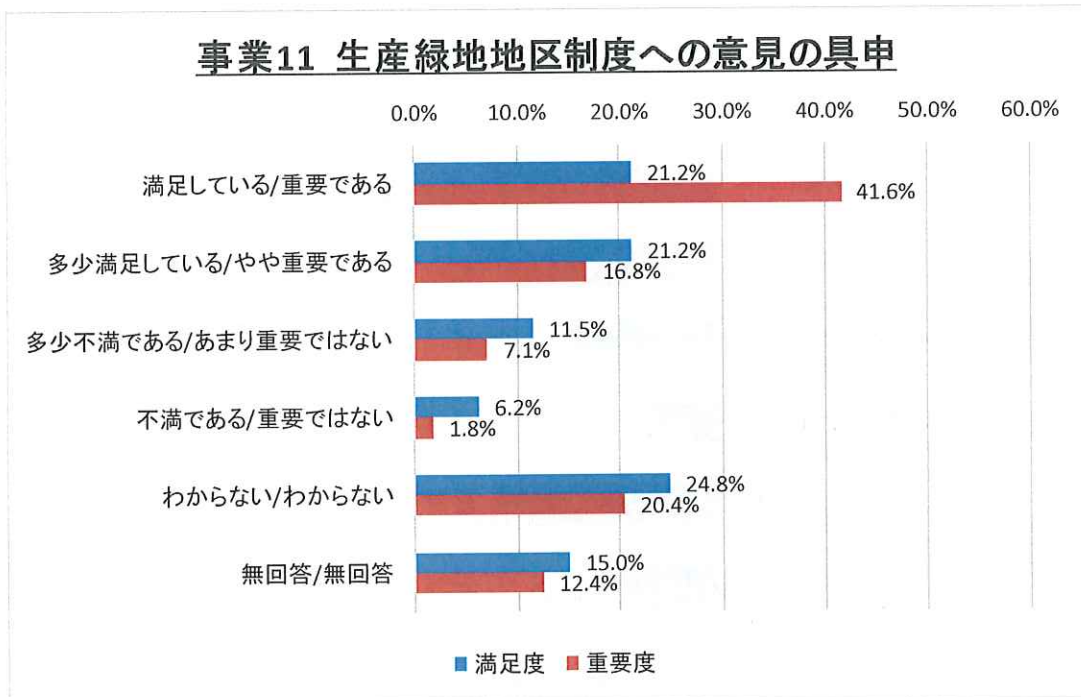
項目	件数	割合
満足している	24	21.2%
多少満足している	24	21.2%
多少不満である	13	11.5%
不満である	7	6.2%
わからない	28	24.8%
無回答	17	15.0%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	47	41.6%
やや重要である	19	16.8%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	2	1.8%
わからない	23	20.4%
無回答	14	12.4%

N=113



事業12 農地の適正な肥培管理

満足度

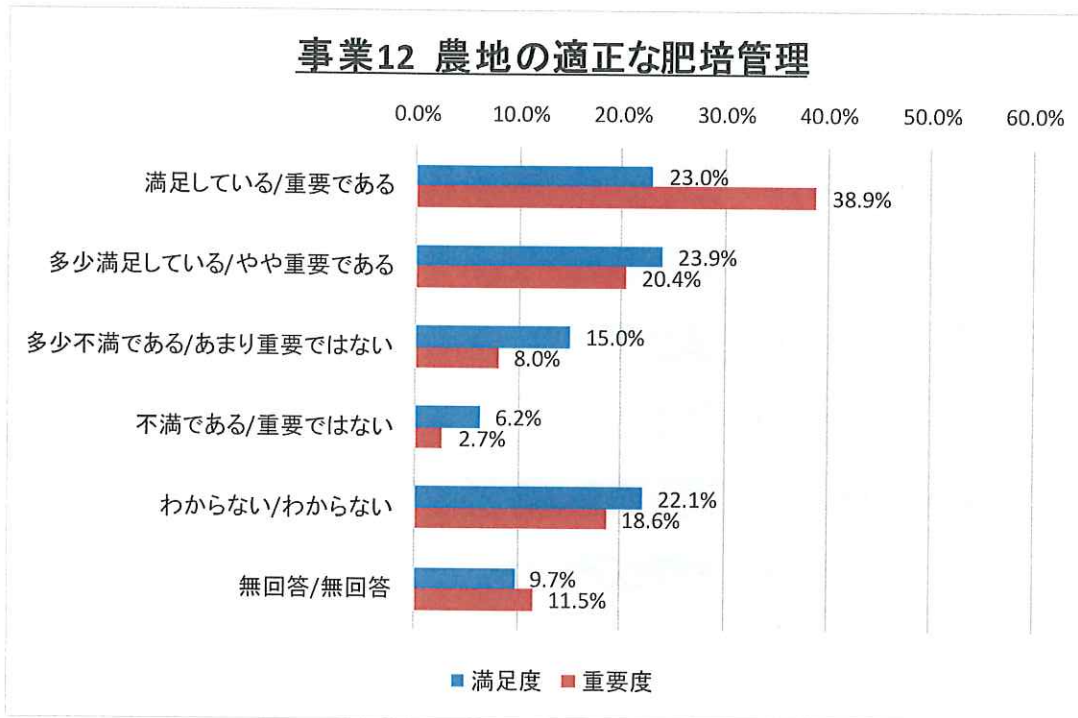
項目	件数	割合
満足している	26	23.0%
多少満足している	27	23.9%
多少不満である	17	15.0%
不満である	7	6.2%
わからない	25	22.1%
無回答	11	9.7%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	44	38.9%
やや重要である	23	20.4%
あまり重要でない	9	8.0%
重要でない	3	2.7%
わからない	21	18.6%
無回答	13	11.5%

N=113



事業13 市内農業関係施設の活用推進

満足度

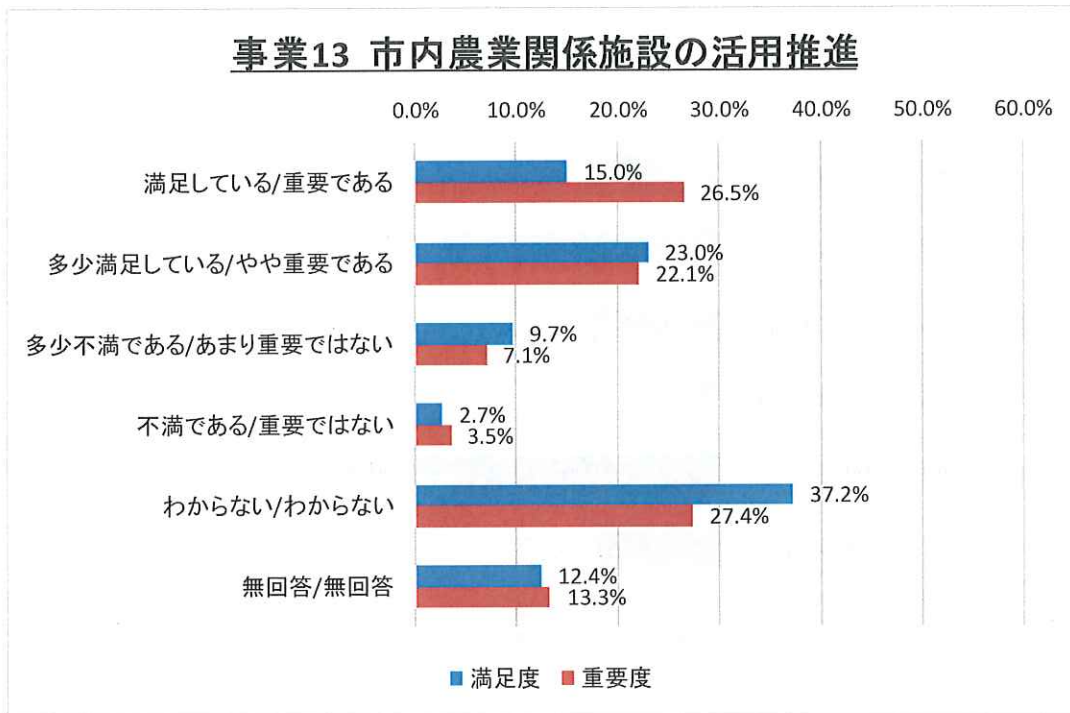
項目	件数	割合
満足している	17	15.0%
多少満足している	26	23.0%
多少不満である	11	9.7%
不満である	3	2.7%
わからない	42	37.2%
無回答	14	12.4%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	30	26.5%
やや重要である	25	22.1%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	4	3.5%
わからない	31	27.4%
無回答	15	13.3%

N=113



事業 14 災害協力農地の拡大

満足度

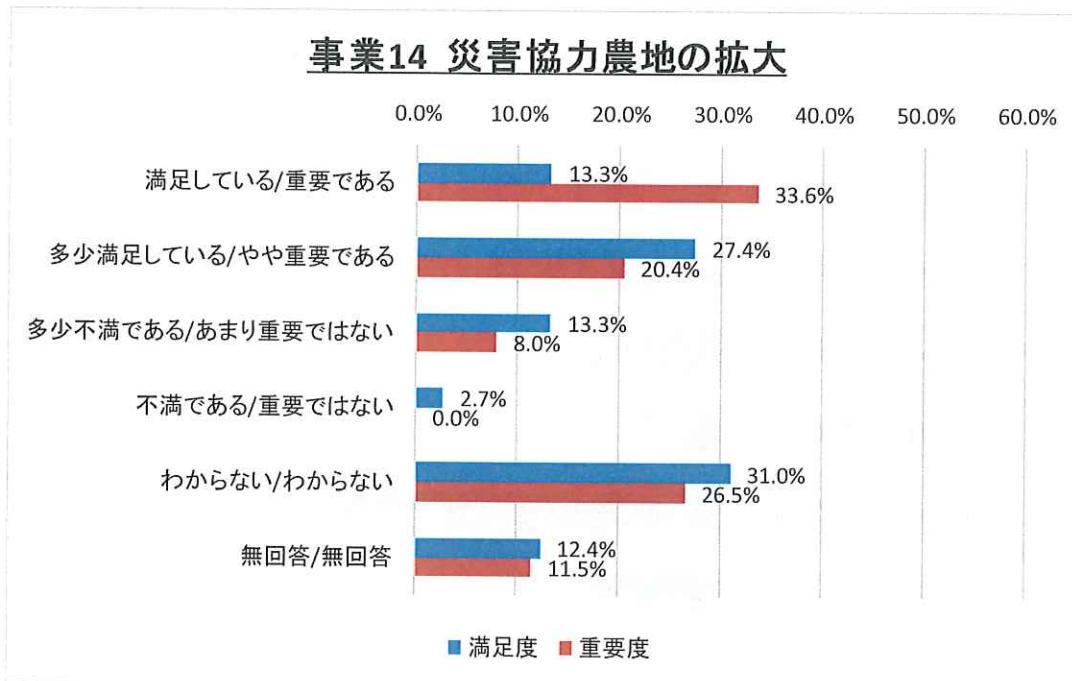
項目	件数	割合
満足している	15	13.3%
多少満足している	31	27.4%
多少不満である	15	13.3%
不満である	3	2.7%
わからない	35	31.0%
無回答	14	12.4%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	38	33.6%
やや重要である	23	20.4%
あまり重要でない	9	8.0%
重要でない		0.0%
わからない	30	26.5%
無回答	13	11.5%

N=113



事業 15 イベント等の実施

満足度

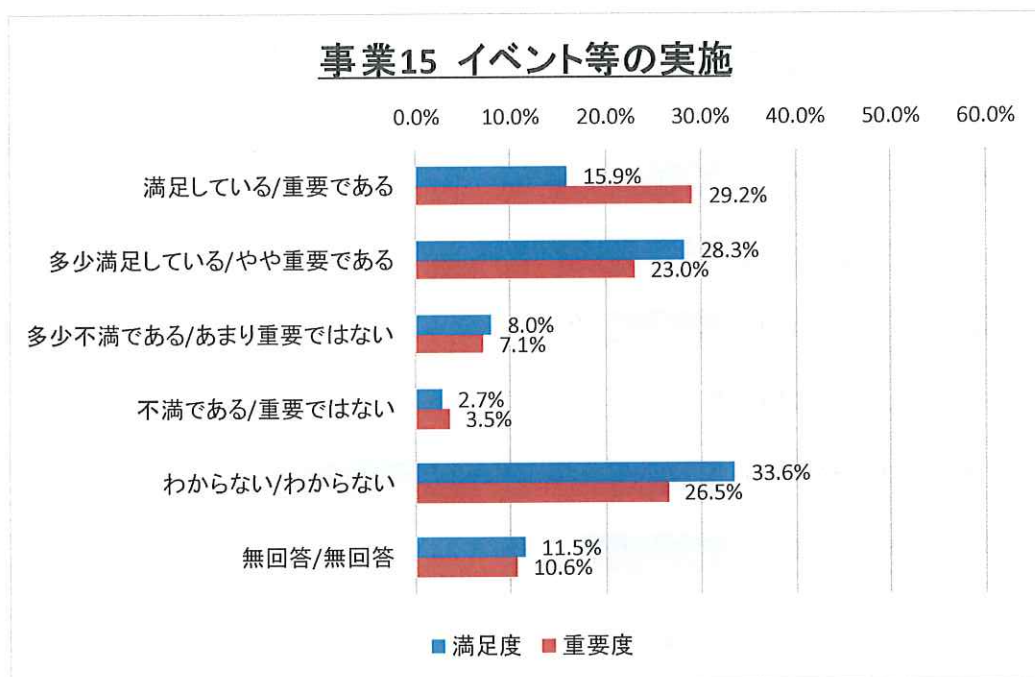
項目	件数	割合
満足している	18	15.9%
多少満足している	32	28.3%
多少不満である	9	8.0%
不満である	3	2.7%
わからない	38	33.6%
無回答	13	11.5%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	33	29.2%
やや重要である	26	23.0%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	4	3.5%
わからない	30	26.5%
無回答	12	10.6%

N=113



事業 16 農業普及啓発プロジェクトの活用

満足度

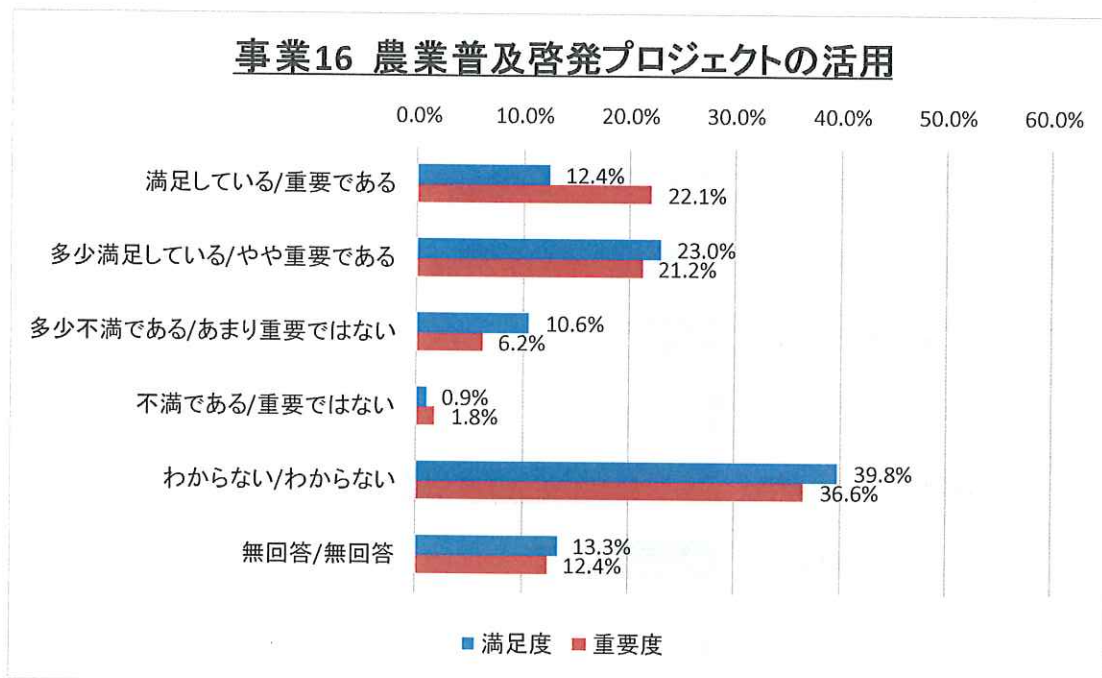
項目	件数	割合
満足している	14	12.4%
多少満足している	26	23.0%
多少不満である	12	10.6%
不満である	1	0.9%
わからない	45	39.8%
無回答	15	13.3%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	25	22.1%
やや重要である	24	21.2%
あまり重要でない	7	6.2%
重要でない	2	1.8%
わからない	41	36.3%
無回答	14	12.4%

N=113



事業 17 めぐみちゃんマーケットの開催

満足度

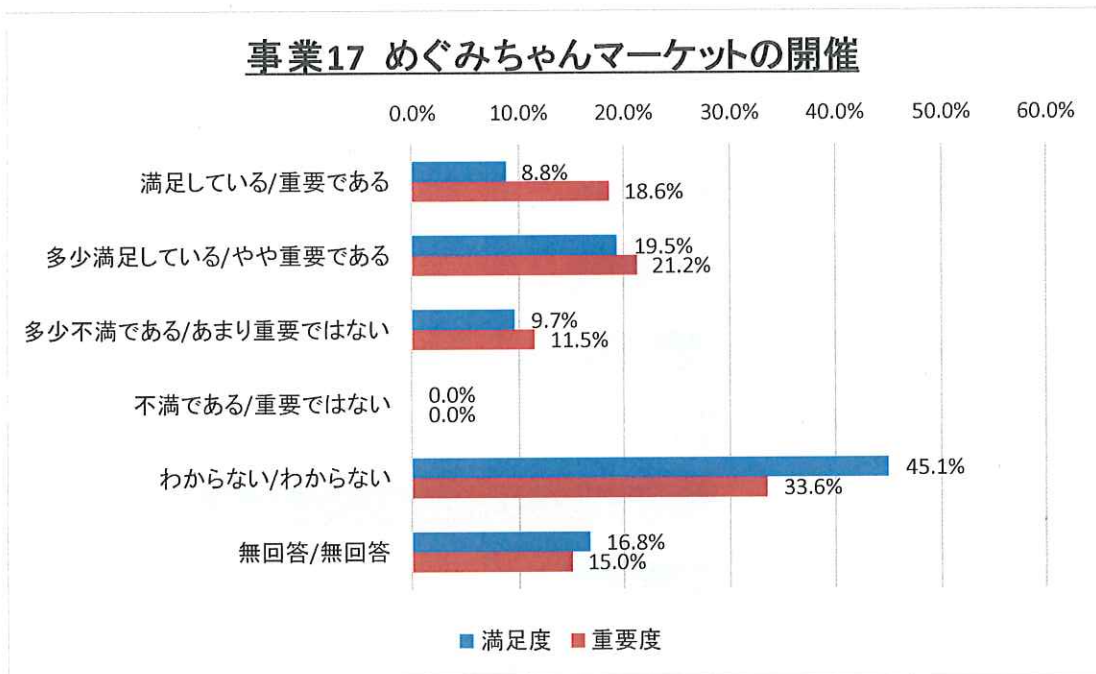
項目	件数	割合
満足している	10	8.8%
多少満足している	22	19.5%
多少不満である	11	9.7%
不満である		0.0%
わからない	51	45.1%
無回答	19	16.8%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	21	18.6%
やや重要である	24	21.2%
あまり重要でない	13	11.5%
重要でない		0.0%
わからない	38	33.6%
無回答	17	15.0%

N=113



事業 18 東大生態調和農学との連携

満足度

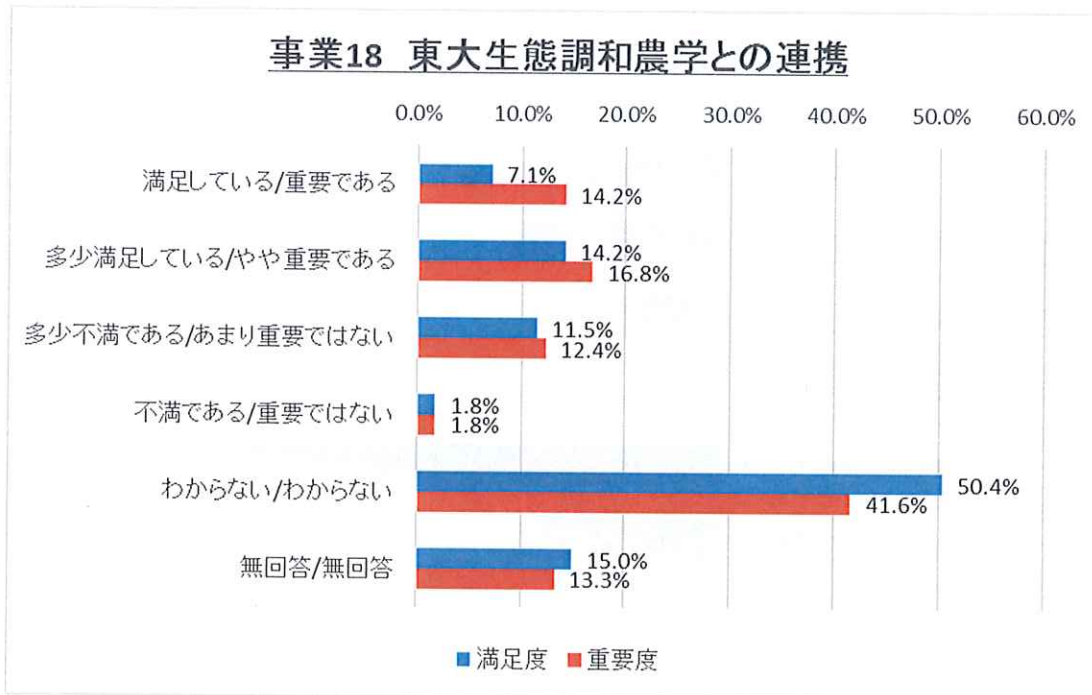
項目	件数	割合
満足している	8	7.1%
多少満足している	16	14.2%
多少不満である	13	11.5%
不満である	2	1.8%
わからない	57	50.4%
無回答	17	15.0%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	16	14.2%
やや重要である	19	16.8%
あまり重要でない	14	12.4%
重要でない	2	1.8%
わからない	47	41.6%
無回答	15	13.3%

N=113



事業 19 市民農園の新しい展開

満足度

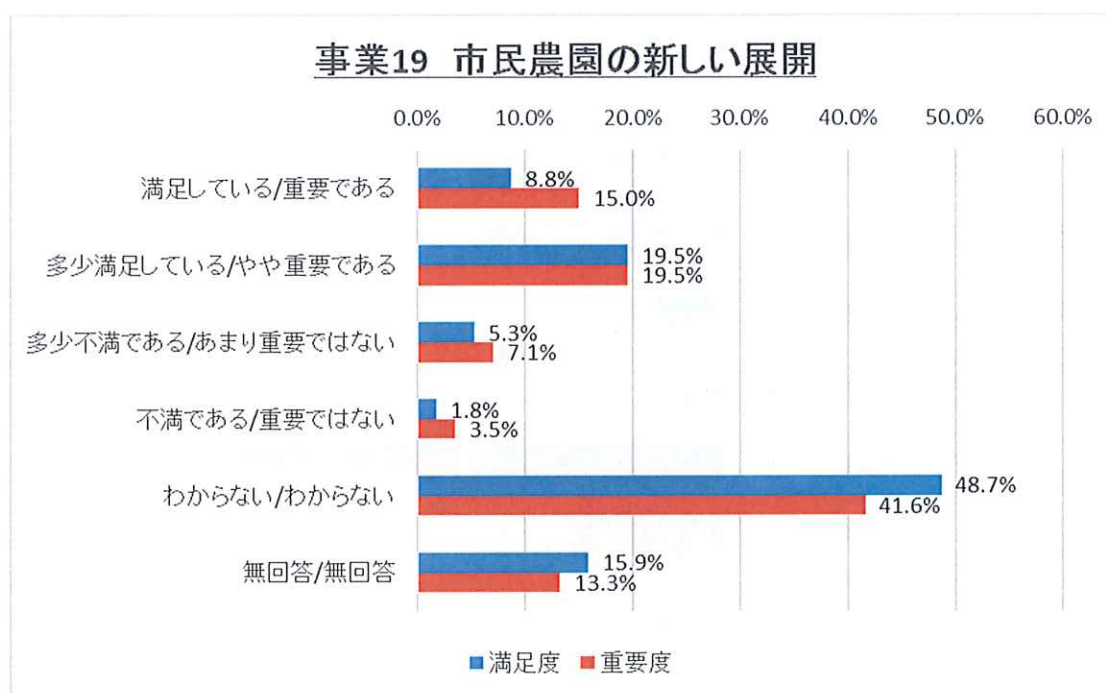
項目	件数	割合
満足している	10	8.8%
多少満足している	22	19.5%
多少不満である	6	5.3%
不満である	2	1.8%
わからない	55	48.7%
無回答	18	15.9%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	17	15.0%
やや重要である	22	19.5%
あまり重要でない	8	7.1%
重要でない	4	3.5%
わからない	47	41.6%
無回答	15	13.3%

N=113



事業 20 農業体験農園の推進

満足度

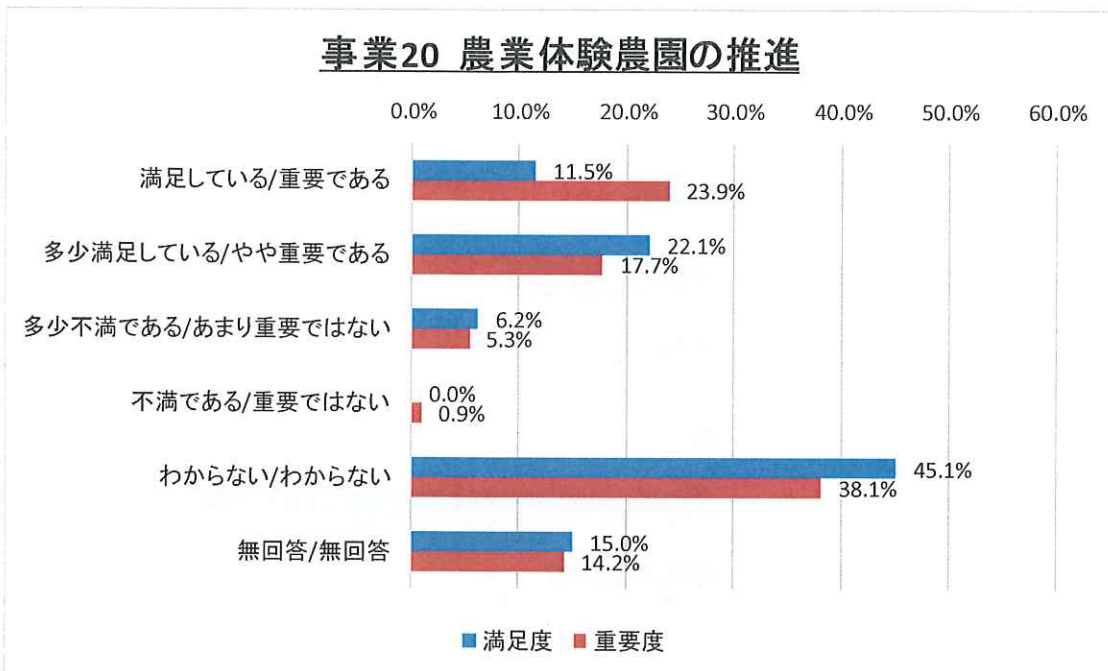
項目	件数	割合
満足している	13	11.5%
多少満足している	25	22.1%
多少不満である	7	6.2%
不満である	0	0.0%
わからない	51	45.1%
無回答	17	15.0%

N=113

重要度

項目	件数	割合
重要である	27	23.9%
やや重要である	20	17.7%
あまり重要でない	6	5.3%
重要でない	1	0.9%
わからない	43	38.1%
無回答	16	14.2%

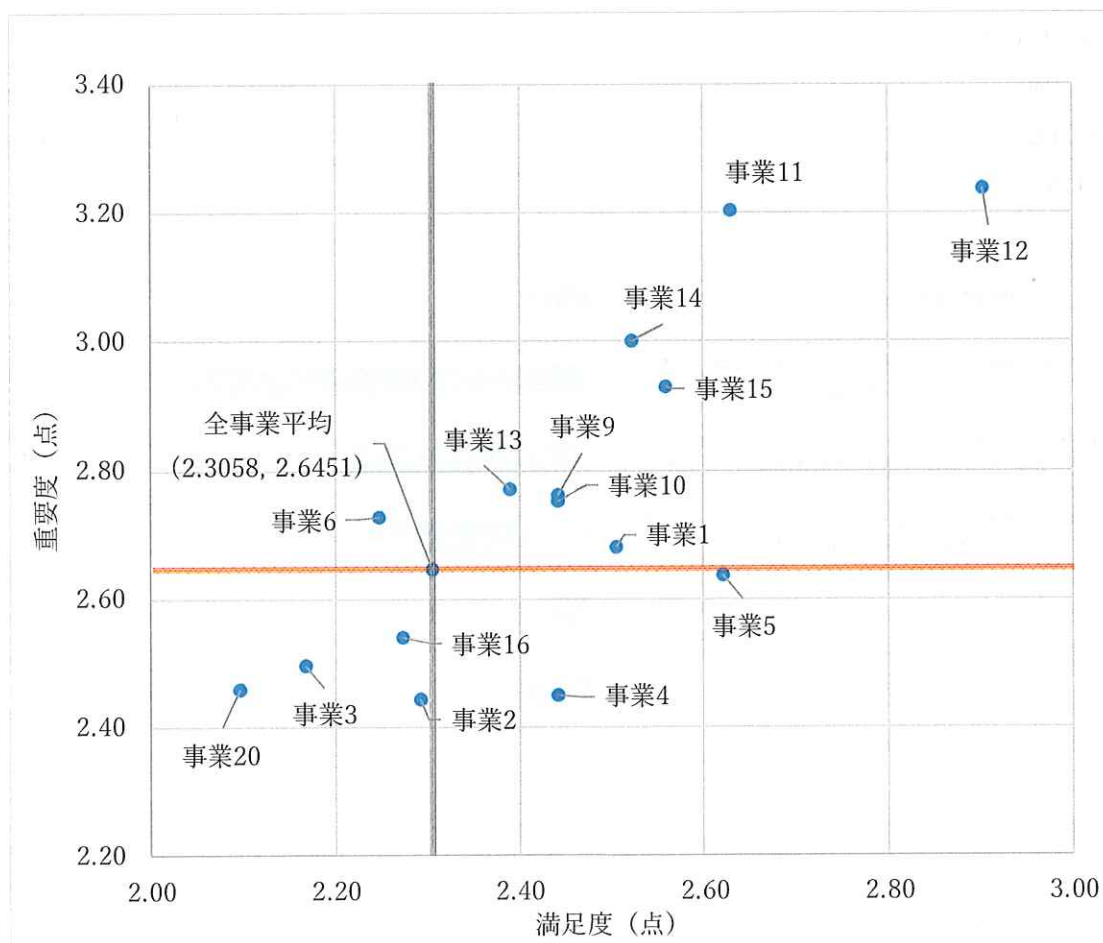
N=113



事業ごとの平均点(満足度, 重要度)

事業名	満足度	重要度
事業1 直売所の利用の促進	2.50	2.68
事業2 めぐみちゃんメニューの推進	2.29	2.44
事業3 学校給食との連携	2.17	2.50
事業4 めぐみちゃんブランドの普及啓発	2.44	2.45
事業5 地域や商店街との連携	2.62	2.64
事業6 地元と連携した後継者育成、若い担い手の育成検討	2.25	2.73
事業7 女性農業者の育成の検討	1.98	2.58
事業8 農業者と援農ボランティアのマッチング機会・スキルアップ	1.93	2.35
事業9 認定農業者への支援の拡充の検討	2.44	2.76
事業10 営農支援事業の適正運営	2.44	2.75

事業名	満足度	重要度
事業11 生産緑地地区への意見の具申	2.63	3.20
事業12 農地の適正な肥培管理	2.90	3.24
事業13 市内農業関係施設の活用推進	2.39	2.77
事業14 災害協力農地の拡大	2.52	3.00
事業15 イベント等の実施	2.56	2.93
事業16 農業普及啓発プロジェクトの活用	2.27	2.54
事業17 めぐみちゃんマーケットの開催	1.96	2.46
事業18 東大生態調和農学との連携	1.81	2.20
事業19 市民農園の新しい展開	1.90	2.23
事業20 農業体験農園の推進	2.10	2.46
平均	2.3058	2.6451



4 農業者への支援策についてお伺いします。

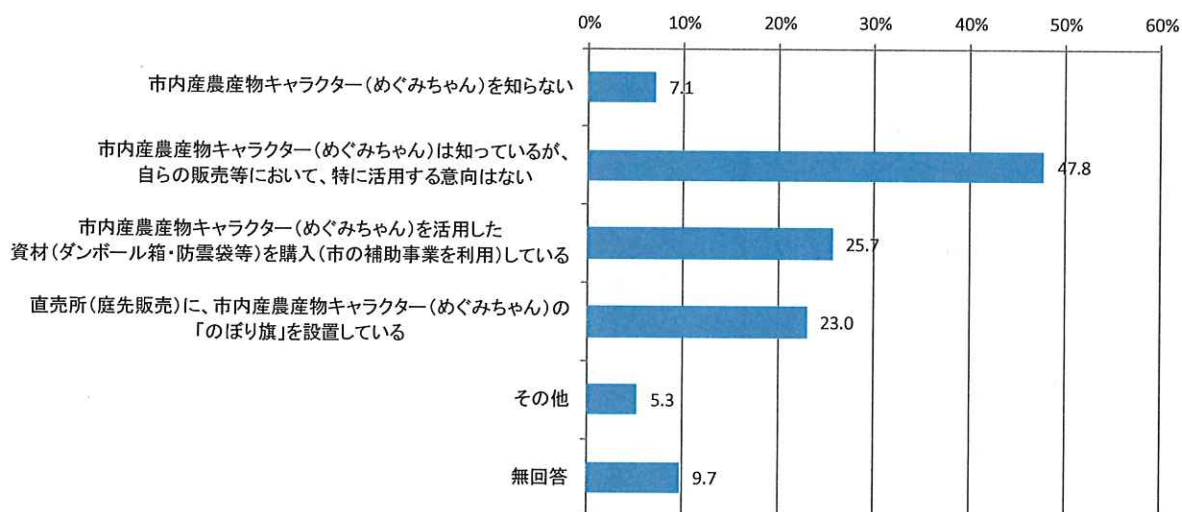
問 13 市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)の活用について教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

○市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)の活用について、「市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)は知っているが、自らの販売等において、特に活用する意向はない」との回答割合が最も多く(47.8%)、次いで、「市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)を活用した資材(ダンボール箱・防曇袋等)を購入(市の補助事業を利用)している」(25.7%)、「直売所(庭先販売)に、市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)の「のぼり旗」を設置している」(23.0%)、「市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)を知らない」(7.1%)の順となっている。

項目	件数	割合
市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)を知らない	8	7.1%
市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)は知っているが、自らの販売等において、特に活用する意向はない	54	47.8%
市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)を活用した資材(ダンボール箱・防曇袋等)を購入(市の補助事業を利用)している	29	25.7%
直売所(庭先販売)に、市内産農産物キャラクター(めぐみちゃん)の「のぼり旗」を設置している	26	23.0%
その他	6	5.3%
無回答	11	9.7%

N=113

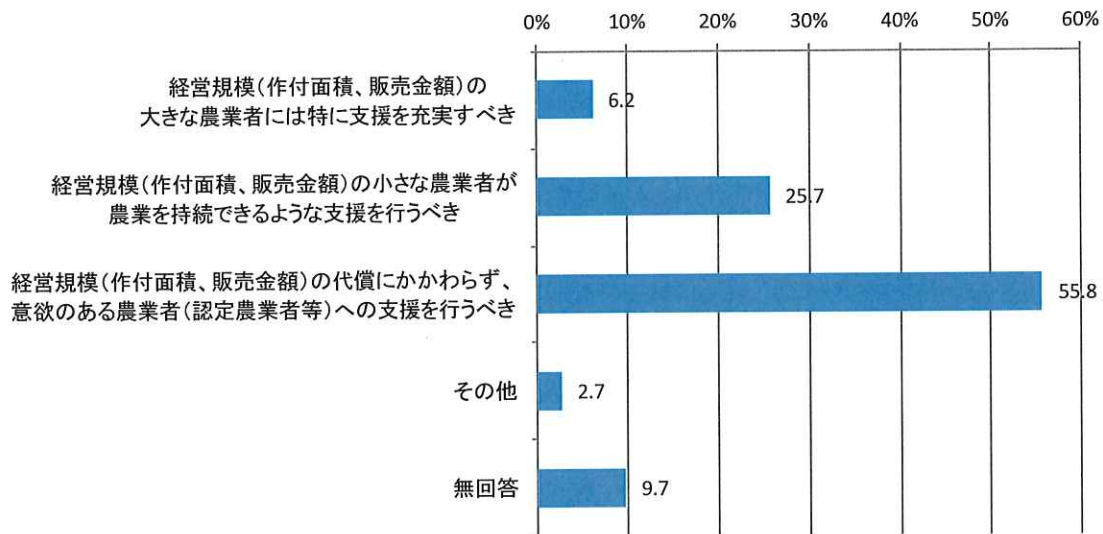


問 14 農業者への支援の対象についてあなたのお考えを教えてください。(1つに○)

○農業者の支援対象として、「経営規模(作付面積、販売金額)の大小にかかわらず、意欲のある農業者(認定農業者等)への支援を行うべき」が最も多く(55.8%)、次いで、「小さな農業者が農業を持続できるような支援を行うべき」(25.7%)、「経営規模(作付面積、販売金額)の大きな農業者には特に支援を充実すべき」(6.2%)の順となっている。

項目	件数	割合
経営規模(作付面積、販売金額)の大きな農業者には特に支援を充実すべき	7	6.2%
小さな農業者が農業を持続できるような支援を行うべき	29	25.7%
経営規模(作付面積、販売金額)の大小にかかわらず、意欲のある農業者(認定農業者等)への支援を行うべき	63	55.8%
その他	3	2.7%
無回答	11	9.7%

N=113

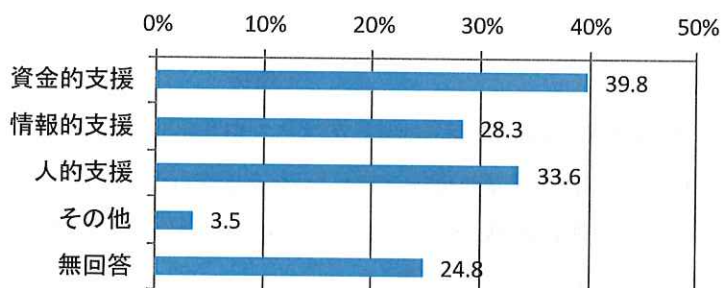


問 15 今後、農業者に係る支援について、どのような内容が重要か、お考えを教えてください。

(特に重要と考えるもの2つまでに○)

○農業者に係る支援として、「資金的支援」が最も多く(39.8%)、次いで、「人的支援」(33.6%)、「情報
的支援」(28.3%)の順となっている。

項目	件数	割合
資金的支援	45	39.8%
情報的支援	32	28.3%
人的支援	38	33.6%
その他	4	3.5%
無回答	28	24.8%



N=113

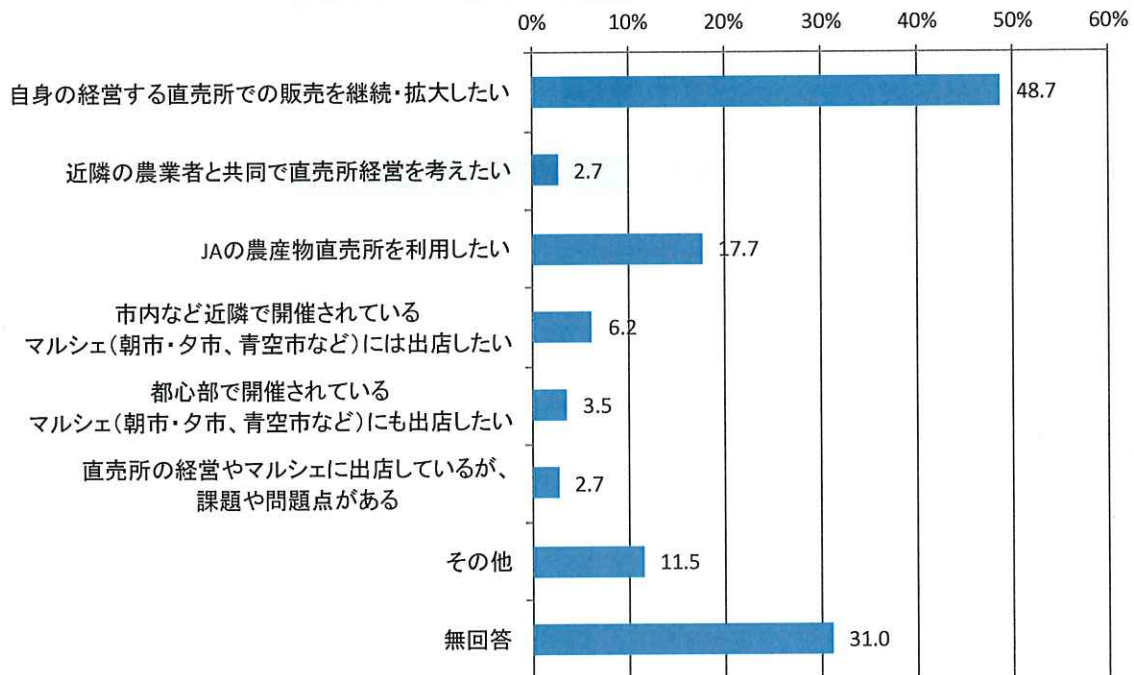
5 農産物の販売(庭先販売、マルシェ出店等)についてお伺いします。

問 16 今後の直売所(庭先販売等)やマルシェ(朝市・青空市など)への出店等についてのお考えを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○今後の直売所(庭先販売等)やマルシェ(朝市・青空市など)への出店等について、「自身の経営する直売所での販売を継続・拡大したい」が最も多く(48.7%)、次いで、「JAの農産物直売所を利用したい」(17.7%)となっている。

項目	件数	割合
自身の経営する直売所での販売を継続・拡大したい	55	48.7%
近隣の農業者と共同で直売所経営を考えたい	3	2.7%
JAの農産物直売所を利用したい	20	17.7%
市内など近隣で開催されているマルシェ(朝市・夕市、青空市など)には出店したい	7	6.2%
都心部で開催されているマルシェ(朝市・夕市、青空市など)にも出店したい	4	3.5%
直売所の経営やマルシェに出店しているが、課題や問題点がある	3	2.7%
その他	13	11.5%
無回答	35	31.0%

N=113



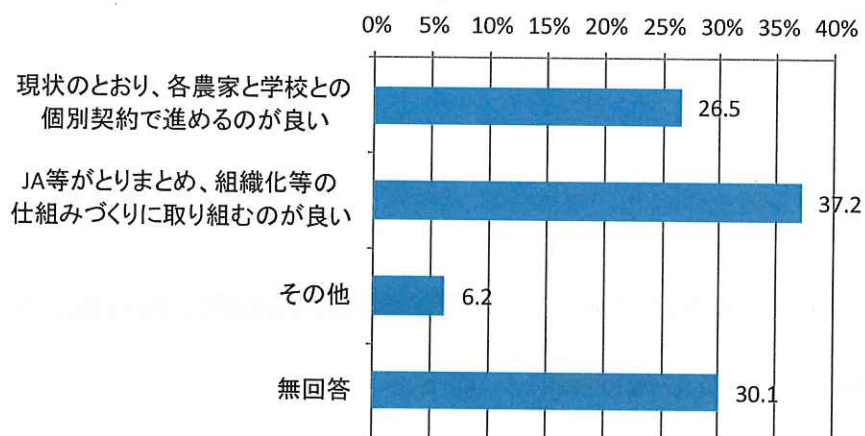
6 学校給食についてお伺いします。

問 17 学校給食での地元農産物利用についてのお考えを教えてください。(1つに○)

○学校給食での地元農産物利用については、「JA 等がとりまとめ、組織化等の仕組みづくりに取り組むのが良い」が最も多く(37.2%)、次いで、「現状のとおり、各農家と学校との個別契約で進めるのが良い」(26.5%)となっている。

項目	件数	割合
現状のとおり、各農家と学校との個別契約で進めるのが良い	30	26.5%
JA 等がとりまとめ、組織化等の仕組みづくりに取り組むのが良い	42	37.2%
その他	7	6.2%
無回答	34	30.1%

N=113



7 量販店や小売店への販売、契約販売等についてお伺いします。

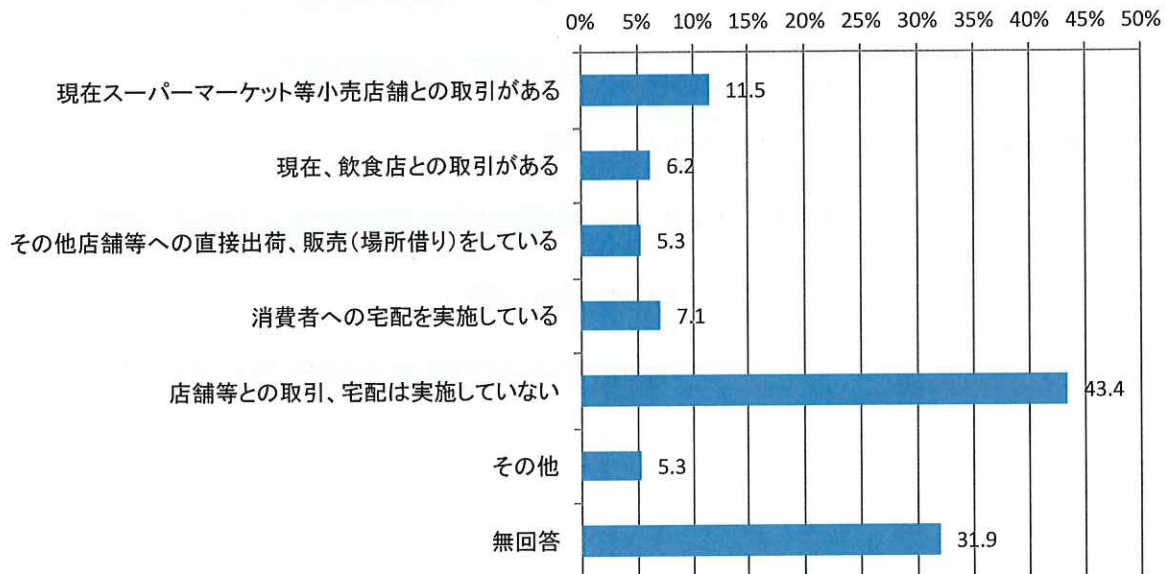
問 18 量販店や小売店への販売、契約販売等について状況を教えてください。

(あてはまるものすべてに○)

○量販店や小売店への販売、契約販売等について、「店舗等との取引、宅配は実施していない」が最も多く(43.4%)、次いで、「現在スーパーマーケット等小売店舗との取引がある」(11.5%)となっている。

項目	件数	割合
現在スーパーマーケット等小売店舗との取引がある	13	11.5%
現在、飲食店との取引がある	7	6.2%
その他店舗等への直接出荷、販売(場所借り)をしている	6	5.3%
消費者への宅配を実施している	8	7.1%
店舗等との取引、宅配は実施していない	49	43.4%
その他	6	5.3%
無回答	36	31.9%

N=113



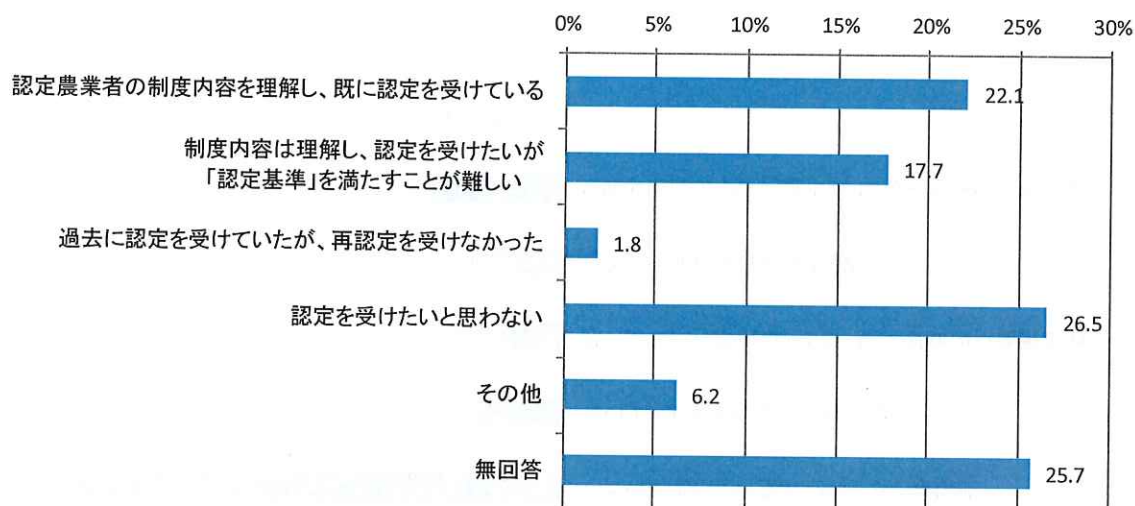
8 農業の担い手についてお伺いします。

問 19 認定農業者制度についてお伺いします。(1つに○)

○認定農業者制度について、「認定を受けたいと思わない」が最も多く(26.5%)、次いで、「認定農業者の制度内容を理解し、既に認定を受けている」(22.1%)、「制度内容は理解し、認定を受けたいが「認定基準」を満たすことが難しい」(17.7%)となっている。

項目	件数	割合
認定農業者の制度内容を理解し、既に認定を受けている	25	22.1%
制度内容は理解し、認定を受けたいが「認定基準」を満たすことが難しい	20	17.7%
過去に認定を受けていたが、再認定を受けなかった	2	1.8%
認定を受けたいと思わない	30	26.5%
その他	7	6.2%
無回答	29	25.7%

N=113

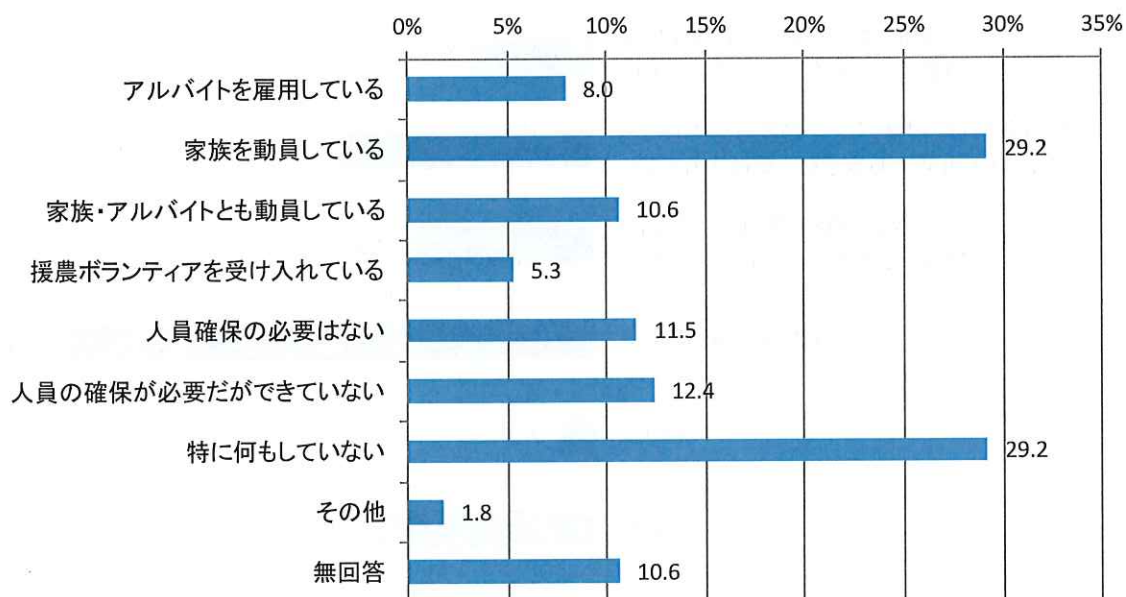


問 20 農作業の繁忙期等の人員確保について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○農作業の繁忙期等の人員確保について、「家族を動員している」「特に何もしていない」が並んで最も多い(29.2%)。次いで、「人員の確保が必要だができていない」(12.4%)、「人員確保の必要はない」(11.5%)、「家族・アルバイトとも動員している」(10.6%)、「アルバイトを雇用している」(8.0%)、「援農ボランティアを受け入れている」(5.3%)となっている。

項目	件数	割合
アルバイトを雇用している	9	8.0%
家族を動員している	33	29.2%
家族・アルバイトとも動員している	12	10.6%
援農ボランティアを受け入れている	6	5.3%
人員確保の必要はない	13	11.5%
人員の確保が必要だができていない	14	12.4%
特に何もしていない	33	29.2%
その他	2	1.8%
無回答	12	10.6%

N=113

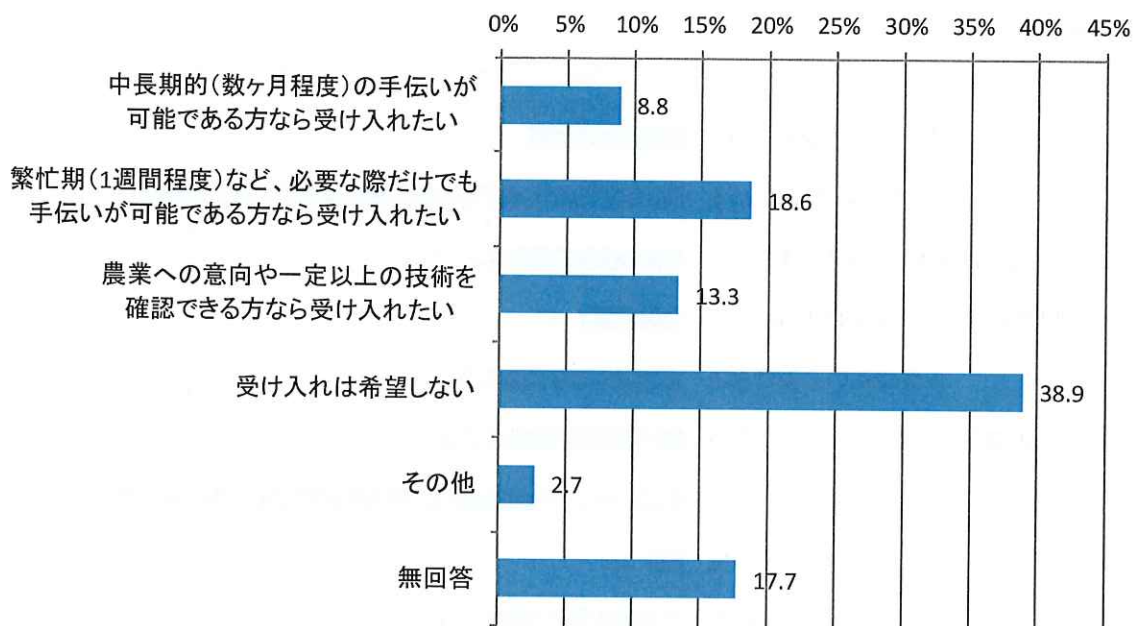


問 21 援農ボランティアとして、農作業の手伝いをしてくれる方を受け入れることについて、どのような人材であれば受け入れたいですか？お考えを教えてください。(1つに○)

○援農ボランティアとして、農作業の手伝いをしてくれる方を受け入れることについて、「受け入れは希望しない」が最も多く(38.9%)、次いで、「繁忙期(1週間程度)など、必要な際だけでも手伝いが可能である方なら受け入れたい」(18.6%)、「農業への意向や一定以上の技術を確認できる方なら受け入れたい」(13.3%)、「中長期的(数ヶ月程度)の手伝いが可能である方なら受け入れたい」(8.8%)となっている。

項目	件数	割合
中長期的(数ヶ月程度)の手伝いが可能である方なら受け入れたい	10	8.8%
繁忙期(1週間程度)など、必要な際だけでも手伝いが可能である方なら受け入れたい	21	18.6%
農業への意向や一定以上の技術を確認できる方なら受け入れたい	15	13.3%
受け入れは希望しない	44	38.9%
その他	3	2.7%
無回答	20	17.7%

N=113



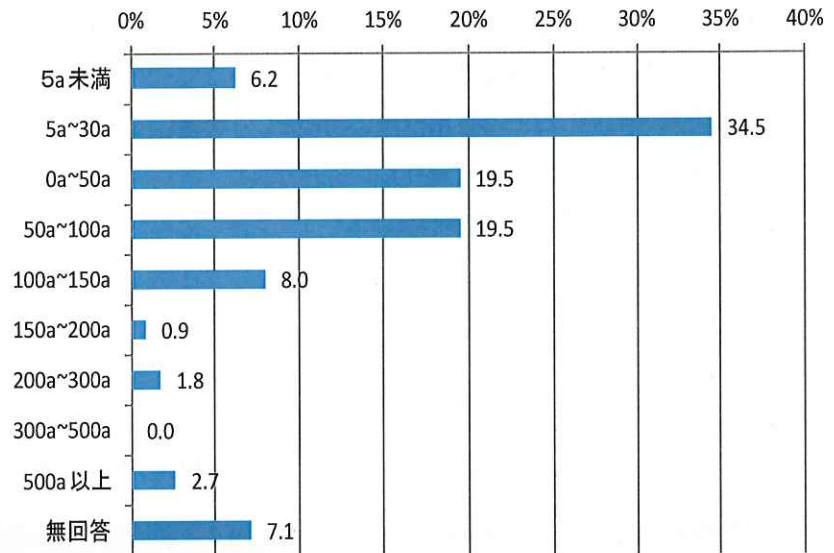
9 農地の状況についてお伺いします。

問 22 あなたが所有(市内・市外)及び貸借して営農する農地の合計面積を教えてください。

(1つに○)

○回答者が所有及び貸借して営農する農地の合計面積は、「5a～30a」が最も多く(34.5%)、次いで、「30a～50a」「50a～100a」が並んで 19.5%となっている。

項目	件数	割合
5a 未満	7	6.2%
5a～30a	39	34.5%
30a～50a	22	19.5%
50a～100a	22	19.5%
100a～150a	9	8.0%
150a～200a	1	0.9%
200a～300a	2	1.8%
300a～500a	0	0.0%
500a 以上	3	2.7%
無回答	8	7.1%



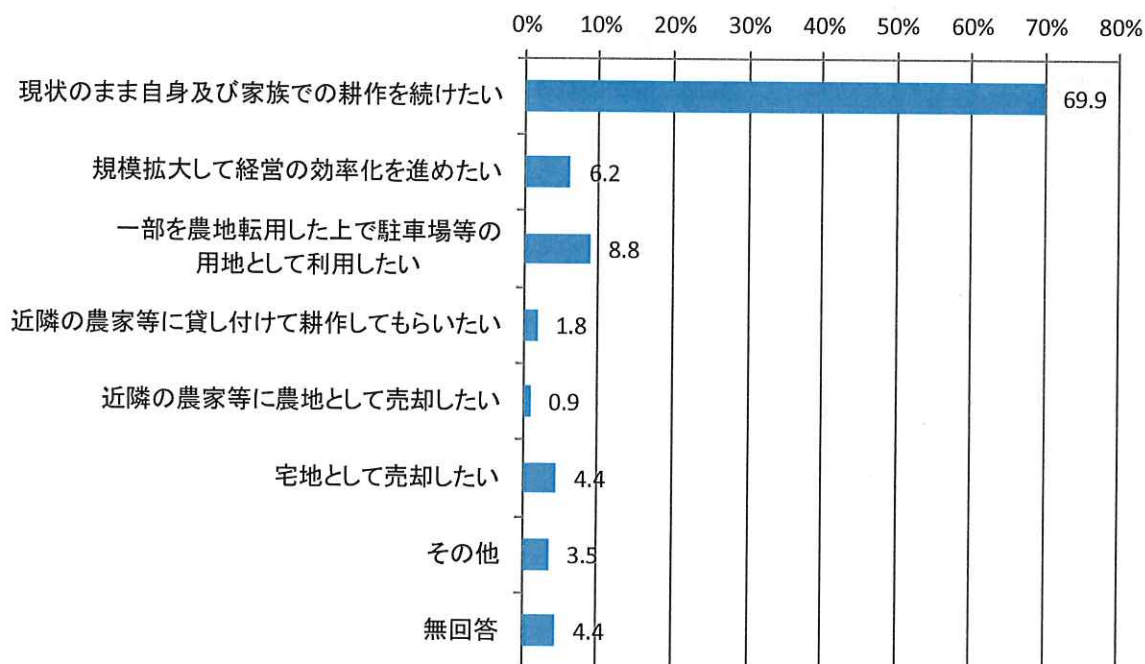
N=113

問 23 今後の農地利用の意向を教えてください。(1つに○)

○今後の農地利用の意向について、「現状のまま自身及び家族での耕作を続けたい」が圧倒的に多く(69.9%)、次いで、「一部を農地転用した上で駐車場等の用地として利用したい」(8.8%)、「規模拡大して経営の効率化を進めたい」(6.2%)、「宅地として売却したい」(4.4%)となっている。

項目	件数	割合
現状のまま自身及び家族での耕作を続けたい	79	69.9%
規模拡大して経営の効率化を進めたい	7	6.2%
一部を農地転用した上で駐車場等の用地として利用したい	10	8.8%
近隣の農家等に貸し付けて耕作してもらいたい	2	1.8%
近隣の農家等に農地として売却したい	1	0.9%
宅地として売却したい	5	4.4%
その他	4	3.5%
無回答	5	4.4%

N=113

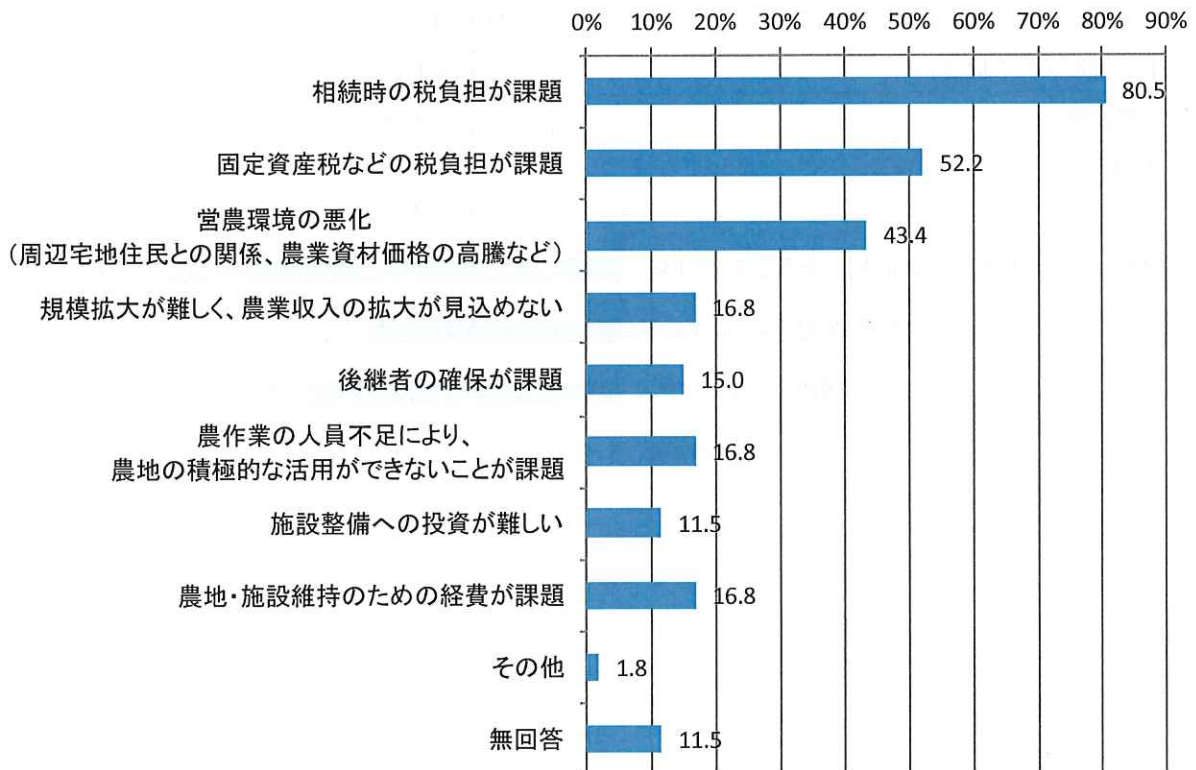


問 24 あなたの農地保全・活用の課題について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○回答者の農地保全・活用の課題について、「相続時の税負担が課題」が最も多く(91件)、次いで、「固定資産税などの税負担が課題」(52.2%)、「営農環境の悪化(周辺宅地住民との関係、農業資材価格の高騰など)」(43.4%)となっている。

項目	件数	割合
相続時の税負担が課題	91	80.5%
固定資産税などの税負担が課題	59	52.2%
営農環境の悪化(周辺宅地住民との関係、農業資材価格の高騰など)	49	43.4%
規模拡大が難しく、農業収入の拡大が見込めない	19	16.8%
農作業の人員不足により、農地の積極的な活用ができないことが課題	19	16.8%
農地・施設維持のための経費が課題	19	16.8%
後継者の確保が課題	17	15.0%
施設整備への投資が難しい	13	11.5%
その他	2	1.8%
無回答	13	11.5%

N=113



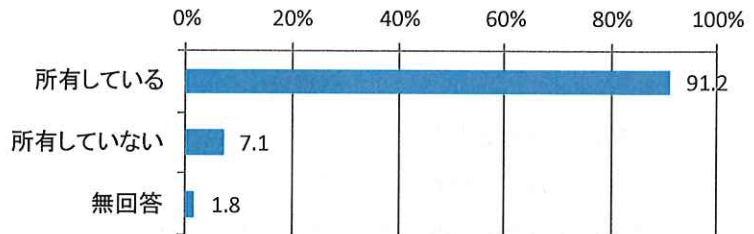
10 生産緑地についてお伺いします。

問 25 生産緑地の所有の有無について教えてください。(1つに○)

○生産緑地の所有率は 91.2%となっている。

項目	件数	割合
所有している	103	91.2%
所有していない	8	7.1%
無回答	2	1.8%

N=113

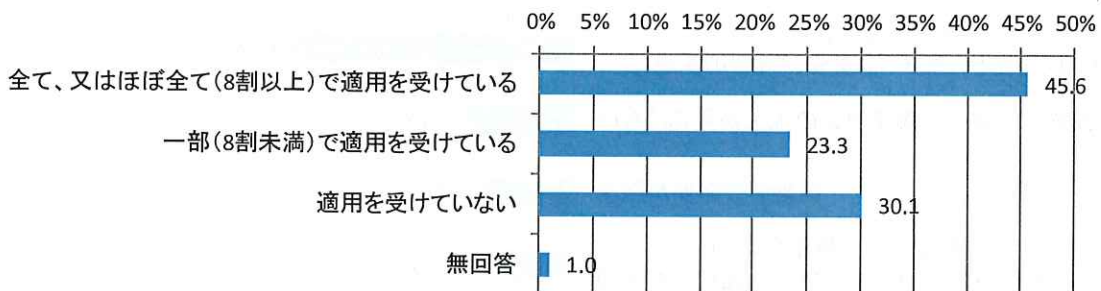


問 25-1 相続税納税猶予の適用を受けていますか。(1つに○)

○相続税納税猶予の適用については、「全て、又はほぼ全て(8割以上)で適用を受けている」が最も多く(45.6%)、次いで、「適用を受けていない」(30.1%)、「一部(8割未満)で適用を受けている」(23.3%)となっている。

項目	件数	割合
全て、又はほぼ全て(8割以上)で適用を受けている	47	45.6%
一部(8割未満)で適用を受けている	24	23.3%
適用を受けていない	31	30.1%
無回答	1	1.0%

N=113

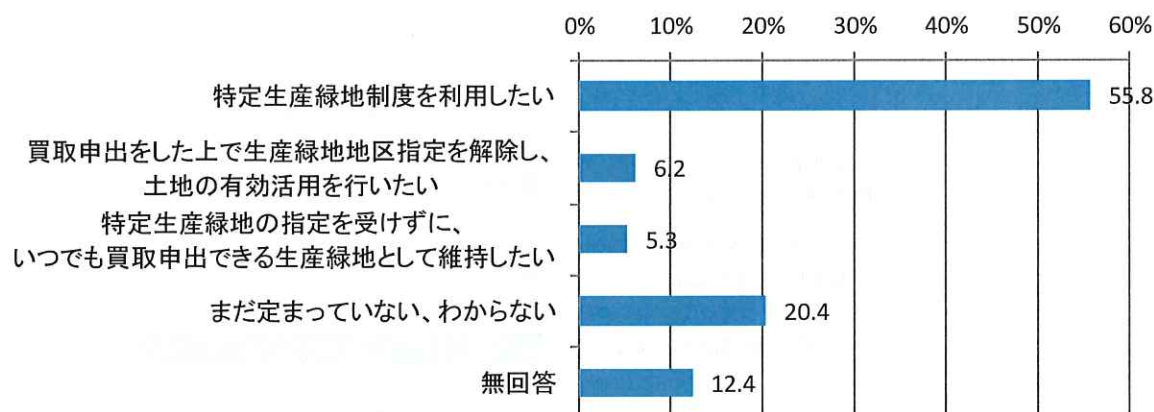


問 26 2022 年度以降、多くの生産緑地地区で買取申出要件である指定後 30 年を経過しますが、
あなたの所有する生産緑地の利用意向について教えてください。(1つに○)

○回答者の所有する生産緑地の利用意向について、「特定生産緑地制度を利用したい」が最も多く
(55.8%)、次いで、「まだ定まっていない、わからない」(20.4%)、「買取申出をした上で生産緑地地区
指定を解除し、土地の有効活用を行いたい」(6.2%)、「特定生産緑地の指定を受けずに、いつ
でも買取申出できる生産緑地として維持したい」(5.3%)となっている。

項目	件数	割合
特定生産緑地制度を利用したい	63	55.8%
買取申出をした上で生産緑地地区指定を解除し、土地の有効活用を行いたい	7	6.2%
特定生産緑地の指定を受けずに、いつでも買取申出できる生産緑地として維持したい	6	5.3%
まだ定まっていない、わからない	23	20.4%
無回答	14	12.4%

N=113

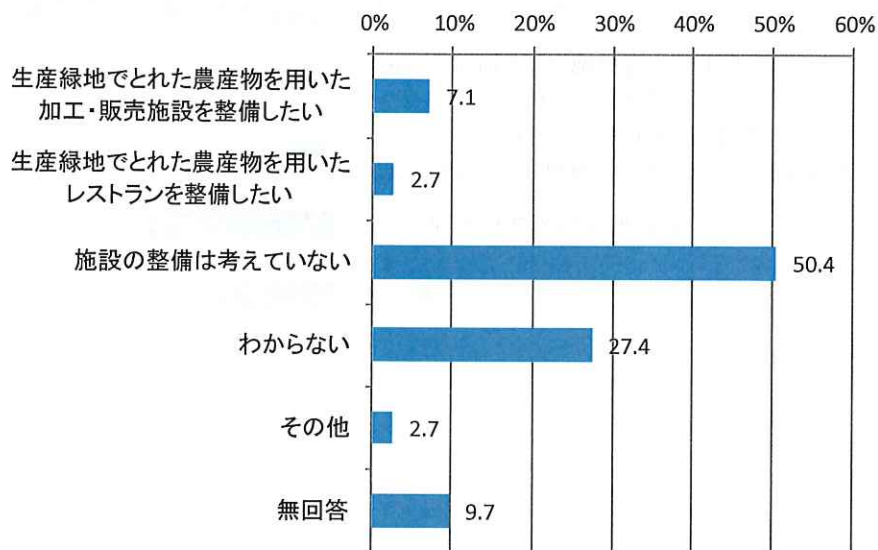


問 27 生産緑地法の改正により、生産緑地地区内に農産物直売所や農家レストラン等の設置ができるようになりました。これらについて、どのようにお考えですか。(1つに○)

○生産緑地法の改正に伴う、生産緑地地区内の利活用については、「施設の整備は考えていない」が最も多く(50.4%)、次いで、「わからない」(27.4%)、「生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい」(7.1%)、「生産緑地でとれた農産物を用いたレストランを整備したい」(2.7%)となっている。

項目	件数	割合
生産緑地でとれた農産物を用いた加工・販売施設を整備したい	8	7.1%
生産緑地でとれた農産物を用いたレストランを整備したい	3	2.7%
施設の整備は考えていない	57	50.4%
わからない	31	27.4%
その他	3	2.7%
無回答	11	9.7%

N=113



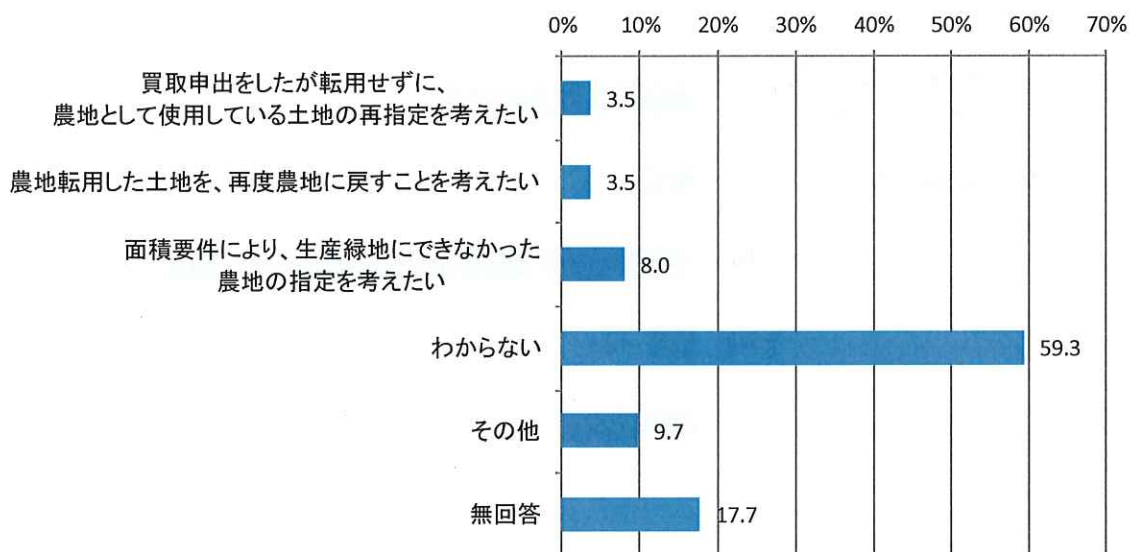
問 28 宅地化農地等を生産緑地に指定することについて、お考えをお聞かせください。

(あてはまるものすべてに○)

○宅地化農地等を生産緑地に指定することについて、「わからない」との回答が最も多く(59.3%)、「面積要件により、生産緑地にできなかった農地の指定を考えたい」(8.0%)、「買取申出をしたが転用せずに、農地として使用している土地の再指定を考えたい」(3.5%)「農地転用した土地を、再度農地に戻すことを考えたい」(3.5%)となっている。

項目	件数	割合
買取申出をしたが転用せずに、農地として使用している土地の再指定を考えたい	4	3.5%
農地転用した土地を、再度農地に戻すことを考えたい	4	3.5%
面積要件により、生産緑地にできなかった農地の指定を考えたい	9	8.0%
わからない	67	59.3%
その他	11	9.7%
無回答	20	17.7%

N=113

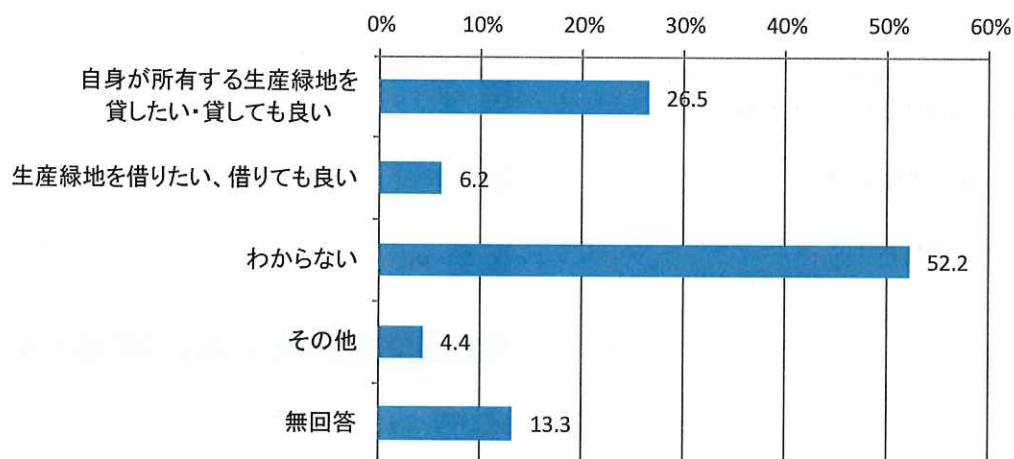


問 29 都市農地に関する制度の改正により、相続税納税猶予制度適用農地でも貸借が可能になり、貸借中に生産緑地の相続が発生した場合も相続税納税猶予制度の適用を受けることができることとなります。これを受けて、生産緑地の貸借について、あなたのお考えをお聞かせください。
(あてはまるものすべてに○)

○生産緑地の貸借について、「わからない」が最も多く(52.2%)、「自身が所有する生産緑地を貸したい・貸しても良い」(26.5%)、「生産緑地を借りたい、借りても良い」(6.2%)となっている。

項目	件数	割合
自身が所有する生産緑地を貸したい・貸しても良い	30	26.5%
生産緑地を借りたい、借りても良い	7	6.2%
わからない	59	52.2%
その他	5	4.4%
無回答	15	13.3%

N=113



【前問で(1)と回答した方のみ】

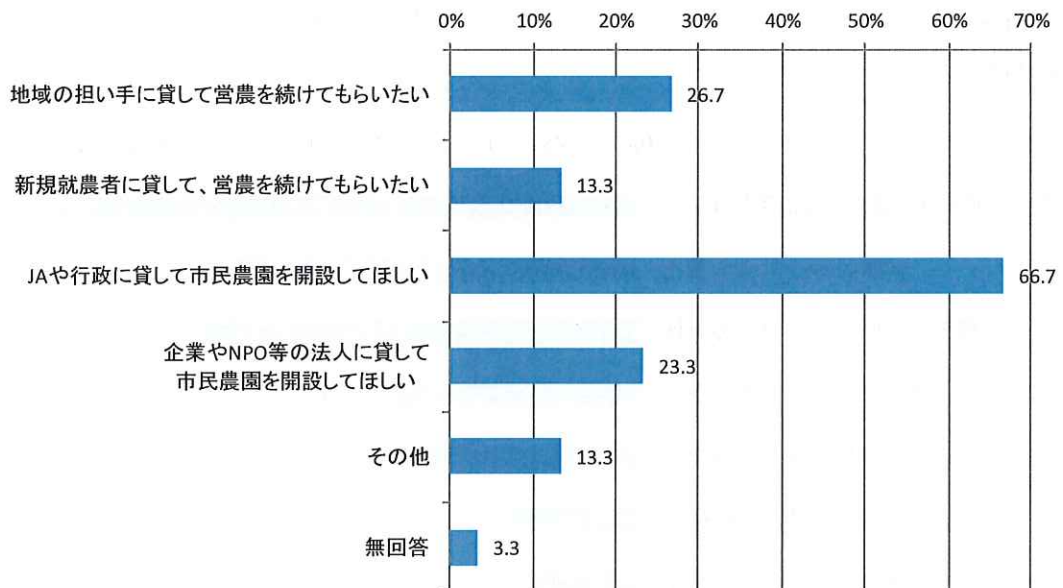
貸したい、貸しても良いとお考えの場合には、どのような活用を望みますか。

(あてはまるものすべてに○)

○回答者が所有する生産緑地を貸借した際に希望する活用方法について、「JA や行政に貸して市民農園を開設してほしい」が最も多く(66.7%)、「地域の担い手に貸して営農を続けてもらいたい」(26.7%)、「企業やNPO等の法人に貸して市民農園を開設してほしい」(23.3%)、「新規就農者に貸して、営農を続けてもらいたい」(13.3%)となっている。

項目	件数	割合
地域の担い手に貸して営農を続けてもらいたい	8	26.7%
新規就農者に貸して、営農を続けてもらいたい	4	13.3%
JA や行政に貸して市民農園を開設してほしい	20	66.7%
企業やNPO等の法人に貸して市民農園を開設してほしい	7	23.3%
その他	4	13.3%
無回答	1	3.3%

N=113



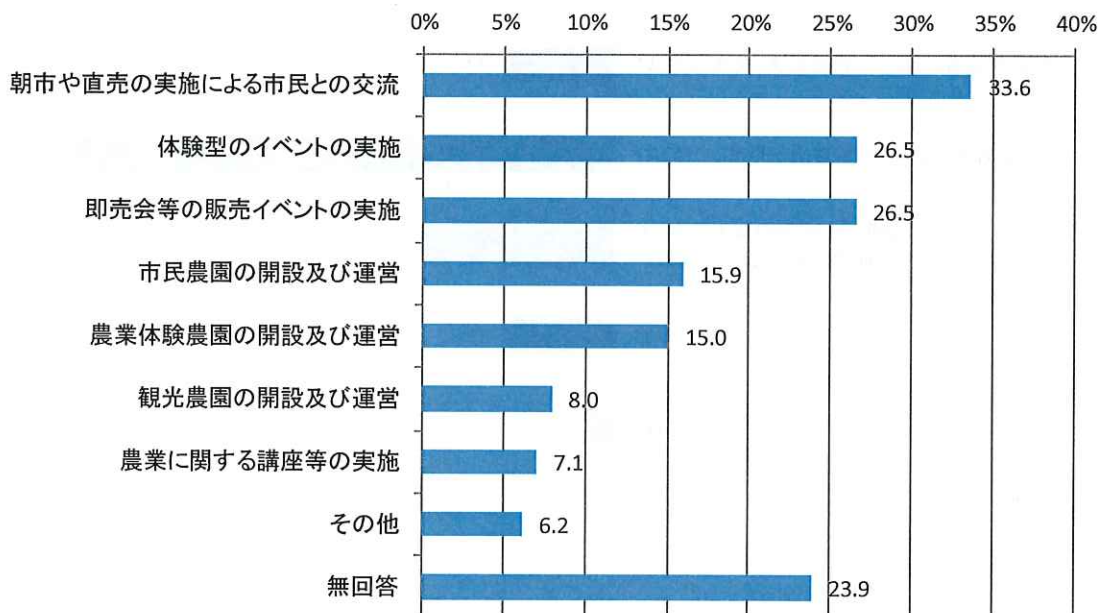
11 農業を通じた市民等との交流についてお伺いします。

問 30 今後、農業を通じた市民等との交流にあたっては、どのような取り組みが効果的か、お考えを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○市民等との交流にあたって、効果的な取組としては、「朝市や直売の実施による市民との交流」が最も多く(33.6%)、次いで、「体験型のイベントの実施」と「即売会等の販売イベントの実施」が並んで26.5%、「市民農園の開設及び運営」(15.9%)、「農業体験農園の開設及び運営」(15.0%)となっている。

項目	件数	割合
朝市や直売の実施による市民との交流	38	33.6%
体験型のイベントの実施	30	26.5%
即売会等の販売イベントの実施	30	26.5%
市民農園の開設及び運営	18	15.9%
農業体験農園の開設及び運営	17	15.0%
観光農園の開設及び運営	9	8.0%
農業に関する講座等の実施	8	7.1%
その他	7	6.2%
無回答	27	23.9%

N=113

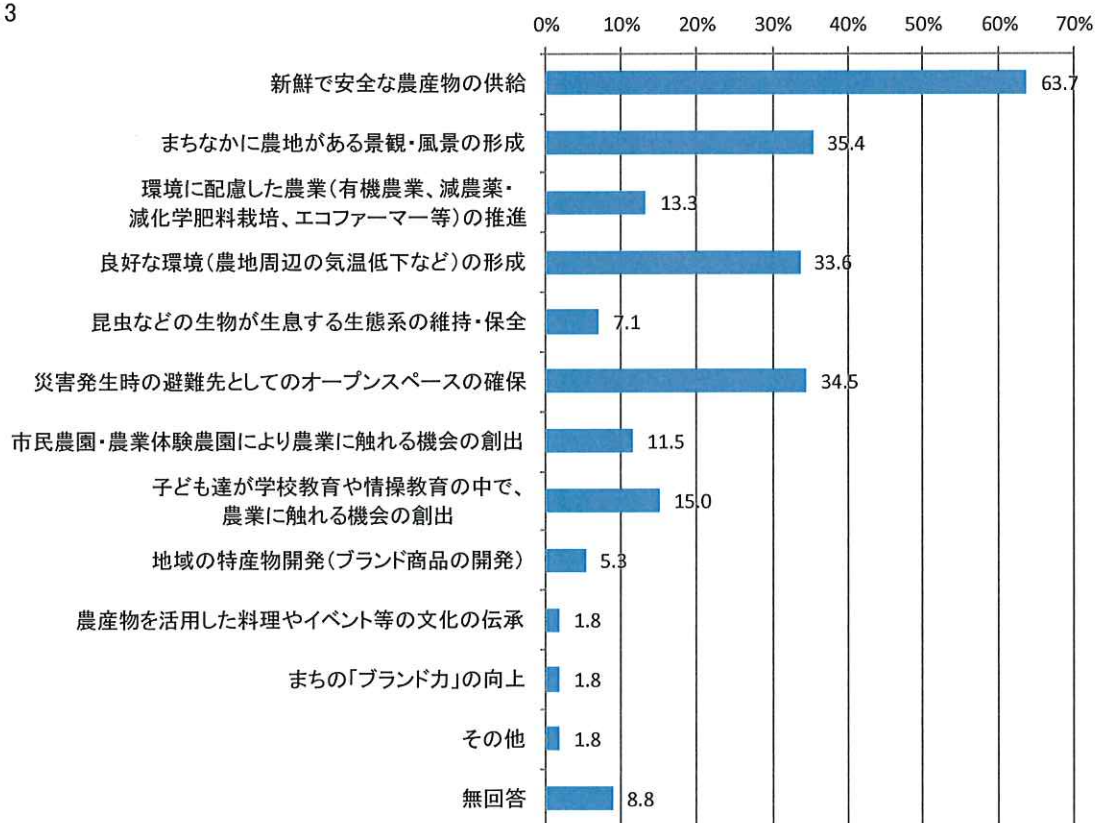


問 31 農業・農地には市民にとって食の安全安心の確保や防災など、暮らしを守る機能が期待されています。あなたが農業を営む上で、これからの農業や農地が持つ役割についてどのようなことが重要か、お考えを教えてください。(3つまで○)

○これからの農業や農地が持つ役割について、重要なこととしては、「新鮮で安全な農産物の供給」(63.7%)が最も多く、次いで、「まちなかに農地がある景観・風景の形成」(35.4%)、「災害発生時の避難先としてのオープンスペースの確保」(34.5%)、「良好な環境(農地周辺の気温低下など)の形成」(33.6%)となっている。

項目	件数	割合
新鮮で安全な農産物の供給	72	63.7%
まちなかに農地がある景観・風景の形成	40	35.4%
災害発生時の避難先としてのオープンスペースの確保	39	34.5%
良好な環境(農地周辺の気温低下など)の形成	38	33.6%
子ども達が学校教育や情操教育の中で、農業に触れる機会の創出	17	15.0%
環境に配慮した農業(有機農業、減農薬・減化学肥料栽培、エコファーマー等)の推進	15	13.3%
市民農園・農業体験農園により農業に触れる機会の創出	13	11.5%
昆虫などの生物が生息する生態系の維持・保全	8	7.1%
地域の特産物開発(ブランド商品の開発)	6	5.3%
農産物を活用した料理やイベント等の文化の伝承	2	1.8%
まちの「ブランド力」の向上	2	1.8%
その他	2	1.8%
無回答	10	8.8%

N=113



市民アンケート 結果速報値

現在までの回収済アンケートについての集計結果速報です。今後、追加回収分を加えて再集計・分析を行います。

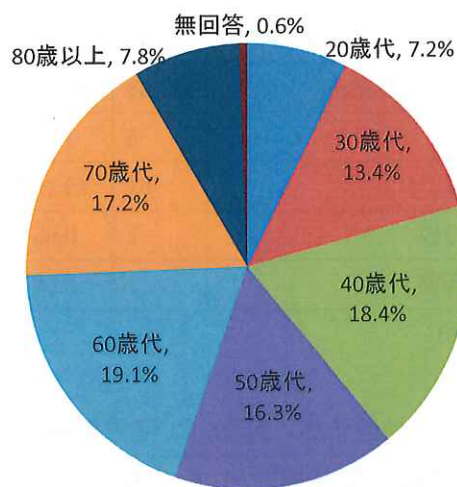
1 あなたとご家族のことについてお伺いします。

問1 あなたの年齢は、おいくつですか？（1つに○）

○回答者の年齢層は「60 歳代」（19.1%）が最も多く、次いで「40 歳代」（18.4%）、「70 歳代」（17.2%）、「50 歳代」（16.3%）と続く。

項目	件数	割合
20 歳代	23	7.2%
30 歳代	43	13.4%
40 歳代	59	18.4%
50 歳代	52	16.3%
60 歳代	61	19.1%
70 歳代	55	17.2%
80 歳以上	25	7.8%
無回答	2	0.6%

N=320

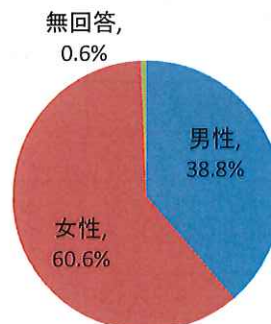


問2 あなたの性別をお答えください。（1つに○）

○回答者の性別は、「男性」が 38.8%、「女性」が 60.6%である。

項目	件数	割合
男性	124	38.8%
女性	194	60.6%
無回答	2	0.6%

N=320

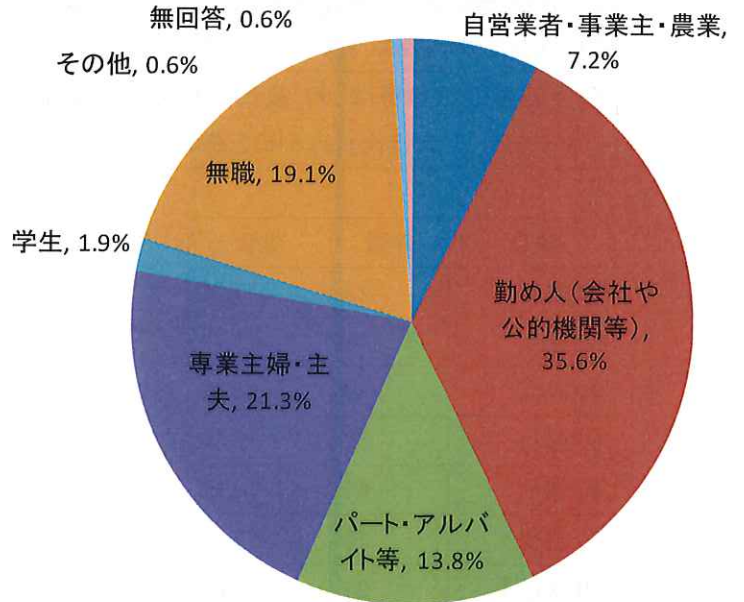


問3 あなたの職業は何ですか？（1つに○）

○回答者の職業としては、「勤め人(会社や公的機関等)」が最も多く(35.6%)、次いで「専業主婦・主夫」(21.3%)、「無職」(19.1%)、「パート・アルバイト等」(13.8%)と続く。

項目	件数	割合
自営業者・事業主・農業	23	7.2%
勤め人 (会社や公的機関等)	114	35.6%
パート・アルバイト等	44	13.8%
専業主婦・主夫	68	21.3%
学生	6	1.9%
無職	61	19.1%
その他	2	0.6%
無回答	2	0.6%

N=320

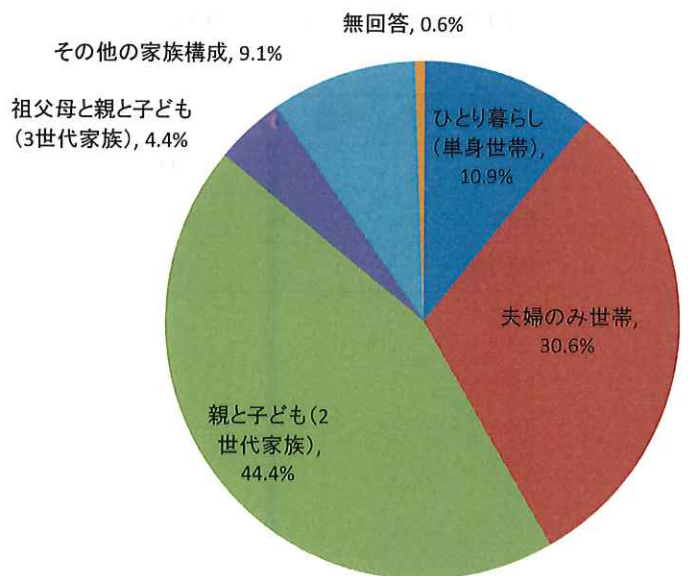


問4 あなたを含めて同居している家族構成はどれですか？（1つに○）

○回答者の家族構成として、「親と子ども(2世代家族)」が最も多く(44.4%)、次いで「夫婦のみ世帯」(30.6%)となっている。「ひとり暮らし(単身世帯)」の割合は10.9%、およそ1割となっている。

項目	件数	割合
ひとり暮らし(単身世帯)	35	10.9%
夫婦のみ世帯	98	30.6%
親と子ども(2世代家族)	142	44.4%
祖父母と親と子ども(3世代家族)	14	4.4%
その他の家族構成	29	9.1%
無回答	2	0.6%

N=320

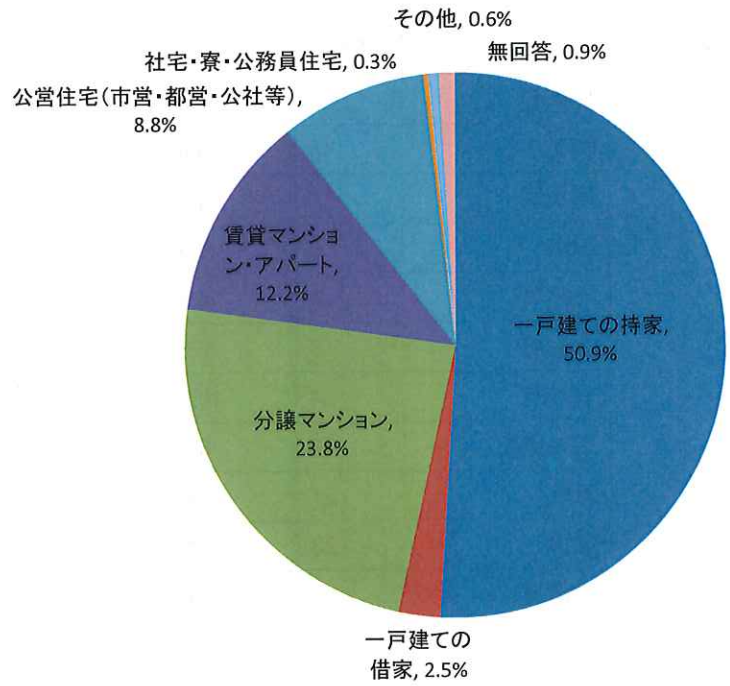


問5 あなたのお住まいの形態はどれですか？（1つに○）

○回答者のお住まいとして、「一戸建ての持ち家」(50.9%)が最も多く、次いで「分譲マンション」(23.8%)、「賃貸マンション・アパート」(12.2%)の順となっている。

項目	件数	割合
一戸建ての持ち家	163	50.9%
一戸建ての借家	8	2.5%
分譲マンション	76	23.8%
賃貸マンション・ アパート	39	12.2%
公営住宅(市営・都営・ 公社等)	28	8.8%
社宅・寮・公務員住宅	1	0.3%
その他	2	0.6%
無回答	3	0.9%

N=320



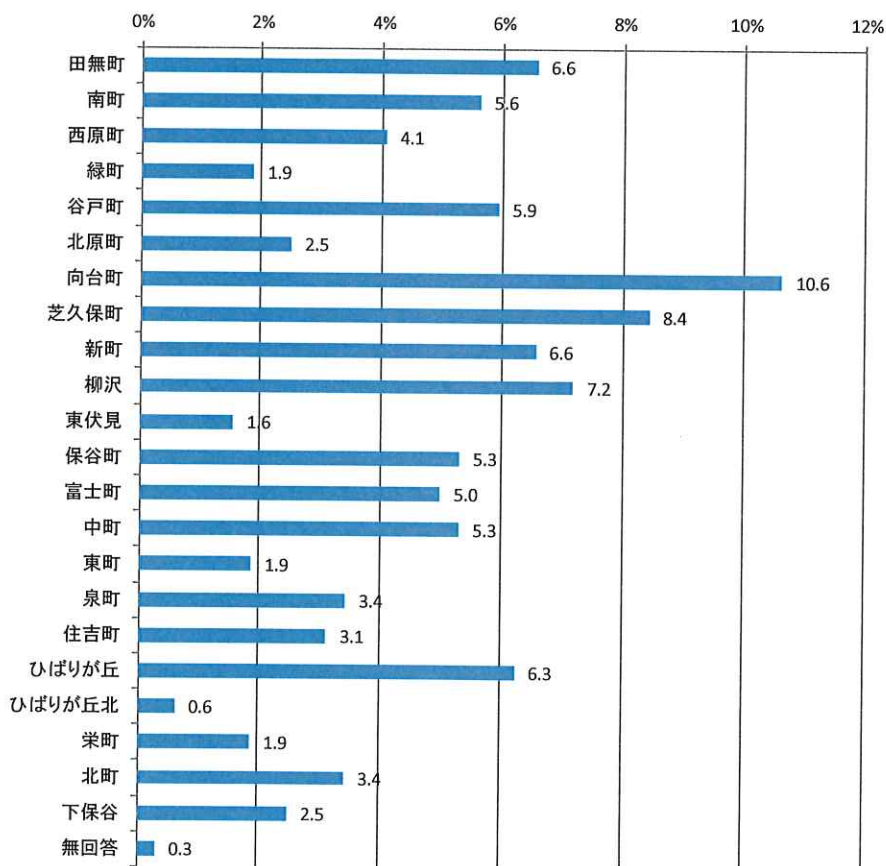
問6 あなたのお住まいはどちらですか？（1つに○）

○回答者のお住まいとしては、「向台町」(10.6%)が最も多く、次いで「芝久保町」(8.4%)、「柳沢」(7.2%)、「田無町」と「新町」(6.6%)、「ひばりが丘」(6.3%)の順となっている。

項目	件数	割合
田無町	21	6.6%
南町	18	5.6%
西原町	13	4.1%
緑町	6	1.9%
谷戸町	19	5.9%
北原町	8	2.5%
向台町	34	10.6%
芝久保町	27	8.4%
新町	21	6.6%
柳沢	23	7.2%
東伏見	5	1.6%

保谷町	17	5.3%
富士町	16	5.0%
中町	17	5.3%
東町	6	1.9%
泉町	11	3.4%
住吉町	10	3.1%
ひばりが丘	20	6.3%
ひばりが丘北	2	0.6%
栄町	6	1.9%
北町	11	3.4%
下保谷	8	2.5%
無回答	1	0.3%

N=320

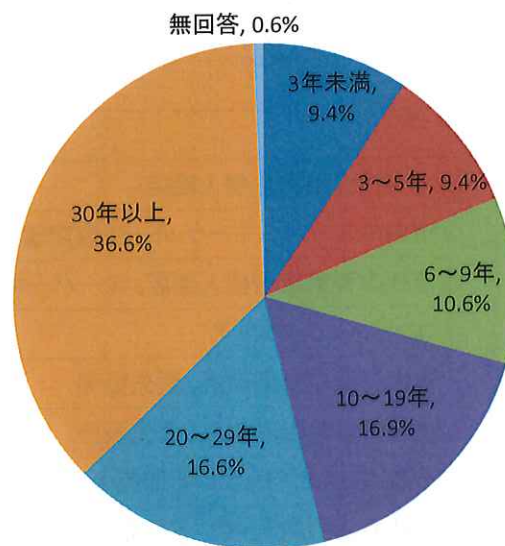


問7 西東京市にお住まいになってどれくらいですか？（1つに○）

○西東京市での居住年数として、「30年以上」(36.6%)が最も多く、次いで「10～19年」(16.9%)、「20～29年」(16.6%)の順となっている。

項目	件数	割合
3年未満	30	9.4%
3～5年	30	9.4%
6～9年	34	10.6%
10～19年	54	16.9%
20～29年	53	16.6%
30年以上	117	36.6%
無回答	2	0.6%

N=320



2 農畜産物の消費についてお伺いします。

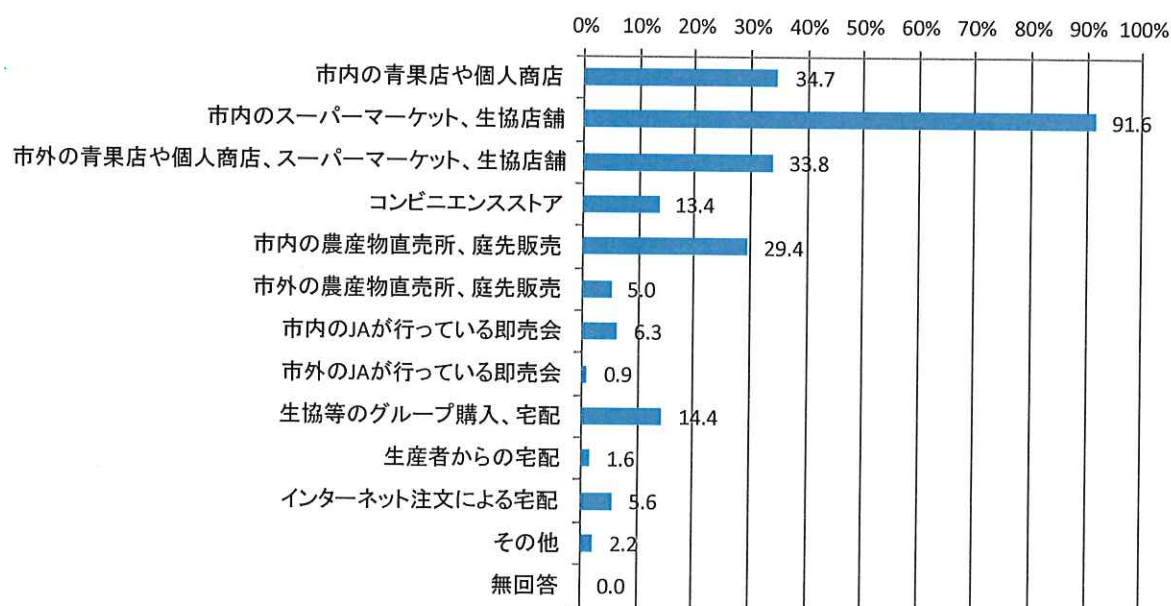
問8 日頃、農畜産物を主にどこで(どのように)買いますか？

(特に多い購入先を3つまで○)

○日頃、回答者の 91.6%が「市内のスーパーマーケット、生協店舗」で農畜産物を購入している。次いで、回答者の 34.7%が「市内の青果店や個人商店」、33.8%が「市外の青果店や個人商店、スーパーマーケット、生協店舗」、29.4%が「市内の農産物直売所、庭先販売」で購入している。

項目	件数	割合
市内の青果店や個人商店	111	34.7%
市内のスーパーマーケット、生協店舗	293	91.6%
市外の青果店や個人商店、スーパーマーケット、生協店舗	108	33.8%
コンビニエンスストア	43	13.4%
市内の農産物直売所、庭先販売	94	29.4%
市外の農産物直売所、庭先販売	16	5.0%
市内のJAが行っている即売会	20	6.3%
市外のJAが行っている即売会	3	0.9%
生協等のグループ購入、宅配	46	14.4%
生産者からの宅配	5	1.6%
インターネット注文による宅配	18	5.6%
その他	7	2.2%
無回答	0	0.0%

N=320



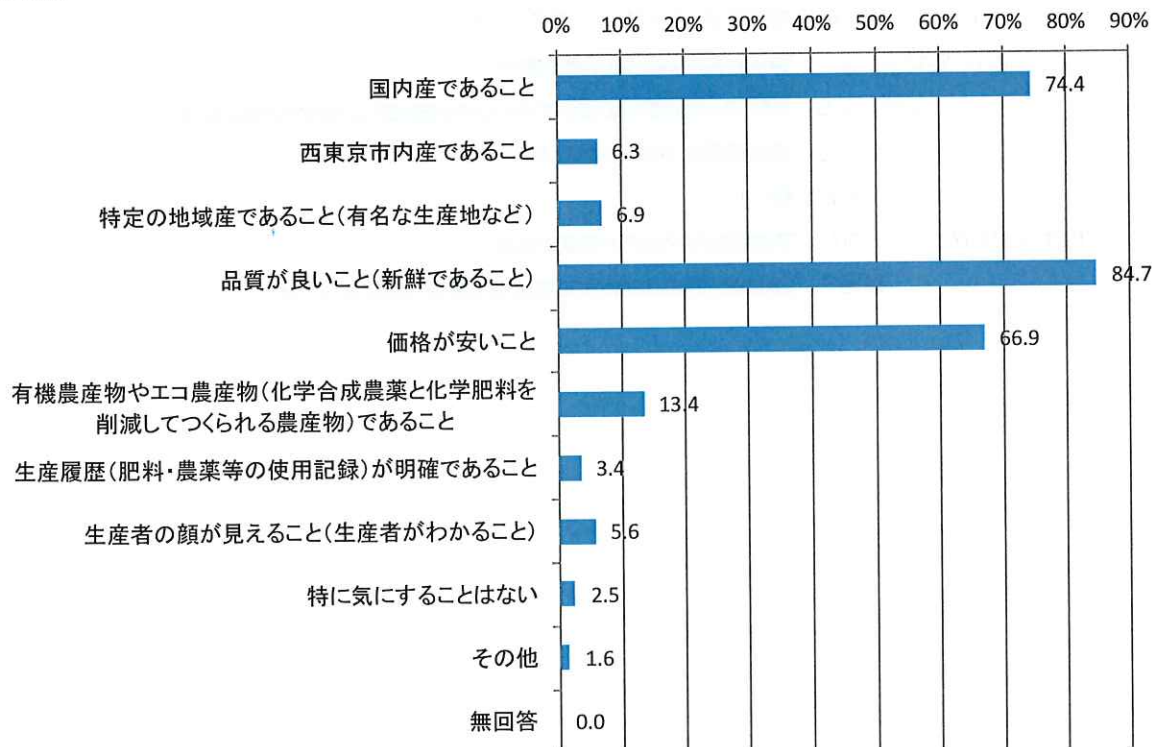
問9 農畜産物を買う際に気にしている点は何ですか？

(特に重要視するもの3つまで○)

○農畜産物を買う際に気にしていることとして、回答者の 84.7%が「品質が良いこと(新鮮であること)」をあげている。次いで「国内産であること」(74.4%)、「価格が安いこと」(66.9%)と続く。

項目	件数	割合
国内産であること	238	74.4%
西東京市内産であること	20	6.3%
特定の地域産であること(有名な生産地など)	22	6.9%
品質が良いこと(新鮮であること)	271	84.7%
価格が安いこと	214	66.9%
有機農産物やエコ農産物(化学合成農薬と化学肥料を削減してつくられる農産物)であること	43	13.4%
生産履歴(肥料・農薬等の使用記録)が明確であること	11	3.4%
生産者の顔が見えること(生産者がわかること)	18	5.6%
特に気にすることはない	8	2.5%
その他	5	1.6%
無回答	0	0.0%

N=320



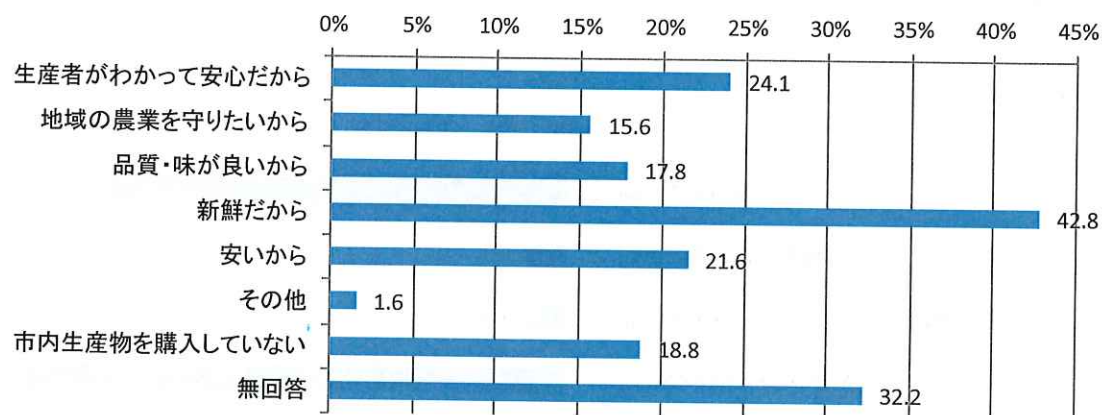
問10 西東京市内産農産物を購入されている方にお伺いします。

購入される理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

○「市内生産物を購入していない」回答者の割合は、18.8%である。
○西東京市産の農産物を購入する理由として、「新鮮だから」(42.8%)が最も多く、次いで「生産者がわかって安心だから」(24.1%)、「安いから」(21.6%)、「品質・味が良いから」(17.8%)の順となっている。

項目	件数	割合
生産者がわかって安心だから	77	24.1%
地域の農業を守りたいから	50	15.6%
品質・味が良いから	57	17.8%
新鮮だから	137	42.8%
安いから	69	21.6%
その他	5	1.6%
市内生産物を購入していない	60	18.8%
無回答	103	32.2%

N=320



問11 西東京市内産農産物を購入されている方にお伺いします。

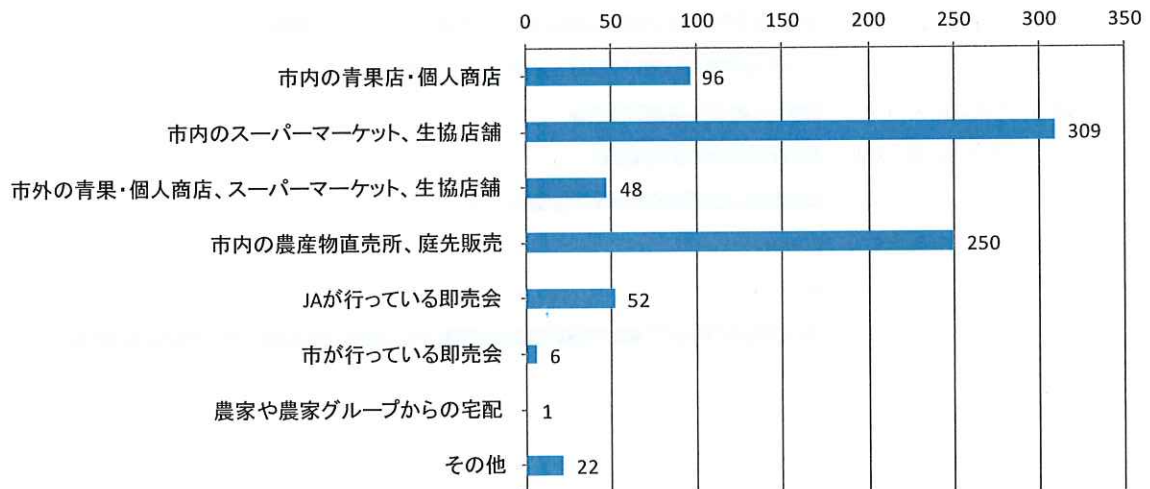
購入先の多い場所はどこですか？（上位3箇所まで記入してください。）

○市内産農産物の購入先として、「市内のスーパーマーケット、生協店舗」が最も多く、次いで「市内の農産物直売所・庭先販売」、「市内の青果店・個人商店」の順となっている。

〈第1位：3点、第2位：2点、第3位：1点とした場合の合計点〉

項目	点数
市内の青果店・個人商店	96
市内のスーパーマーケット、生協店舗	309
市外の青果・個人商店、スーパーマーケット、生協店舗	48
市内の農産物直売所、庭先販売	250
JAが行っている即売会	52
市が行っている即売会	6
農家や農家グループからの宅配	1
その他	22
無回答	1,136

N=320



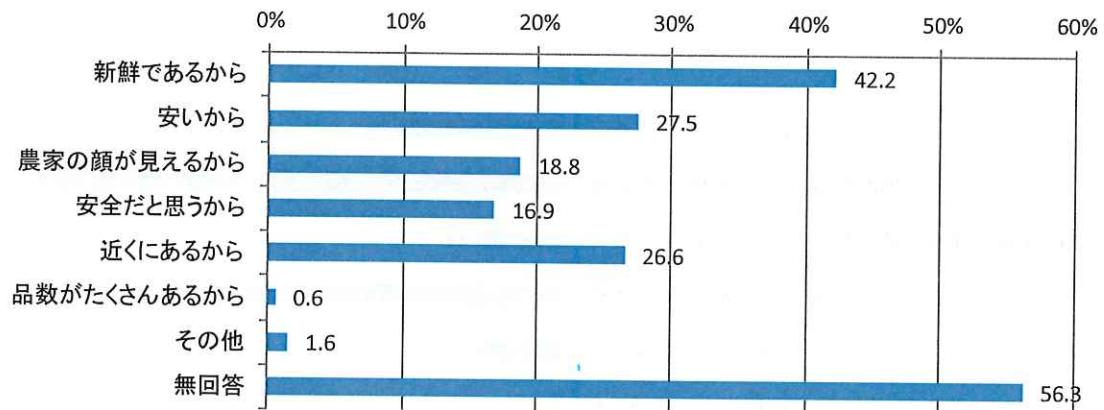
問12 市内の農産物直売所を利用する方にお聞きします。

農産物直売所を利用する理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

○市内の農産物直売所を利用する理由としては、「新鮮であるから」（「利用する」とした回答者の42.2%）が最も多い。次いで、「安いから」（27.5%）、「近くにあるから」（26.6%）と続く。

項目	件数	割合
新鮮であるから	135	42.2%
安いから	88	27.5%
農家の顔が見えるから	60	18.8%
安全だと思うから	54	16.9%
近くにあるから	85	26.6%
品数がたくさんあるから	2	0.6%
その他	5	1.6%
無回答	180	56.3%

N=320



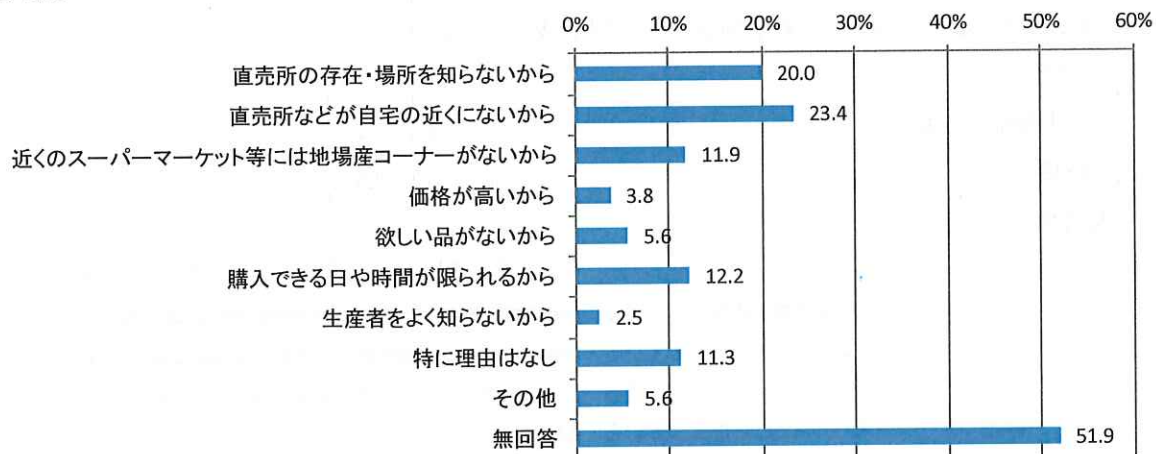
問13 市内産農産物を購入していない方にお聞きします。

購入しない理由は何ですか？（あてはまるものすべてに○）

○市内産農産物を購入しない理由としては、「直売所などが自宅の近くにないから」(23.4%)が最も多く、次いで「直売所の存在・場所を知らないから」(20.0%)、「購入できる日や時間が限られるから」(12.2%)、「近くのスーパーマーケット等には地場産コーナーがないから」(11.9%)と続く。

項目	件数	割合
直売所の存在・場所を知らないから	64	20.0%
直売所などが自宅の近くにないから	75	23.4%
近くのスーパーマーケット等には地場産コーナーがないから	38	11.9%
価格が高いから	12	3.8%
欲しい品がないから	18	5.6%
購入できる日や時間が限られるから	39	12.2%
生産者をよく知らないから	8	2.5%
特に理由はなし	36	11.3%
その他	18	5.6%
無回答	166	51.9%

N=320



3 西東京市の農業・農地の役割についてお伺いします。

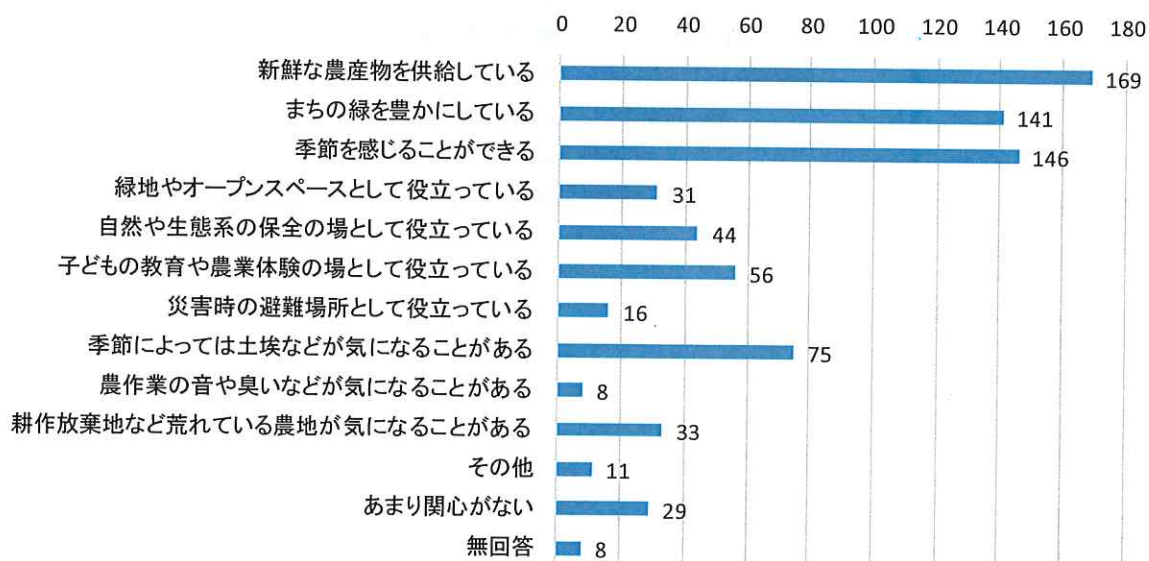
問14 あなたは、西東京市内の農業や農地についてどのように感じていますか？

(近いと感じるもの3つまで○)

○西東京市内の農業や農地に対するイメージとしては、「新鮮な農産物を供給している」(52.8%)が最も多く、続いて「季節を感じる事ができる」(45.6%)、「まちの緑を豊かにしている」(44.1%)、「季節によっては土埃などが気になることがある」(23.4%)、「子どもの教育や農業体験の場として役立っている」(17.5%)の順となっている。

項目	件数	割合
新鮮な農産物を供給している	169	52.8%
まちの緑を豊かにしている	141	44.1%
季節を感じる事ができる	146	45.6%
緑地やオープンスペースとして役立っている	31	9.7%
自然や生態系の保全の場として役立っている	44	13.8%
子どもの教育や農業体験の場として役立っている	56	17.5%
災害時の避難場所として役立っている	16	5.0%
季節によっては土埃などが気になることがある	75	23.4%
農作業の音や臭いなどが気になることがある	8	2.5%
耕作放棄地など荒れている農地が気になることがある	33	10.3%
その他	11	3.4%
あまり関心がない	29	9.1%
無回答	8	2.5%

N=320



問15 西東京市の農業について知っていたことを教えてください。

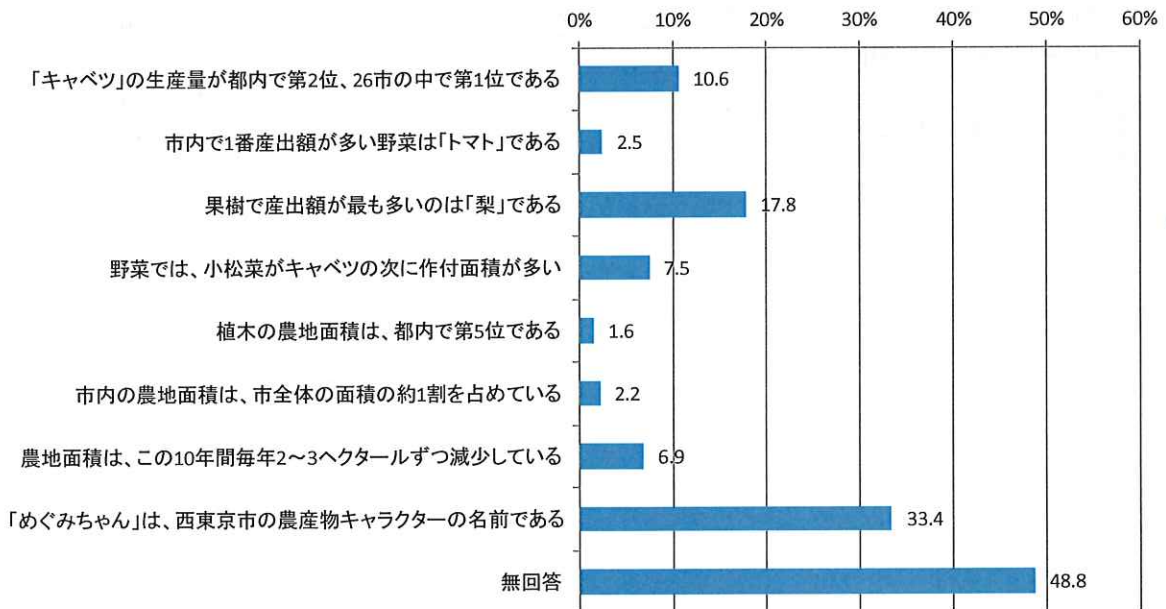
(あてはまるものすべてに○)

○西東京市の農業について知っていることとしては、「めぐみちゃん」は、西東京市の農産物キャラクターの名前である(33.4%)が最も多かった。

○次いで、「果樹で算出額が最も多いのは「梨」である(17.8%)、「キャベツ」の生産量が都内で第2位、26市の中で第1位である(10.6%)、「野菜では、小松菜がキャベツの次に作付面積が多い(7.5%)と続く。

項目	件数	割合
「キャベツ」の生産量が都内で第2位、26市の中で第1位である	34	10.6%
市内で1番産出額が多い野菜は「トマト」である	8	2.5%
果樹で産出額が最も多いのは「梨」である	57	17.8%
野菜では、小松菜がキャベツの次に作付面積が多い	24	7.5%
植木の農地面積は、都内で第5位である	5	1.6%
市内の農地面積は、市全体の面積の約1割を占めている	7	2.2%
農地面積は、この10年間毎年2~3ヘクタールずつ減少している	22	6.9%
「めぐみちゃん」は、西東京市の農産物キャラクターの名前である	107	33.4%
無回答	156	48.8%

N=320



問16 農業や農地には、地域の生活と関係する機能が多くあります。

あなたは、農業・農地が持つ役割について、今後どのようなことに期待されますか？

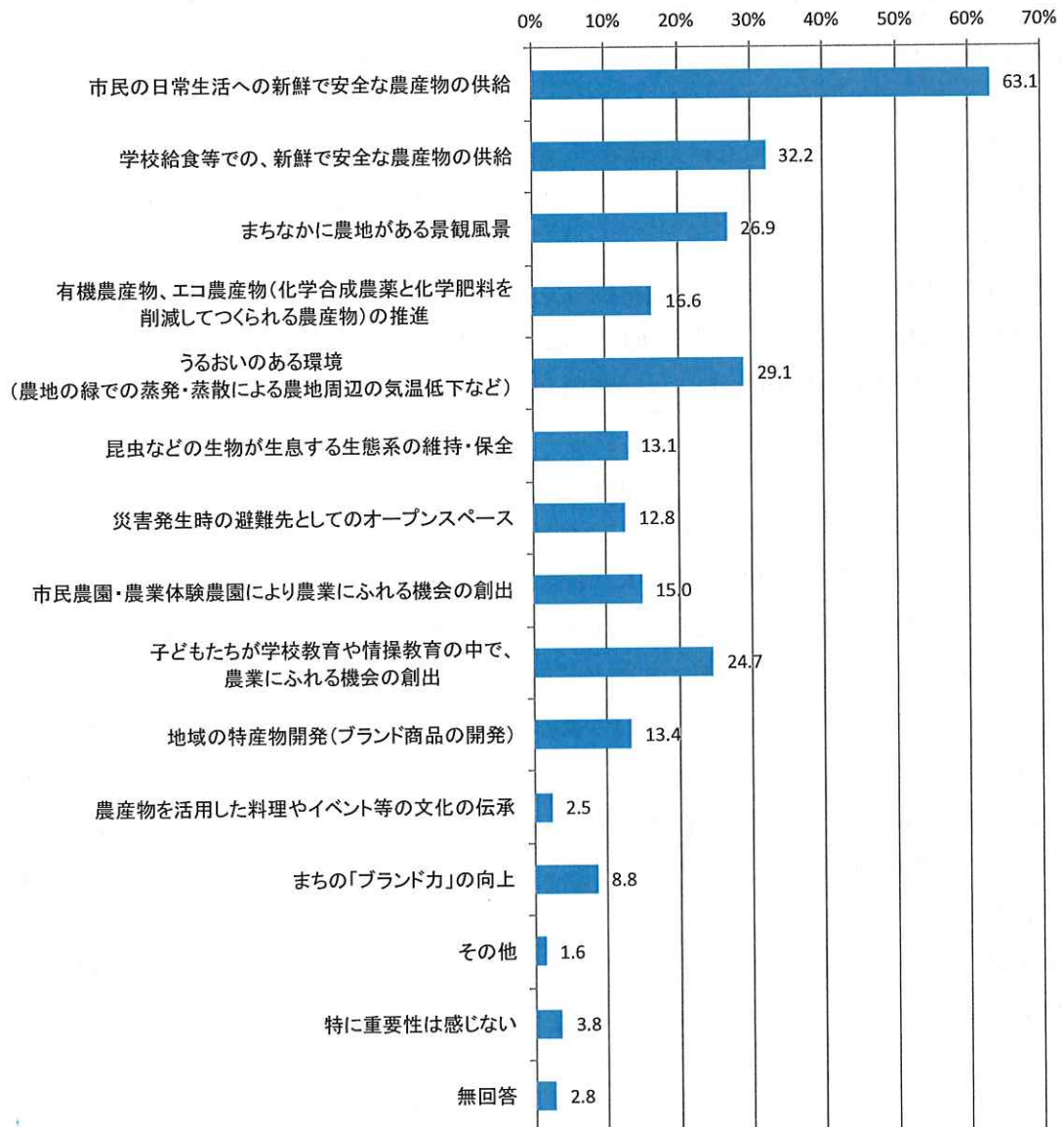
(あてはまるものすべてに○)

○農業や農地が持つ役割に対する期待については、「市民の日常生活への新鮮で安全な農産物の供給」(63.1%)が最も高かった。次いで、「学校給食等での、新鮮で安全な農産物の供給」(32.2%)が続き、「新鮮で安全な農産物の供給」に対する期待が高い。

○続いて、「うるおいのある環境(農地の緑での蒸発・蒸散による農地周辺の気温低下など)」(29.1%)、「まちなかに農地がある景観風景」(26.9%)と、「都市の環境や景観」に対する役割への期待が見られた。

項目	件数	割合
市民の日常生活への新鮮で安全な農産物の供給	202	63.1%
学校給食等での、新鮮で安全な農産物の供給	103	32.2%
まちなかに農地がある景観風景	86	26.9%
有機農産物、エコ農産物(化学合成農薬と化学肥料を削減してつくられる農産物)の推進	53	16.6%
うるおいのある環境(農地の緑での蒸発・蒸散による農地周辺の気温低下など)	93	29.1%
昆虫などの生物が生息する生態系の維持・保全	42	13.1%
災害発生時の避難先としてのオープンスペース	41	12.8%
市民農園・農業体験農園により農業にふれる機会の創出	48	15.0%
子どもたちが学校教育や情操教育の中で、農業にふれる機会の創出	79	24.7%
地域の特産物開発(ブランド商品の開発)	43	13.4%
農産物を活用した料理やイベント等の文化の伝承	8	2.5%
まちの「ブランド力」の向上	28	8.8%
その他	5	1.6%
特に重要性は感じない	12	3.8%
無回答	9	2.8%

N=320



4 農とのふれあいについてお伺いします。

問17 農業体験など、農とのふれあいについて、どのようなご経験がありますか？

(あてはまるものすべてに○)

○「農業とのふれあいは特にない」回答者が、全体の 50.6%を占めた。

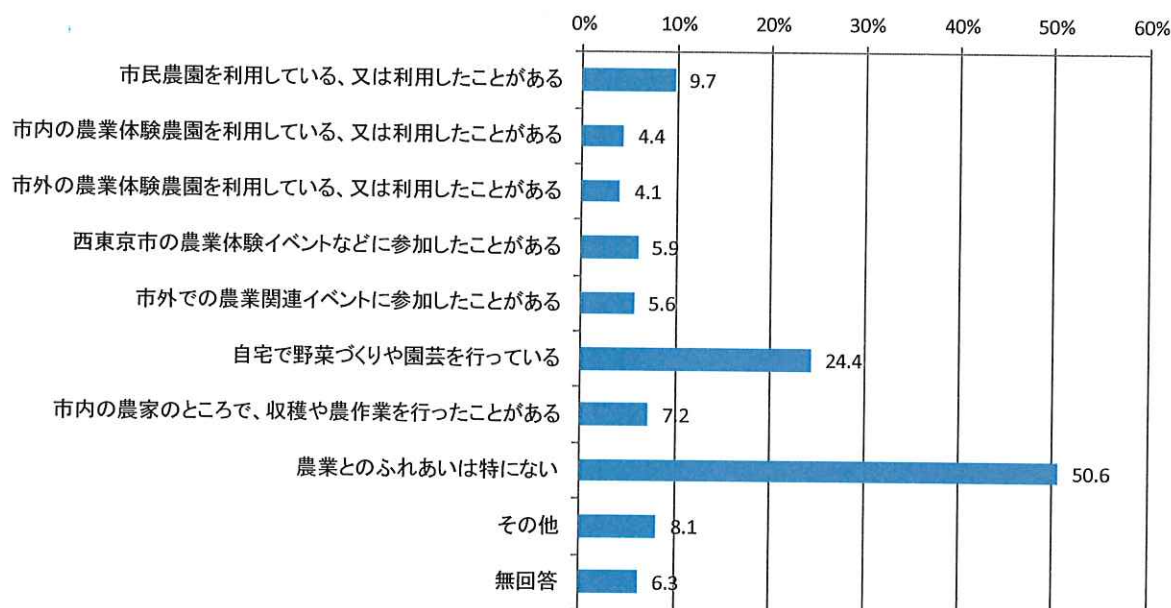
○「農とのふれあい」の経験内容としては、「自宅で野菜づくりや園芸を行っている」(24.4%)が最も多かった。

○「市民農園を利用している、又は利用したことがある」回答者は 9.7%、「市内の農家のところで、収穫や農作業を行ったことがある」回答者は、7.2%だった。

○「農業体験農園」の利用については、「市内」が 4.4%、「市外」が 4.1%だった。

項目	件数	割合
市民農園を利用している、又は利用したことがある	31	9.7%
市内の農業体験農園を利用している、又は利用したことがある	14	4.4%
市外の農業体験農園を利用している、又は利用したことがある	13	4.1%
西東京市の農業体験イベントなどに参加したことがある	19	5.9%
市外での農業関連イベントに参加したことがある	18	5.6%
自宅で野菜づくりや園芸を行っている	78	24.4%
市内の農家のところで、収穫や農作業を行ったことがある	23	7.2%
農業とのふれあいは特にない	162	50.6%
その他	26	8.1%
無回答	20	6.3%

N=320

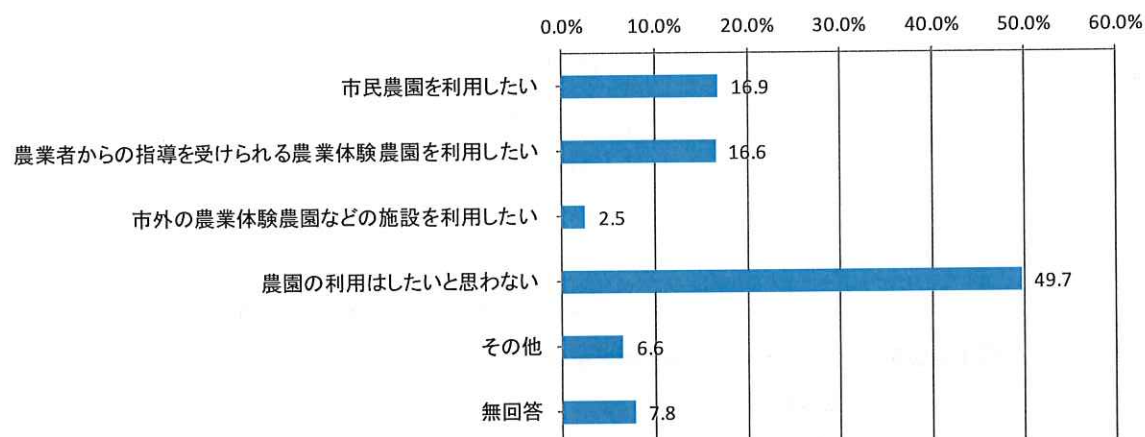


問18 今後、市民農園や農業体験農園などの農園を利用したいですか？（1つに○）

○市民農園や農業体験農園の利用意向について、「農園の利用はしたいと思わない」回答者が全体の49.7%と最も多く、「市民農園を利用したい」(16.9%)、「農業者からの指導を受けられる農業体験農園を利用したい」(16.6%)がこれに続いた。

項目	件数	割合
市民農園を利用したい	54	16.9%
農業者からの指導を受けられる農業体験農園を利用したい	53	16.6%
市外の農業体験農園などの施設を利用したい	8	2.5%
農園の利用はしたいと思わない	159	49.7%
その他	21	6.6%
無回答	25	7.8%

N=320



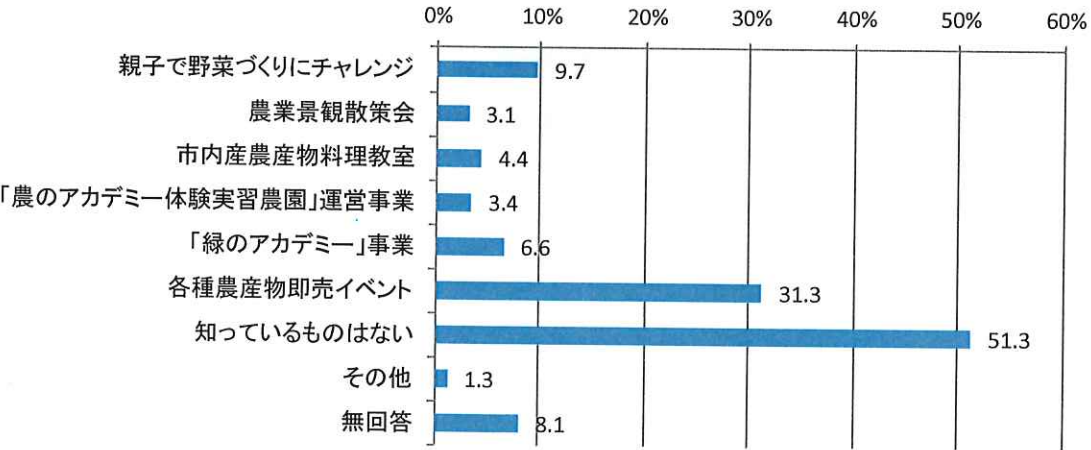
問19 西東京市では、農業とのふれあいを目的にした以下のようなイベントを行っています。ご存知のイベントがあれば教えてください。(あてはまるものすべてに○)

○農業とのふれあいを目的にしたイベントに対する認知度について、「知っているものはない」回答者が全体の51.3%と、回答者の過半を占めた。

○「知っているもの」としては、「各種農産物即売イベント」(31.3%)が最も多く、続いて「親子で野菜づくりにチャレンジ」(9.7%)、「緑のアカデミー」事業」(6.6%)の順となった。

項目	件数	割合
親子で野菜づくりにチャレンジ	31	9.7%
農業景観散策会	10	3.1%
市内産農産物料理教室	14	4.4%
「農のアカデミー体験実習農園」運営事業	11	3.4%
「緑のアカデミー」事業	21	6.6%
各種農産物即売イベント	100	31.3%
知っているものはない	164	51.3%
その他	4	1.3%
無回答	26	8.1%

N=320



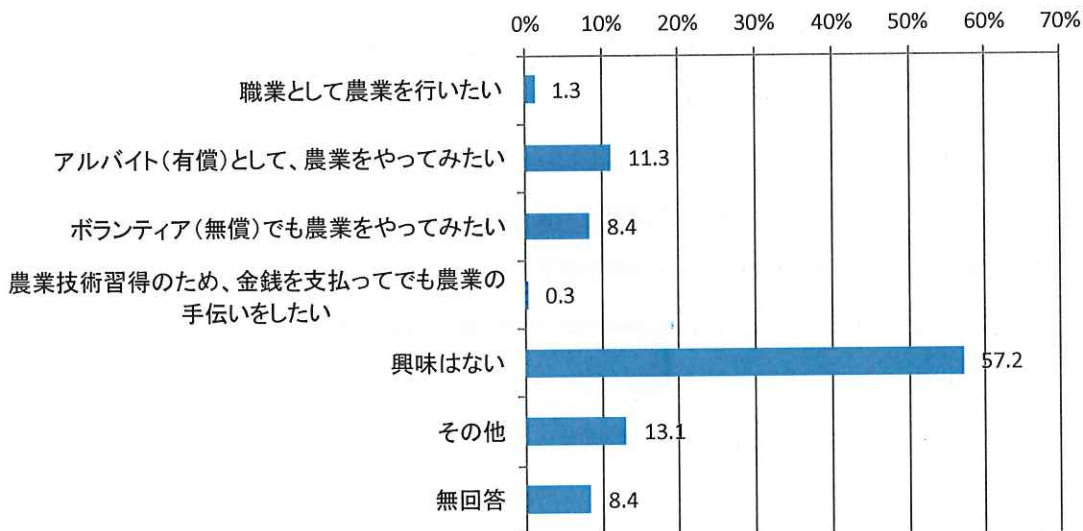
問20 農作業や、アルバイトやボランティアでの農業の手伝いに興味がありますか？

(1つに○)

○農業や農作業の手伝いへの興味については、「興味はない」との回答者が最も多かった(57.2%)。
 ○興味を持っている回答者の中では、「アルバイト(有償)として、農業をやってみたい」(11.3%)、「ボランティア(無償)でも農業をやってみたい」(8.4%)の順となった。

項目	件数	割合
職業として農業を行いたい	4	1.3%
アルバイト(有償)として、農業をやってみたい	36	11.3%
ボランティア(無償)でも農業をやってみたい	27	8.4%
農業技術習得のため、金銭を支払ってでも農業の手伝いをしたい	1	0.3%
興味はない	183	57.2%
その他	42	13.1%
無回答	27	8.4%

N=320



3 過去5年間の農業施策についてお伺いします。

問21 西東京市の農業振興に向けて、以下のような施策を実施してきました。

これらの事業について、内容を知っているか、重要だと思うかについてお答えください。

(各事業に対する認知度及び重要度について、それぞれ1つに○)

【職と暮らしを支える多様な農業】

事業1 直売所の利用の促進

認知度

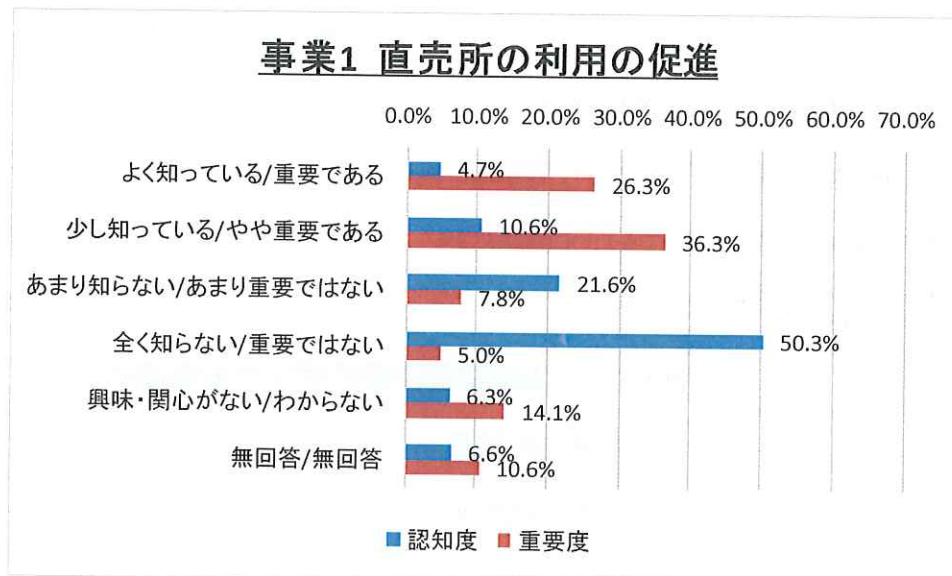
項目	件数	割合
よく知っている	15	4.7%
少し知っている	34	10.6%
あまり知らない	69	21.6%
全く知らない	161	50.3%
興味・関心がない	20	6.3%
無回答	21	6.6%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	84	26.3%
やや重要である	116	36.3%
あまり重要でない	25	7.8%
重要でない	16	5.0%
わからない	45	14.1%
無回答	34	10.6%

N=320



事業2 めぐみちゃんメニューの実施

認知度

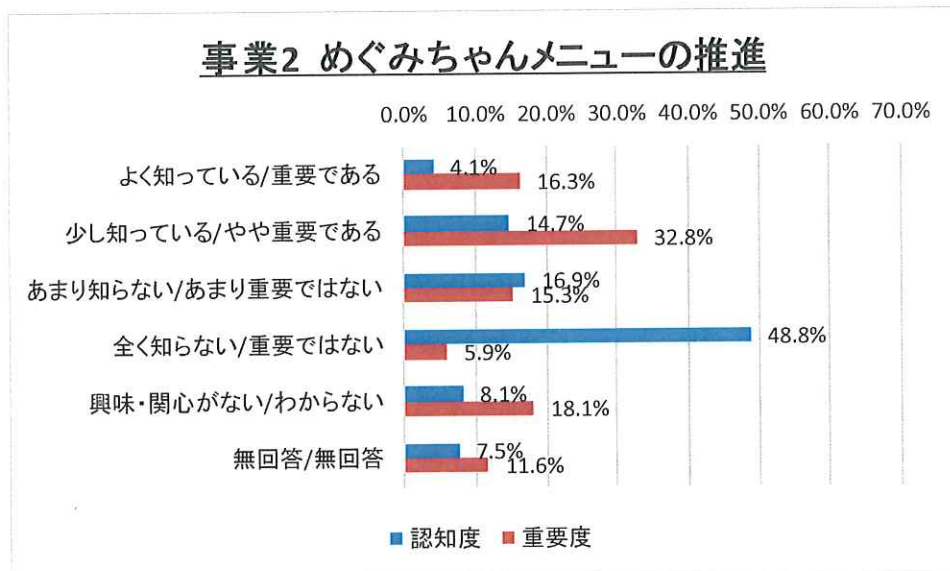
項目	件数	割合
よく知っている	13	4.1%
少し知っている	47	14.7%
あまり知らない	54	16.9%
全く知らない	156	48.8%
興味・関心がない	26	8.1%
無回答	24	7.5%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	52	16.3%
やや重要である	105	32.8%
あまり重要でない	49	15.3%
重要でない	19	5.9%
わからない	58	18.1%
無回答	37	11.6%

N=320



事業3 学校給食との連携

認知度

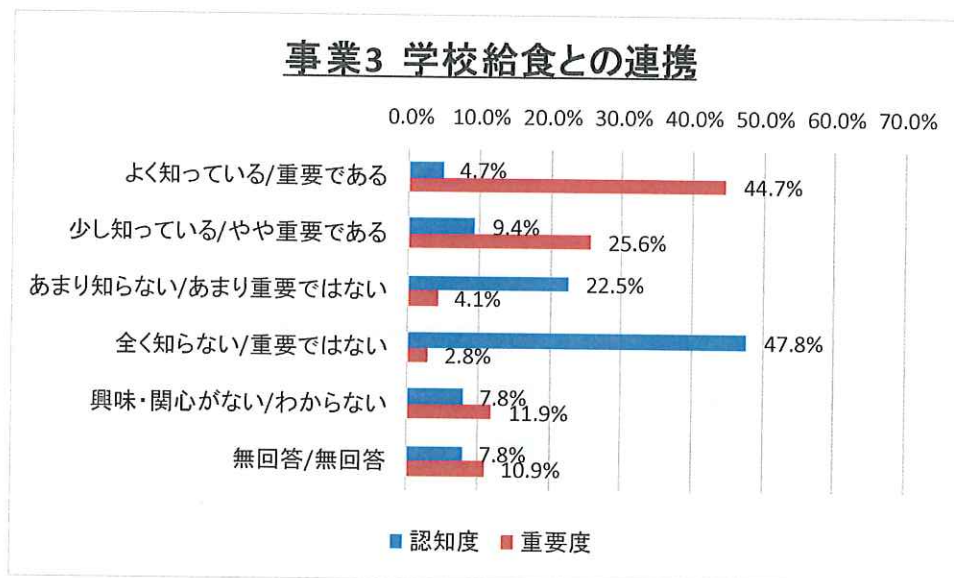
項目	件数	割合
よく知っている	15	4.7%
少し知っている	30	9.4%
あまり知らない	72	22.5%
全く知らない	153	47.8%
興味・関心がない	25	7.8%
無回答	25	7.8%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	143	44.7%
やや重要である	82	25.6%
あまり重要でない	13	4.1%
重要でない	9	2.8%
わからない	38	11.9%
無回答	35	10.9%

N=320



事業4 地域や商店街との連携

認知度

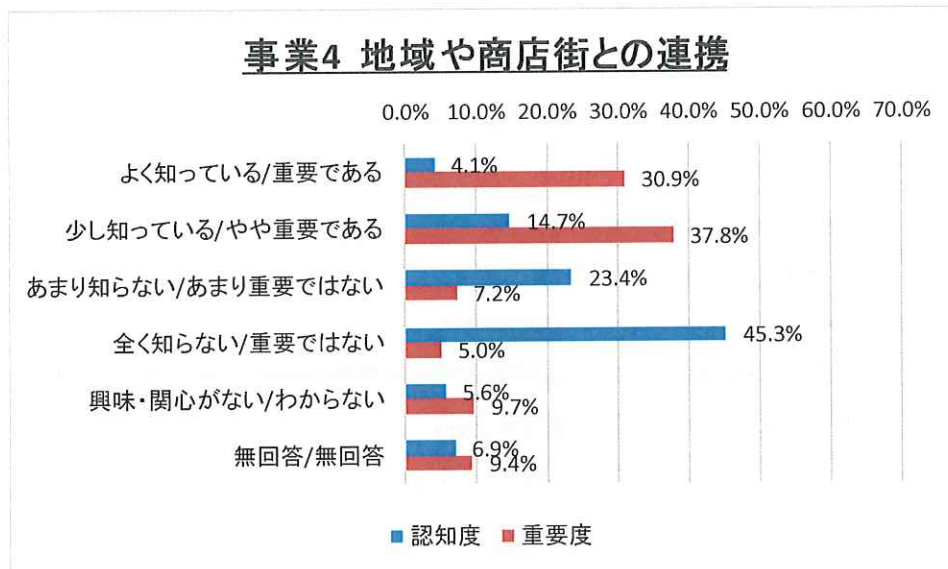
項目	件数	割合
よく知っている	13	4.1%
少し知っている	47	14.7%
あまり知らない	75	23.4%
全く知らない	145	45.3%
興味・関心がない	18	5.6%
無回答	22	6.9%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	99	30.9%
やや重要である	121	37.8%
あまり重要でない	23	7.2%
重要でない	16	5.0%
わからない	31	9.7%
無回答	30	9.4%

N=320



【多様な担い手が生きがいややりがいを感じる農業経営】

事業5 農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ

認知度

項目	件数	割合
よく知っている	3	0.9%
少し知っている	12	3.8%
あまり知らない	53	16.6%
全く知らない	202	63.1%
興味・関心がない	26	8.1%
無回答	24	7.5%

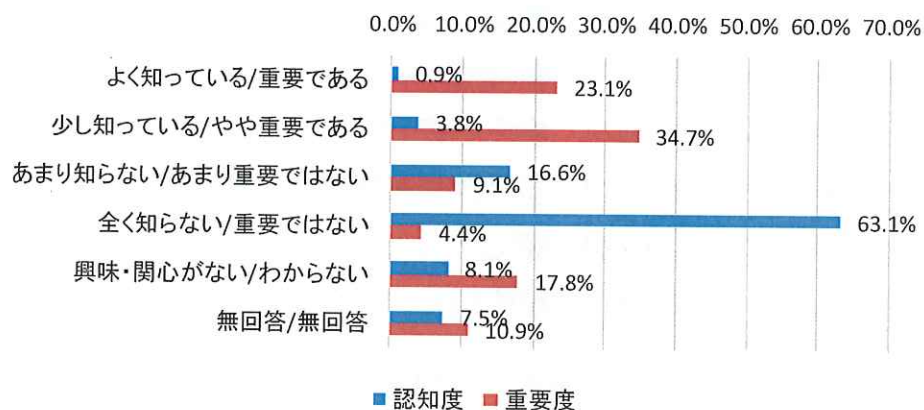
N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	74	23.1%
やや重要である	111	34.7%
あまり重要でない	29	9.1%
重要でない	14	4.4%
わからない	57	17.8%
無回答	35	10.9%

N=320

**事業5 農業者と援農ボランティアのマッチング
機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ**



事業6 市内農業関係施設の活用推進

認知度

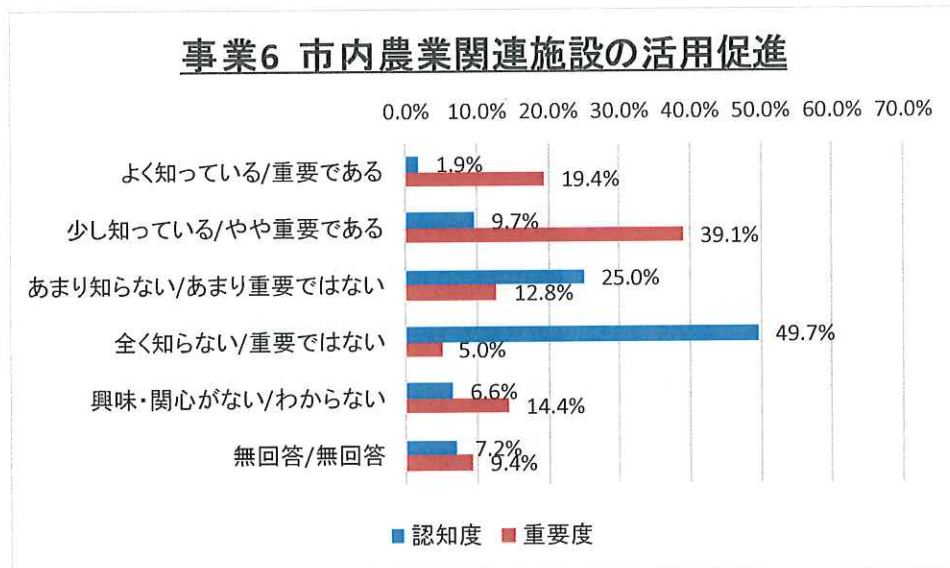
項目	件数	割合
よく知っている	6	1.9%
少し知っている	31	9.7%
あまり知らない	80	25.0%
全く知らない	159	49.7%
興味・関心がない	21	6.6%
無回答	23	7.2%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	62	19.4%
やや重要である	125	39.1%
あまり重要でない	41	12.8%
重要でない	16	5.0%
わからない	46	14.4%
無回答	30	9.4%

N=320



事業7 災害協力農地の拡大

認知度

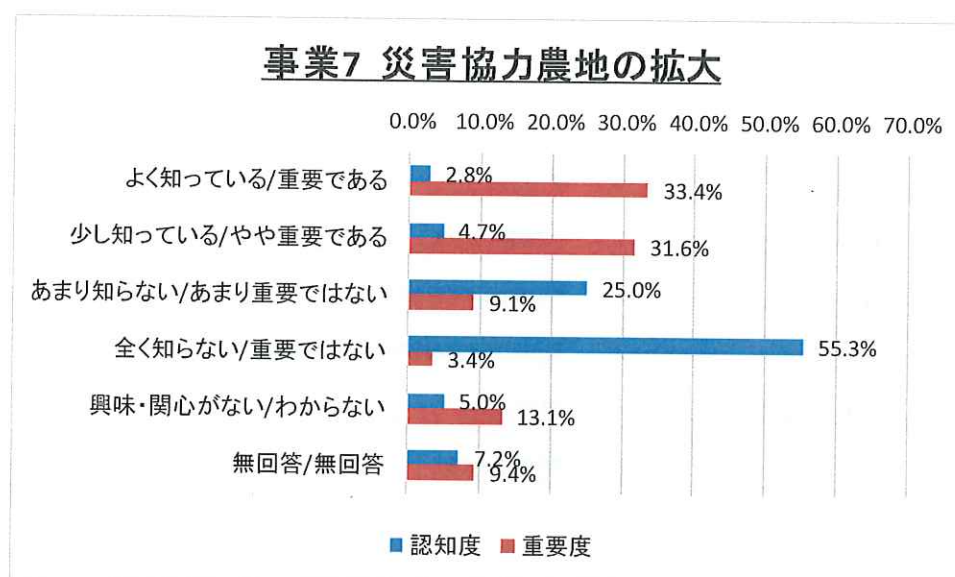
項目	件数	割合
よく知っている	9	2.8%
少し知っている	15	4.7%
あまり知らない	80	25.0%
全く知らない	177	55.3%
興味・関心がない	16	5.0%
無回答	23	7.2%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	107	33.4%
やや重要である	101	31.6%
あまり重要でない	29	9.1%
重要でない	11	3.4%
わからない	42	13.1%
無回答	30	9.4%

N=320



事業8 イベント等の実施

認知度

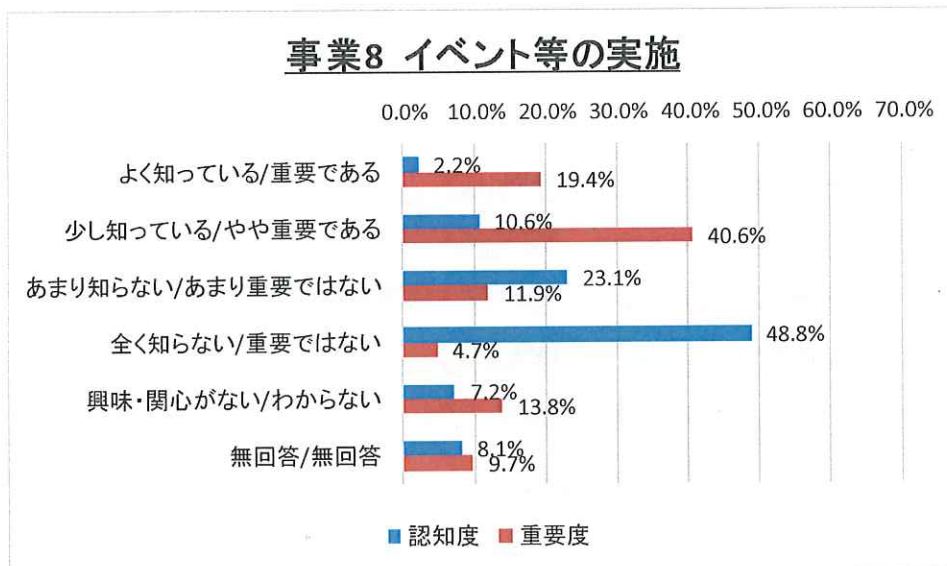
項目	件数	割合
よく知っている	7	2.2%
少し知っている	34	10.6%
あまり知らない	74	23.1%
全く知らない	156	48.8%
興味・関心がない	23	7.2%
無回答	26	8.1%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	62	19.4%
やや重要である	130	40.6%
あまり重要でない	38	11.9%
重要でない	15	4.7%
わからない	44	13.8%
無回答	31	9.7%

N=320



事業9 農業普及啓発プロジェクトの活用

認知度

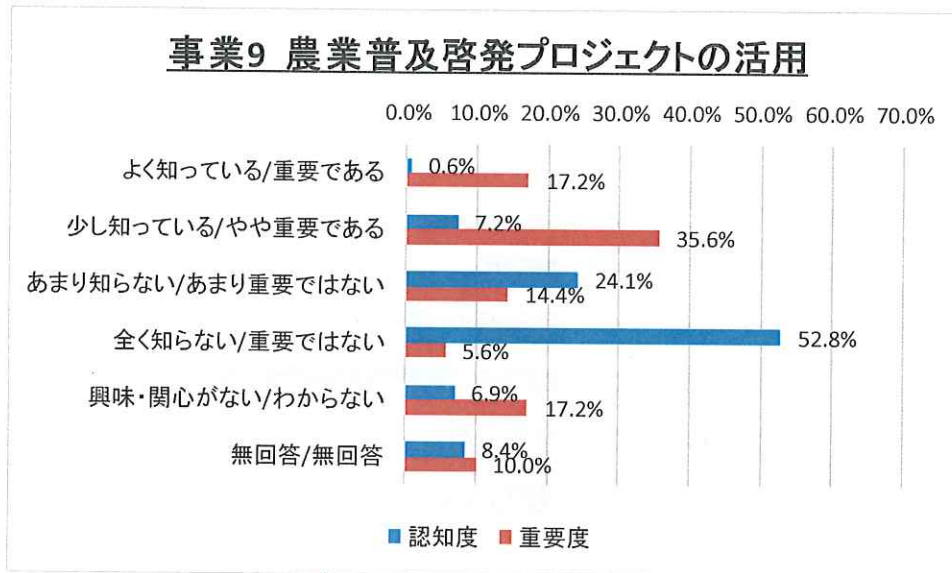
項目	件数	割合
よく知っている	2	0.6%
少し知っている	23	7.2%
あまり知らない	77	24.1%
全く知らない	169	52.8%
興味・関心がない	22	6.9%
無回答	27	8.4%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	55	17.2%
やや重要である	114	35.6%
あまり重要でない	46	14.4%
重要でない	18	5.6%
わからない	55	17.2%
無回答	32	10.0%

N=320



事業10 めぐみちゃんマーケットの開催

認知度

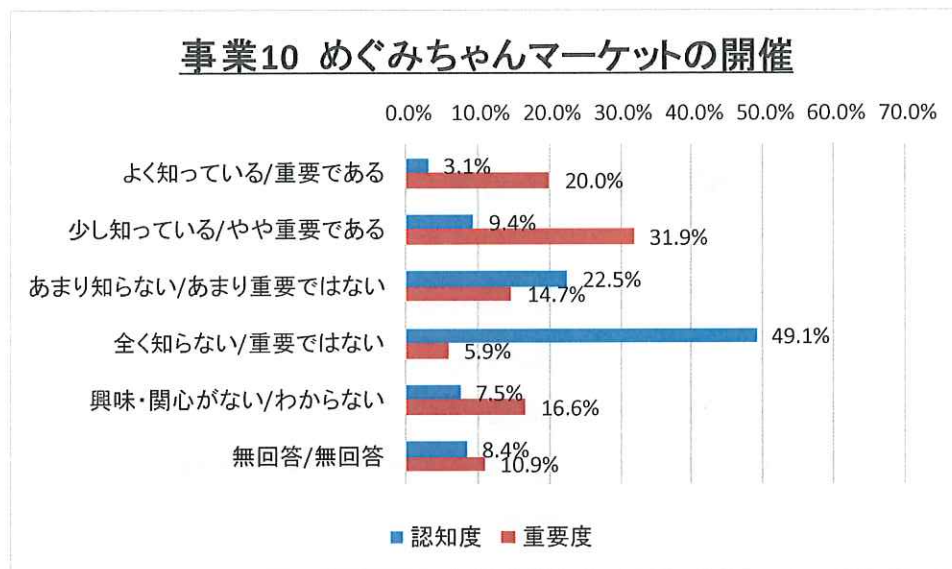
項目	件数	割合
よく知っている	10	3.1%
少し知っている	30	9.4%
あまり知らない	72	22.5%
全く知らない	157	49.1%
興味・関心がない	24	7.5%
無回答	27	8.4%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	64	20.0%
やや重要である	102	31.9%
あまり重要でない	47	14.7%
重要でない	19	5.9%
わからない	53	16.6%
無回答	35	10.9%

N=320



【農業を通じた交流】

事業11 市民農園の新しい展開

認知度

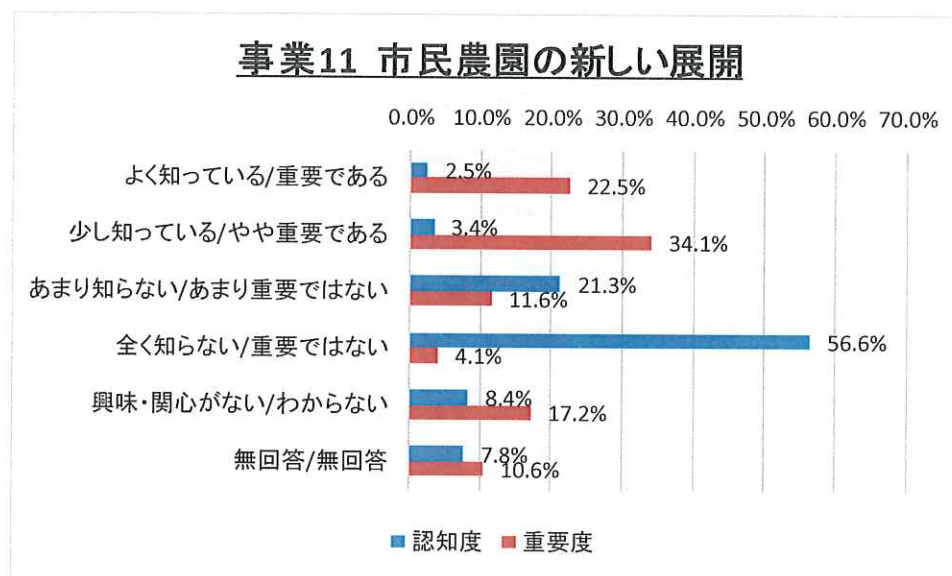
項目	件数	割合
よく知っている	8	2.5%
少し知っている	11	3.4%
あまり知らない	68	21.3%
全く知らない	181	56.6%
興味・関心がない	27	8.4%
無回答	25	7.8%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	72	22.5%
やや重要である	109	34.1%
あまり重要でない	37	11.6%
重要でない	13	4.1%
わからない	55	17.2%
無回答	34	10.6%

N=320



事業12 農業体験農園の推進

認知度

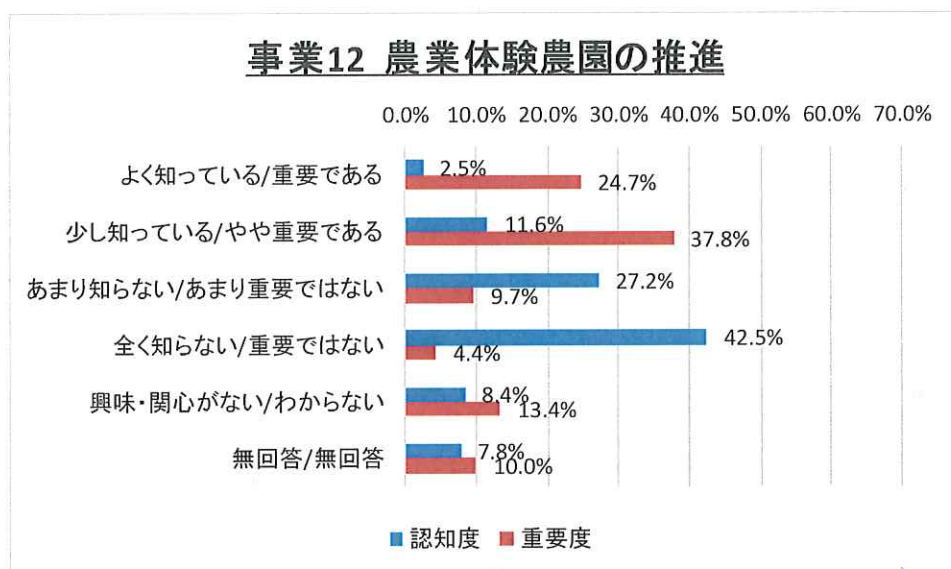
項目	件数	割合
よく知っている	8	2.5%
少し知っている	37	11.6%
あまり知らない	87	27.2%
全く知らない	136	42.5%
興味・関心がない	27	8.4%
無回答	25	7.8%

N=320

重要度

項目	件数	割合
重要である	79	24.7%
やや重要である	121	37.8%
あまり重要でない	31	9.7%
重要でない	14	4.4%
わからない	43	13.4%
無回答	32	10.0%

N=320



事業ごとの平均点(認知度, 重要度)

事業名	認知度	重要度
事業1 直売所の利用の促進	2.38	3.24
事業2 めぐみちゃんメニューの実施	2.35	2.88
事業3 学校給食との連携	2.32	3.56
事業4 地域や商店街との連携	2.46	3.47
事業5 農業者と援農ボランティアのマッチング機会の提供・援農ボランティアのスキルアップ	2.04	3.08
事業6 市内農業関係施設の活用推進	2.29	3.16

事業名	認知度	重要度
事業7 災害協力農地の拡大	2.23	3.41
事業8 イベント等の実施	2.28	3.18
事業9 農業普及啓発プロジェクトの活用	2.17	3.00
事業10 めぐみちゃんマーケットの開催	2.26	3.00
事業11 市民農園の新しい展開	2.12	3.09
事業12 農業体験農園の推進	2.34	3.26
平均	2.2685	3.1938

